

流山市

子ども・子育て支援事業計画策定に
関するニーズ調査報告書

平成 26 年 3 月

千葉県 流山市

目 次

第1章 調査実施の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
(1) 調査票の種類と調査対象者等.....	1
3 調査の実施方法と配布・回収状況.....	2
(1) 調査時期と調査方法.....	2
(2) 調査の配布・回収状況	2
4 報告書の見方について	2
(1) 年齢・学年の定義	2
(2) 電算処理の注意点	2
(3) グラフの見方について	3
5 アンケート調査対象者の属性・家族状況.....	4
(1) 就学前の子どもの属性	4
(2) 小学生の属性.....	4
(3) 居住地域の状況.....	5
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無	6
第2章 子育て家庭を取り巻く環境	7
1 子育ての環境について	7
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	7
(2) 子育てに関する相談者の状況.....	10
2 保護者の就労状況.....	11
(1) 母親の就労状況	11
(2) 父親の就労状況	17
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	22
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望.....	22
(1) 平日の定期的な教育・保育事業.....	22
(2) 幼稚園	26
(3) 幼稚園の預かり保育	29
(4) 認可保育所	32
(5) 事業所内保育施設	35
(6) その他の認可外の保育施設	38
(7) 送迎保育ステーション	41
(8) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由	44
(9) 学童クラブの利用状況について（小学生）	47
(10) 休日の教育・保育事業の利用意向	54
(11) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ.....	59
2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向	67
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について.....	67
(2) 不定期の一時預かり等の利用について	71
(3) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	80

3	放課後の過ごし方について	83
(1)	平日の放課後の過ごし方について	83
(2)	土曜・休日の学童クラブ利用について	91
(3)	長期休暇期間中の学童クラブの利用について	95
4	子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について	97
第4章	育児休業制度の利用状況	99
1	育児休業制度の利用状況	99
第5章	地域の子育て支援の環境や支援への満足度	107
1	地域の子育て支援の環境や支援への満足度	107
第6章	自由記述	112
1	就学前の子ども	112
2	小学生	124
第7章	ヒアリング調査	132
資料編	142
1	「子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査票」	142

第 1 章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、「子ども・子育て支援新制度」が施行されます。

新制度では、これまで以上に安心して子どもを生き育てられる環境を整備していくために「質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供」や「地域における子育て支援の充実」「保育の量的拡大」を図る必要があることから、幼児期の学校教育や保育、子育て支援などに関するニーズを把握し、適切なサービスの確保を行うことを目的とした事業計画の策定が自治体に義務付けられています。

そのため、流山市においても、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育ての意義を踏まえて、今後5年間の事業計画を作成することになりました。このような状況により、事業計画の策定に必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート形式・ヒアリング形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査の設計

(1) 調査票の種類と調査対象者等

図表 1.1 調査の実施方法

「流山市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査（就学前の子ども用）」	
調査対象者	就学前のこどもの保護者
調査件数	2,000件
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向、流山市における子育ての環境や支援等に関する設問
「流山市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査（小学生用）」	
調査対象者	小学生の保護者
調査件数	1,000件
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、放課後の過ごし方、流山市における子育ての環境や支援等に関する設問

3 調査の実施方法と配布・回収状況

(1) 調査時期と調査方法

アンケート調査は、平成 25 年 11 月～12 月にかけて実施しました。

調査方法は、郵送方式により調査票を配布・回収し、全対象者に礼状兼督促状を発送しました。礼状兼督促状発送後に届いたものも集計しています。

(2) 調査の配布・回収状況

図表 1.2 調査票の配布・回収状況

区 分	就学前の子どもの保護者			小学生の保護者		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
市全域	2,000 人	1,385 人	69.2%	1,000 人	645 人	64.5%

4 報告書の見方について

(1) 年齢・学年の定義

就学前の子ども・小学生の年齢定義は、ニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

図表 1.3 ニーズ調査における年齢・学年定義

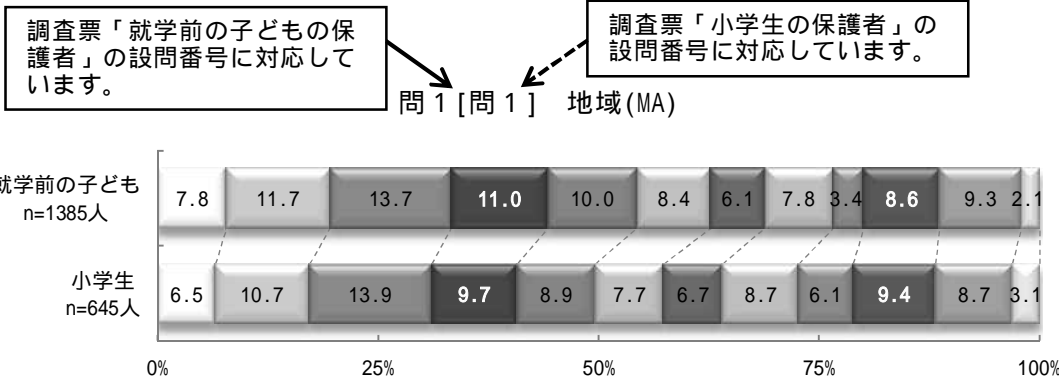
年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0 歳児	平成 24 年 4 月以降	6 歳児	平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月
1 歳児	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	7 歳児	平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月
2 歳児	平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	8 歳児	平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月
3 歳児	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月	9 歳児	平成 15 年 4 月～平成 16 年 3 月
4 歳児	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月	10 歳児	平成 14 年 4 月～平成 15 年 3 月
5 歳児	平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月	11 歳児	平成 13 年 4 月～平成 14 年 3 月

(注) 調査期間【平成 25 年度】における年齢定義

(2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても 100% に合致しない場合があります。

(3) グラフの見方について



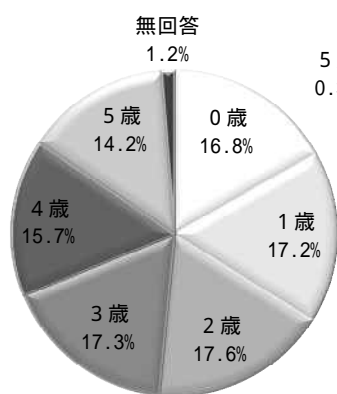
グラフの(n)数は集計対象者数を表しています。また、複数回答の設問は(MA)を表記しています。

5 アンケート調査対象者の属性・家族状況

(1) 就学前の子どもの属性

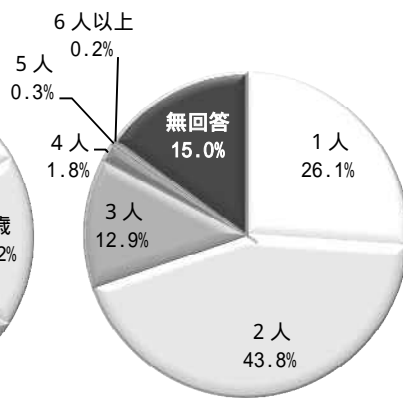
回答された 1,385 件の就学前の子どもの属性は、以下のとおりです。

問2 年齢



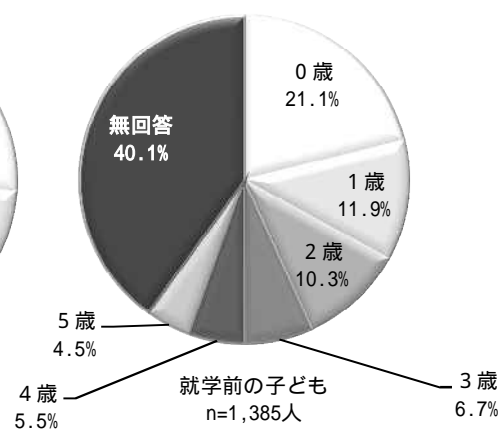
就学前の子ども
n=1,385人

問3 子どもの人数



就学前の子ども
n=1,385人

問3 末子の年齢

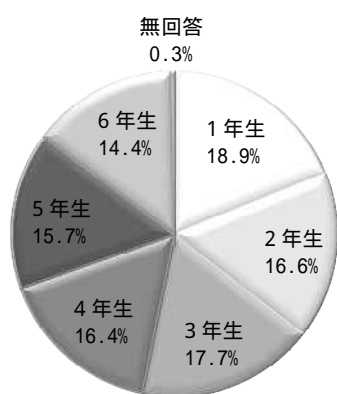


就学前の子ども
n=1,385人

(2) 小学生の属性

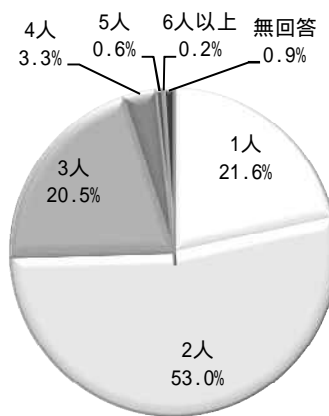
回答された 645 件の小学生の属性は、以下のとおりです。

[問2] 年齢



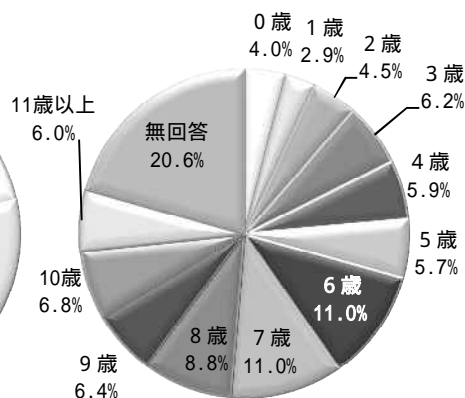
小学生
n= 645人

[問3] 子どもの人数



小学生
n= 645人

[問3] 末子の年齢

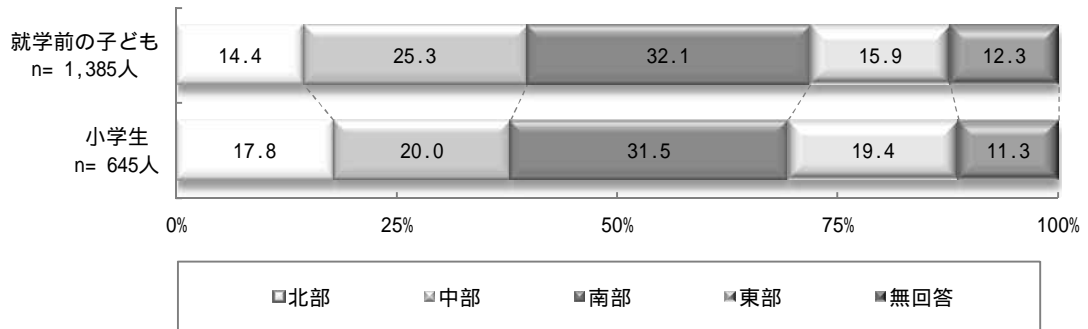


小学生
n= 645人

(3) 居住地域の状況

回答者が居住している地域の状況は、以下のとおりです。

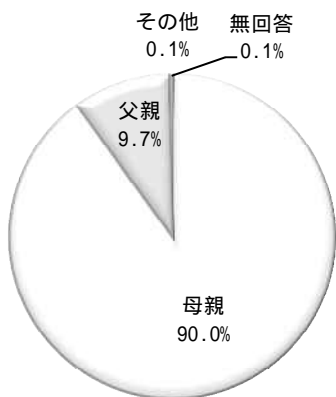
問1[問1] 地域(市全域)



(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

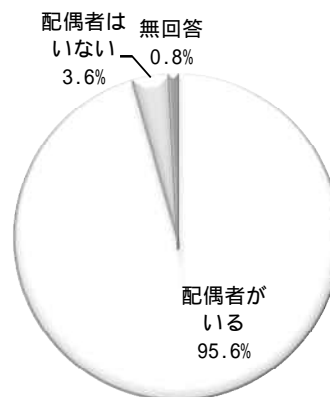
就学前の子ども、小学生ともに、調査回答者は母親が約9割となっています。
 配偶者関係は就学前の子どもと小学生は約9割が「配偶者がいる」と回答しています。

問4 調査回答者（就学前の子ども）



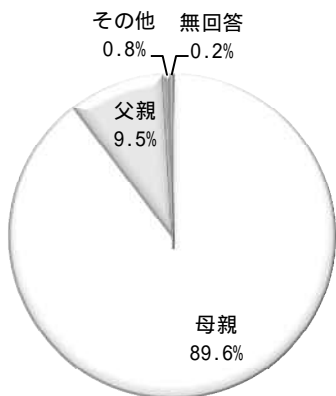
就学前の子ども
n=1,385人

問5 配偶者の有無（就学前の子ども）



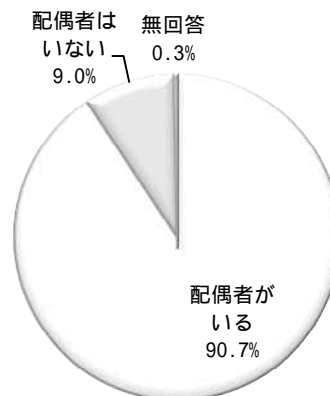
就学前の子ども
n=1,385人

[問4] 調査回答者（小学生）



小学生
n= 645人

[問5] 配偶者の有無（小学生）



小学生
n= 645人

第 2 章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

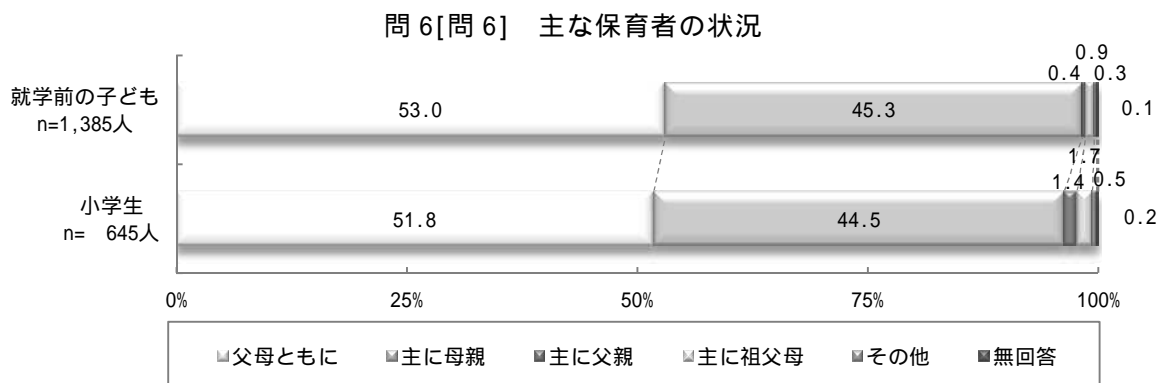
1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

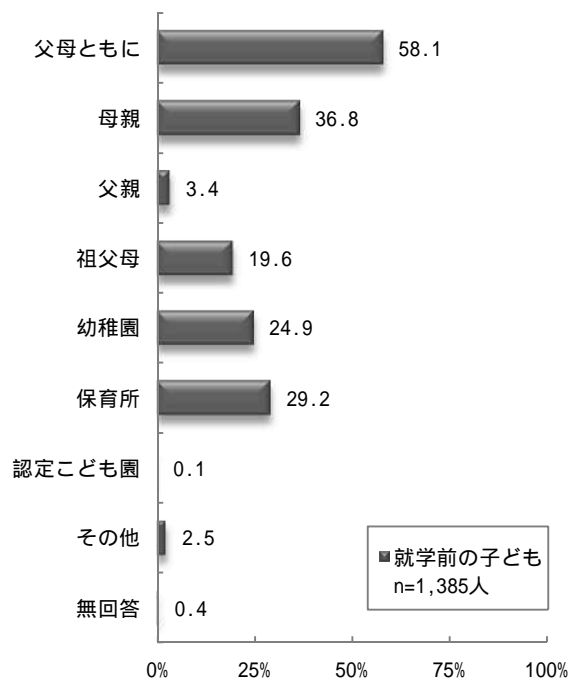
主な保育者の状況をみると、就学前の子どもでは「父母ともに」(53.0%)と「主に母親」(45.3%)が大半を占めています。小学生でも「父母ともに」(51.8%)、「主に母親」(44.5%)と同じような傾向となっています。

就学前の子どもでは、こうした状況の中で日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、「父母ともに」(58.1%)、「母親」(36.8%)、「保育所」(29.2%)、「幼稚園」(24.9%)の順に多くなっています。

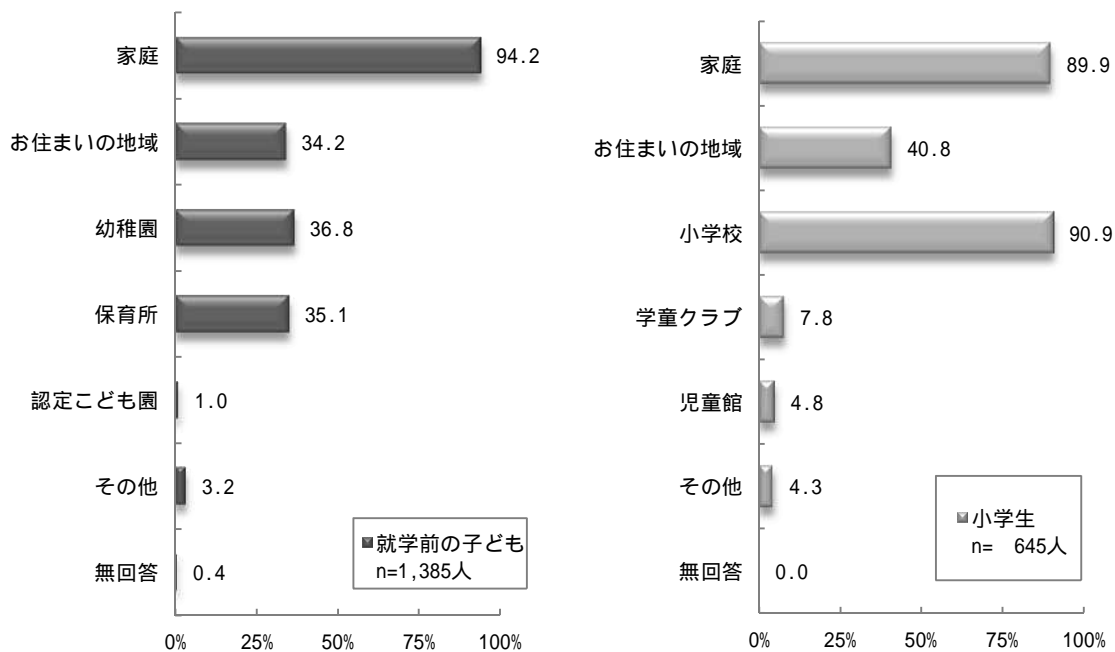
また、子育てに影響を与える環境は、就学前の子どもでは「家庭」(94.2%)が最も多く、次いで「幼稚園」(36.8%)、「保育所」(35.1%)、「お住まいの地域」(34.2%)の順に多くなっています。小学生では「小学校」(90.9%)が最も多く、次いで「家庭」(89.9%)、「お住まいの地域」(40.8%)の順に多くなっています。



問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）(MA)



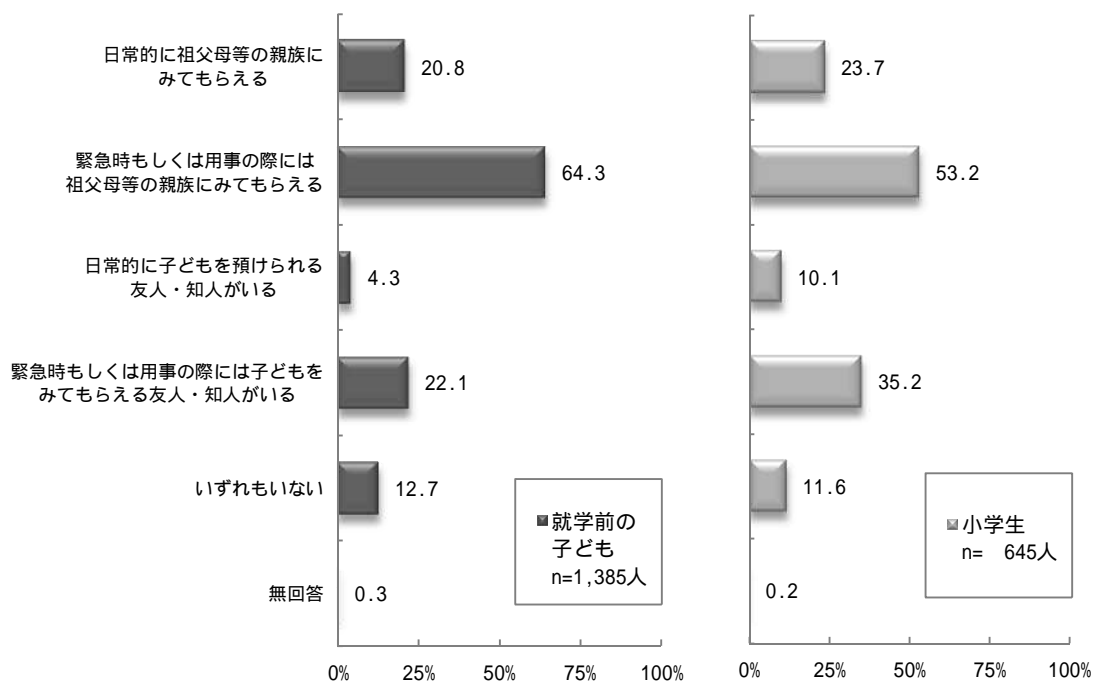
問8[問7] 子育てに影響を与える環境(MA)



主な親族等協力者の状況をみると、就学前の子どもでは「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(64.3%)が最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(22.1%)「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(20.8%)の順に多くなっています。

小学生では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(53.2%)「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(35.2%)「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(23.7%)の順に多くなっています。

問9[問8] 主な親族等協力者の状況(MA)

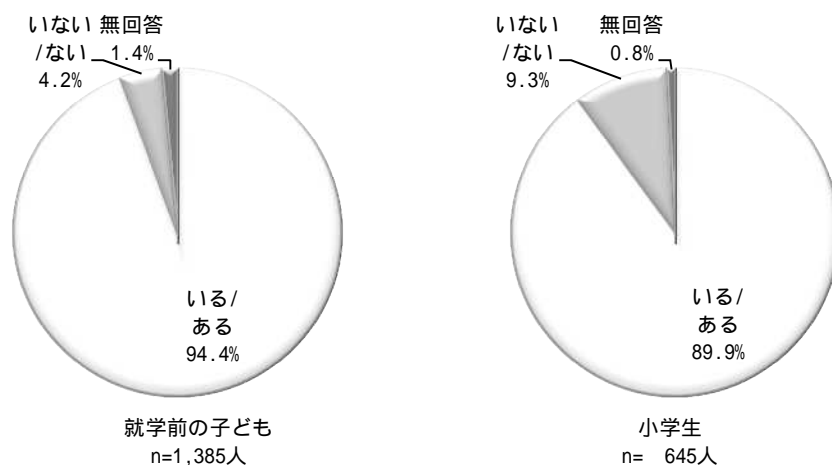


(2) 子育てに関する相談者の状況

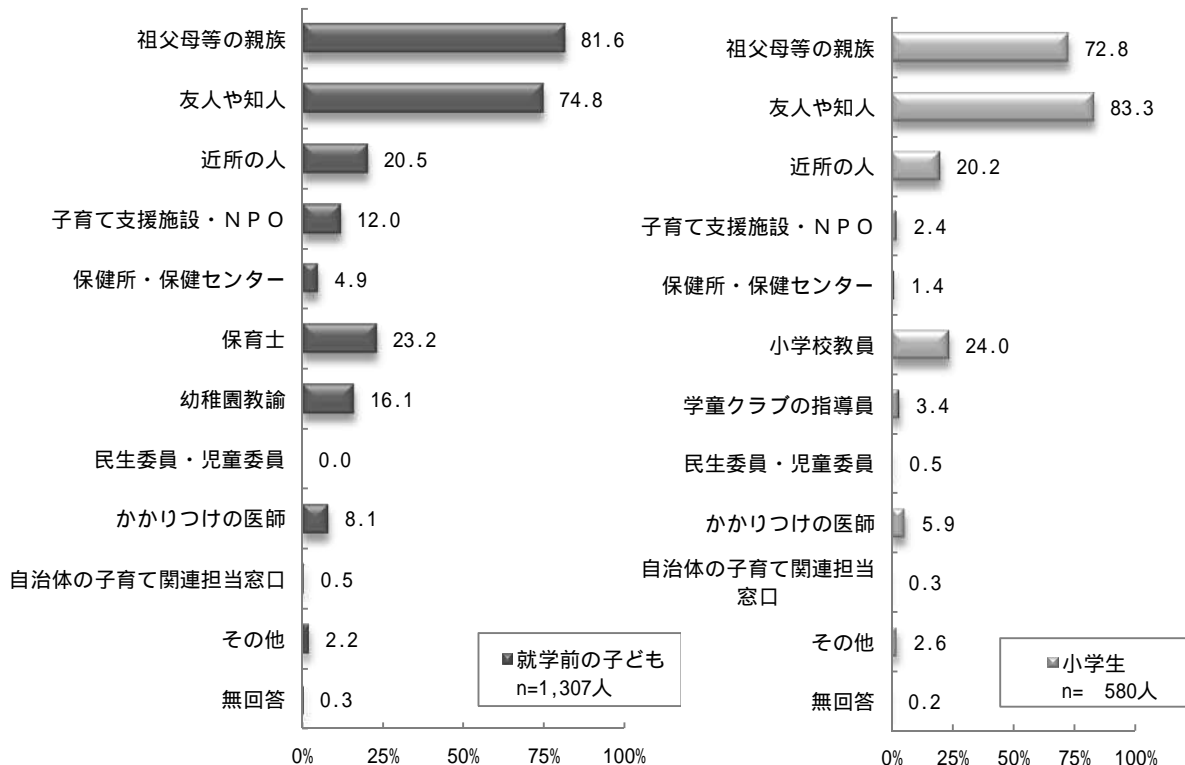
気軽に相談できる人の有無をみると、就学前の子どもでは「いる／ある」(94.4%)とほとんどの方が「いる」または「ある」と答えています。その相談できる相手としては、「祖父母等の親族」(81.6%)、「友人や知人」(74.8%)、「保育士」(23.2%)の順に多くなっています。

小学生では、「いる／ある」(89.9%)とほとんどの方が「いる」または「ある」と答えています。その相談相手としては、「友人や知人」(83.3%)、「祖父母等の親族」(72.8%)、「小学校教員」(24.0%)の順に多くなっています。

問 10[問 9] 気軽に相談できる人の有無



問 10-1[問 9-1] 気軽にできる相談者の状況(MA)

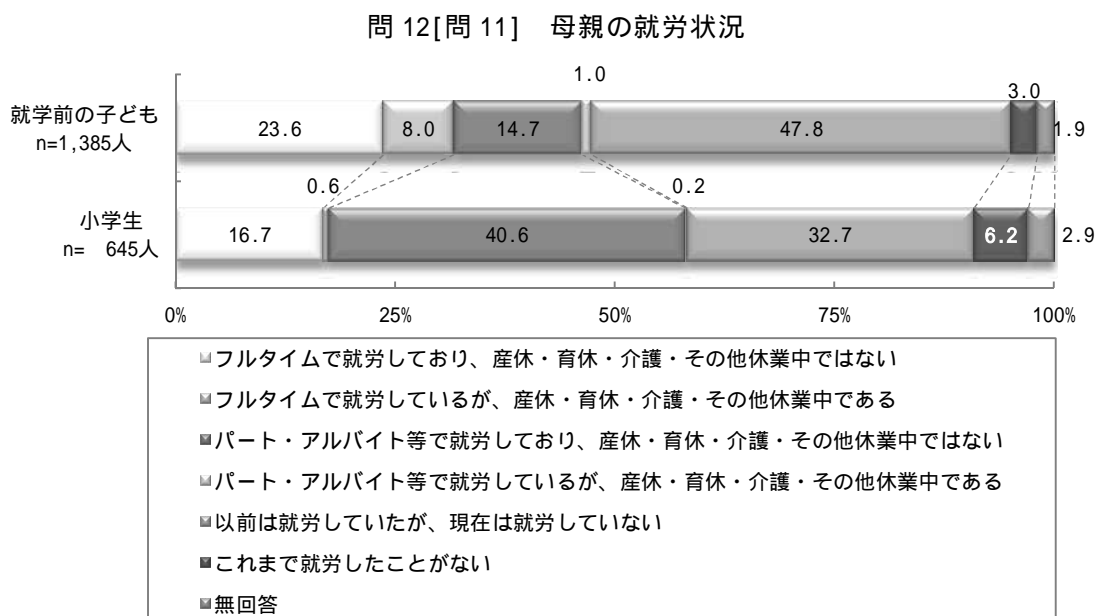


2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

母親の就労状況をみると、就学前の子どもでは「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(23.6%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(14.7%)の方が就労し、現在産休・育休・介護・その他休業中の方が9.0%います。また、現在就労していない方が50.8%います。

小学生では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(40.6%)、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(16.7%)の方が就労し、現在産休・育休・介護・その他休業中の方が0.8%と就学前の子どもと比べて大きく減少しています。また、現在就労していない方が38.9%います。

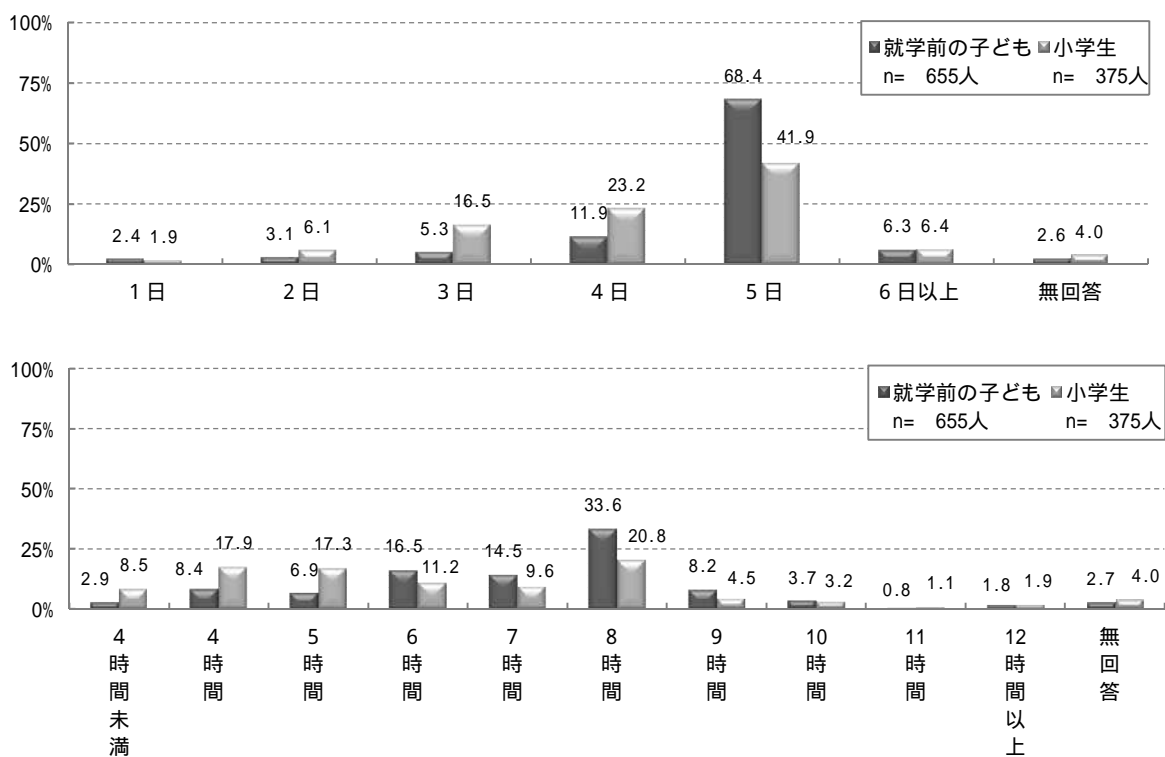


母親の就労日数・就労時間をみると、就学前の子どもでは「5日」(68.4%)、「8時間」(33.6%)、小学生では「5日」(41.9%)、「8時間」(20.8%)が最も多く、両者ともに「6日以上」が約6%います。

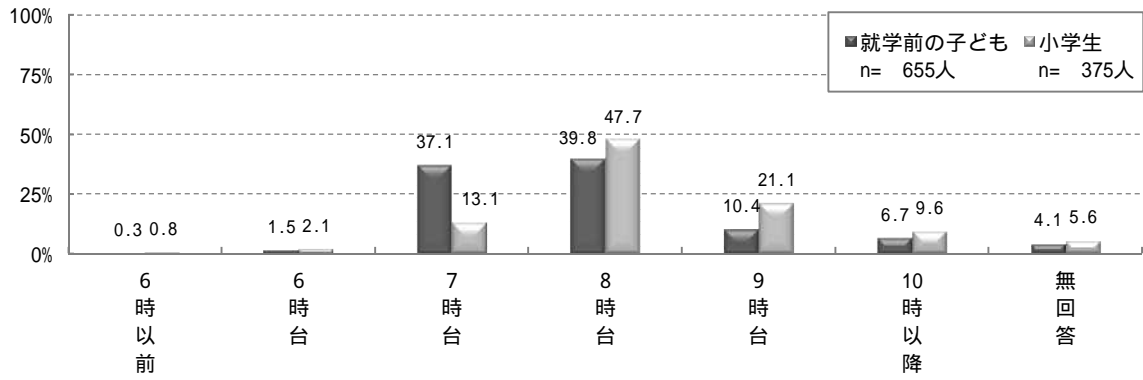
母親の出勤時間は、就学前の子どもでは「8時台」(39.8%)、「7時台」(37.1%)、「9時台」(10.4%)の順、小学生では「8時台」(47.7%)、「9時台」(21.1%)、「7時台」(13.1%)の順に多くなっています。

帰宅時間は、就学前の子どもでは「18時台」(32.2%)、「19時台」(22.1%)の順、小学生では「18時台」(15.5%)、「15時台」(14.4%)の順に多くなっています。

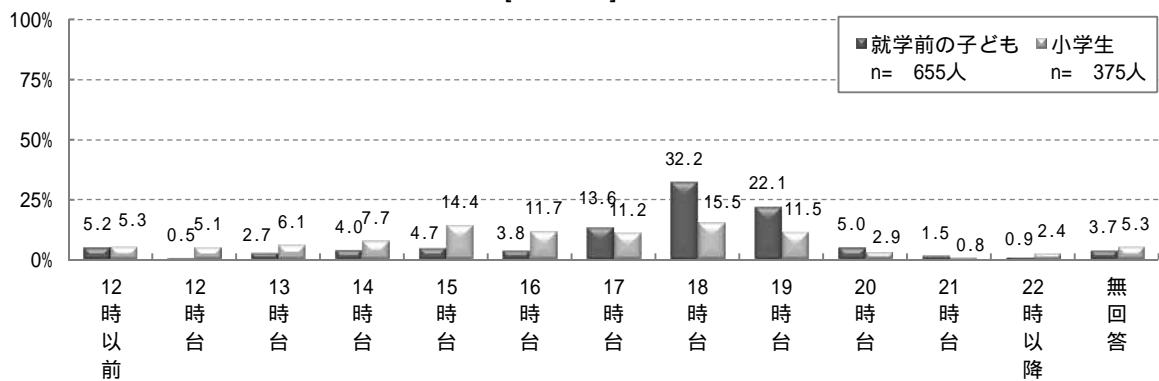
問 12-1[問 11-1] 母親の就労日数(1週当たり)・就労時間(1日当たり)



問 12-2[問 11-2] 母親の出勤時間



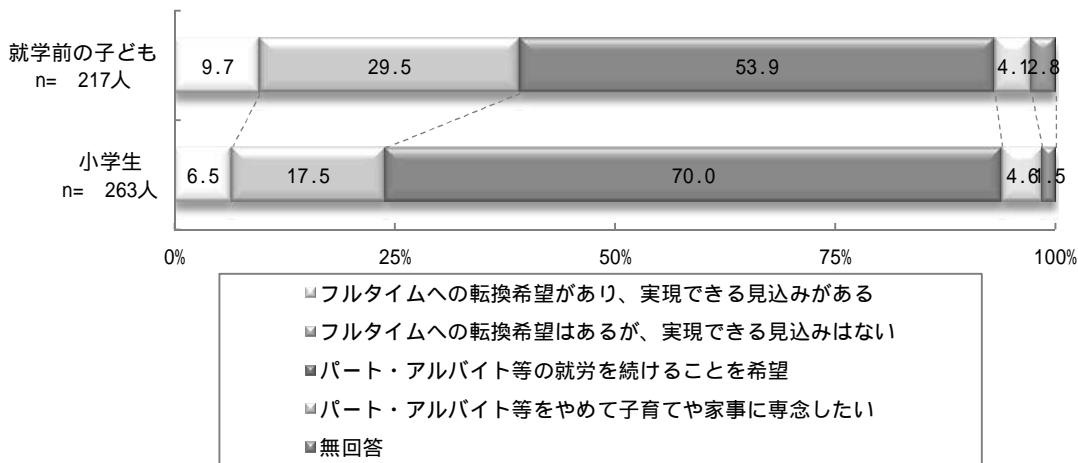
問 12-2[問 11-2] 母親の帰宅時間



母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前の子どもではフルタイム勤務を希望する方は 39.2%いますが、実現できる見込みのある方は 9.7%と1割弱に留まっています。

また、小学生でもフルタイム勤務を希望する方は 24.0%いますが、実現できる見込みのある方は 6.5%となっています。

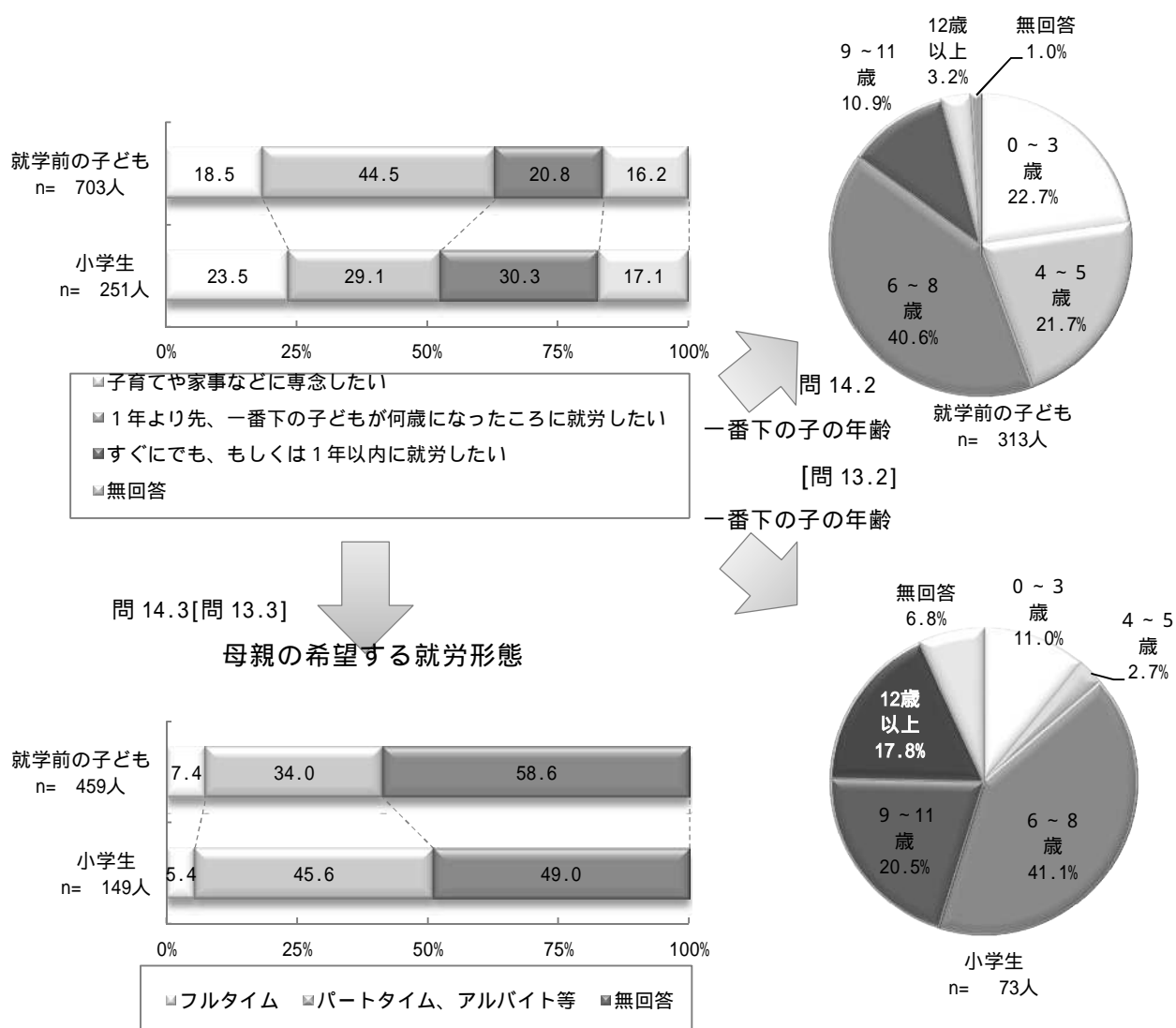
問 13[問 12] 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



就労していない母親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前の子どもでは就労したい方が65.3%おり、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(44.5%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(20.8%)、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(34.0%)、「フルタイム」(7.4%)となっています。就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」(40.6%)、「0～3歳」(22.7%)、「4～5歳」(21.7%)の順となっています。

小学生では就労したい方が59.4%おり、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.1%)、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(30.3%)、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(45.6%)、「フルタイム」(5.4%)となっています。就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」(41.1%)、「9～11歳」(20.5%)、「12歳以上」(17.8%)の順でした。

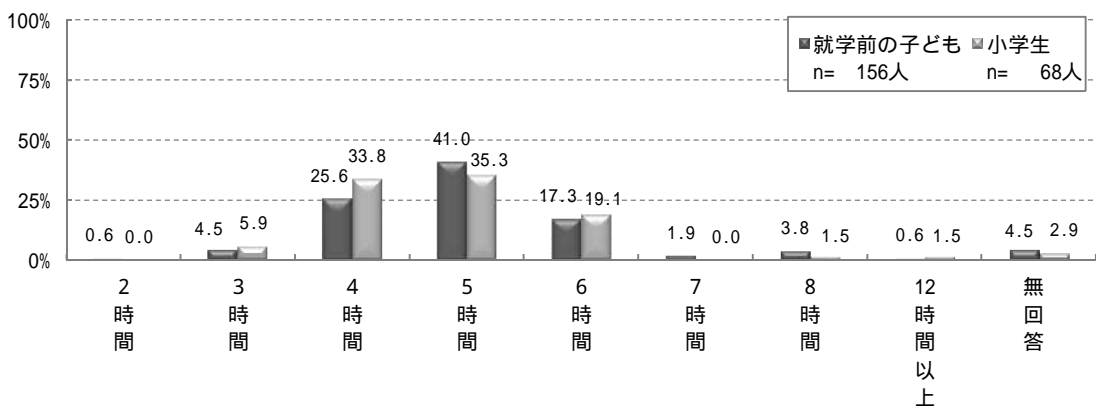
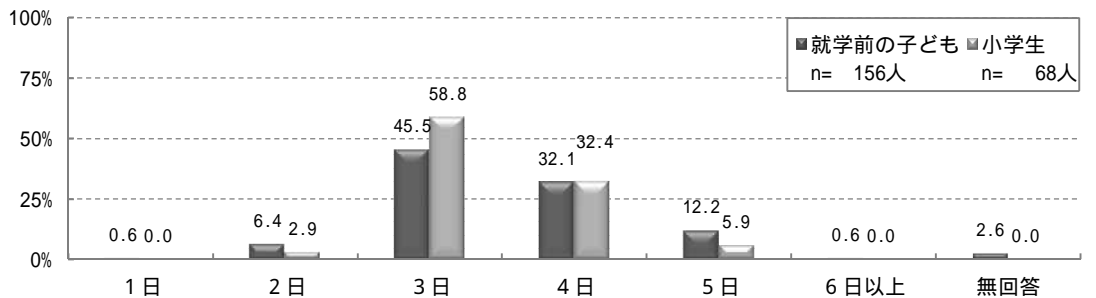
問14[問13] 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



母親の希望する就労形態をみると、就学前の子どもでは就労日数は「3日」(45.5%)、「4日」(32.1%)、「5日」(12.2%)の順、就労時間は「5時間」(41.0%)、「4時間」(25.6%)の順となっています。

小学生では、就労日数は「3日」(58.8%)、「4日」(32.4%)、「5日」(5.9%)の順、就労時間は「5時間」(35.3%)、「4時間」(33.8%)の順となっています。

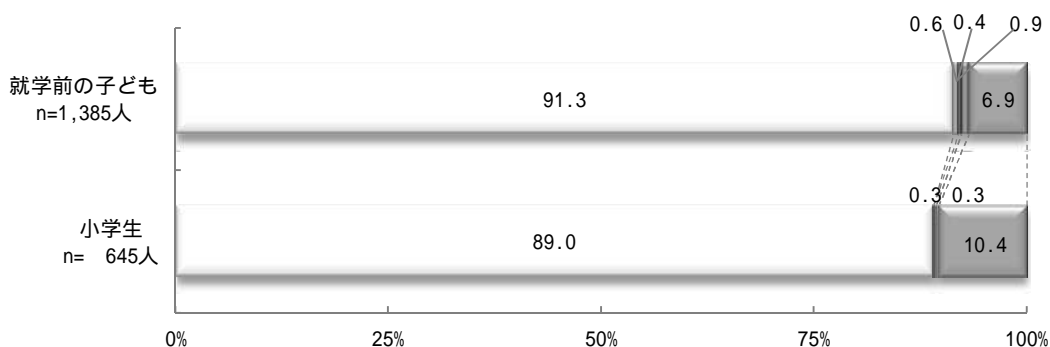
問 14.3.イ [問 13.3.イ] 母親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)



(2) 父親の就労状況

父親の就労状況をみると、就学前の子どもでは「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(91.3%)で最も多くなっています。
 小学生では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(89.0%)と就学前の子どもと同様に最も多くなっています。

問 12[問 11] 父親の就労状況



■フルタイムで就労しており、育休・介護・その他休業中ではない
■フルタイムで就労しているが、育休・介護・その他休業中である
■パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護・その他休業中ではない
■パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護・その他休業中である
■以前は就労していたが、現在は就労していない
■これまで就労したことがない
■無回答

就学前の子ども	小学生
91.3%	89.0%
0.6%	-
0.4%	0.3%
-	-
0.9%	0.3%
-	-
6.9%	10.4%

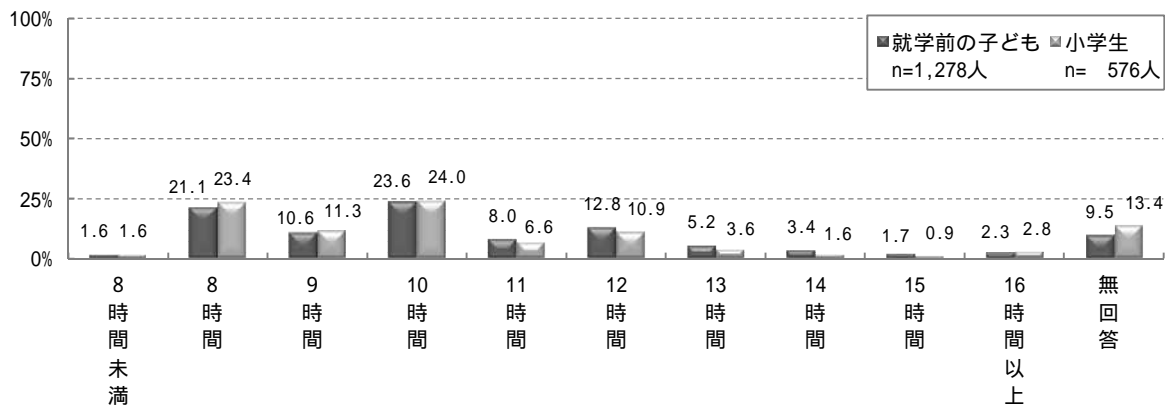
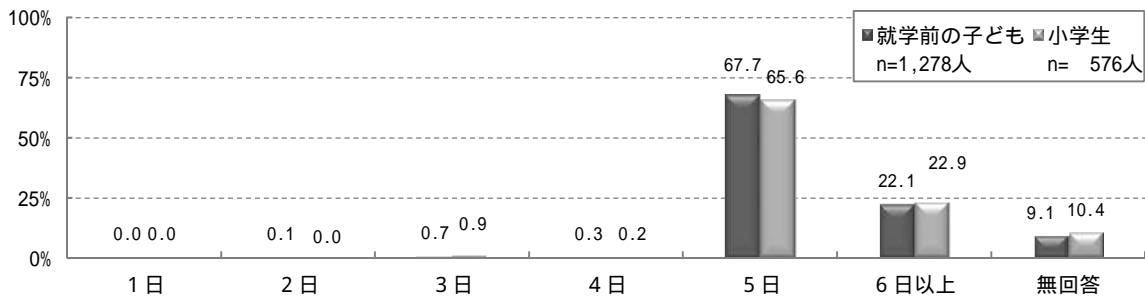
父親の就労日数では、「5日」(就学前の子ども 67.7%、小学生 65.6%)、「6日以上」(就学前の子ども 22.1%、小学生 22.9%)の順に多くなっています。

就労時間では、「10時間」(就学前の子ども 23.6%、小学生 24.0%)、「8時間」(就学前の子ども 21.1%、小学生 23.4%)の順に多くなっています。

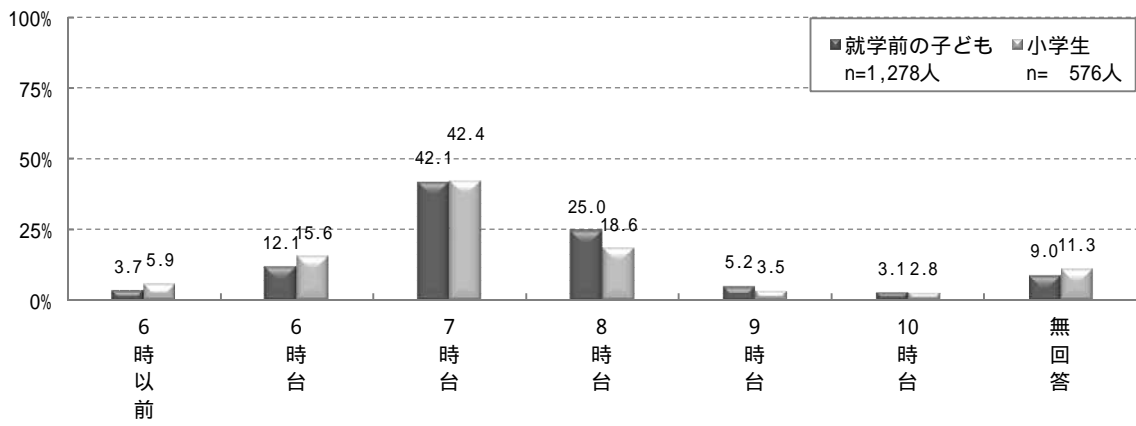
父親の出勤時間は、就学前の子どもでは「7時台」(42.1%)、「8時台」(25.0%)、「6時台」(12.1%)の順、小学生では「7時台」(42.4%)「8時台」(18.6%)、「6時台」(15.6%)の順に多くなっています。

帰宅時間は、就学前の子どもでは「21時台」(18.5%)「20時台」(16.1%)の順、小学生では「21時台」(17.4%)「20時台」(15.1%)の順に多く、両者ともに22時以降の帰宅は3割弱となっています。

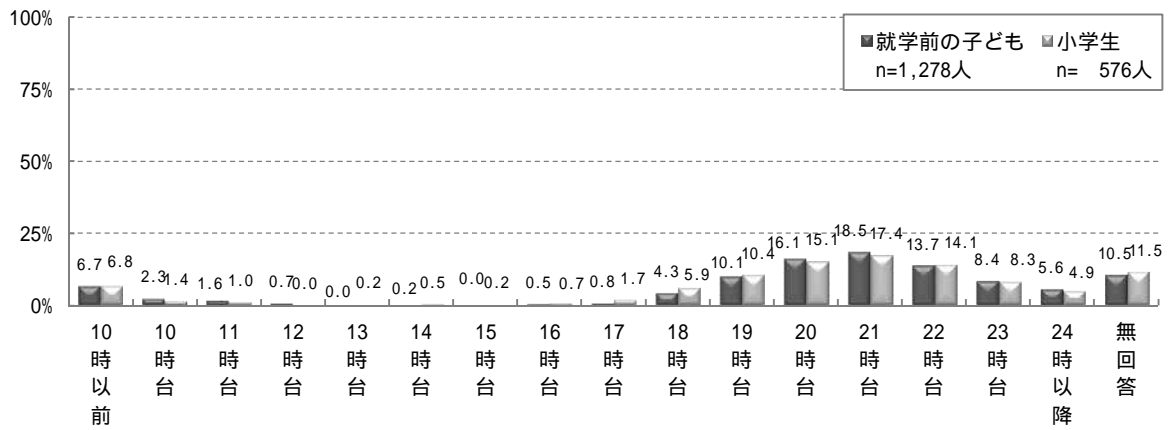
問 12-1[問 11-1] 父親の就労日数(1週当たり)・就労時間(1日当たり)



問 12-2[問 11-2] 父親の出勤時間

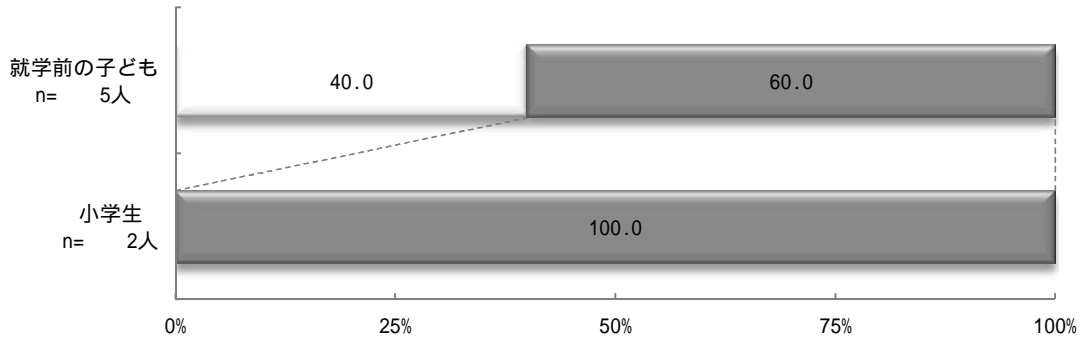


問 12-2[問 11-2] 父親の帰宅時間



父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前の子どもではフルタイム勤務を希望し、実現できる見込みのある方が 40.0%、パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する方が 60.0%となっています。
小学生ではパート・アルバイト等の就労を続けることを希望する方が 100.0%となっています。

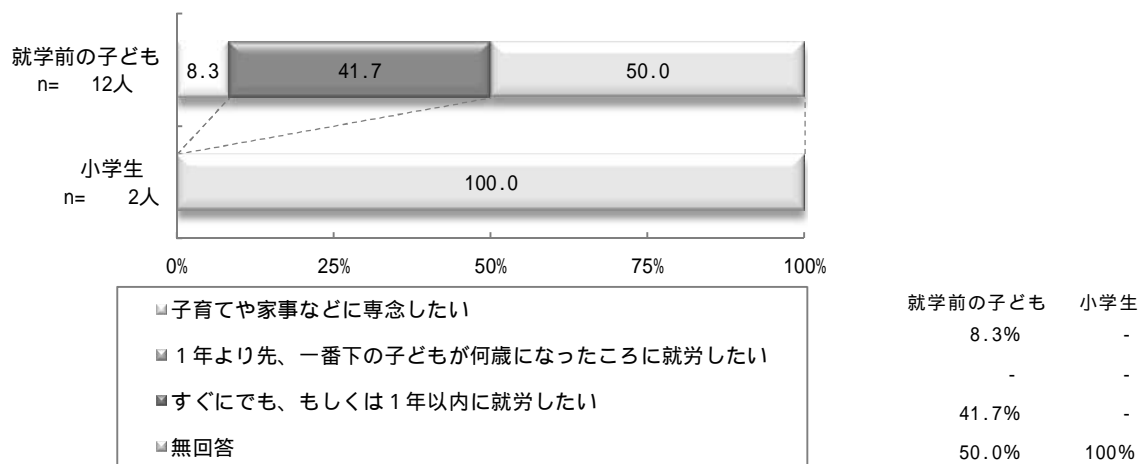
問 13[問 12] 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

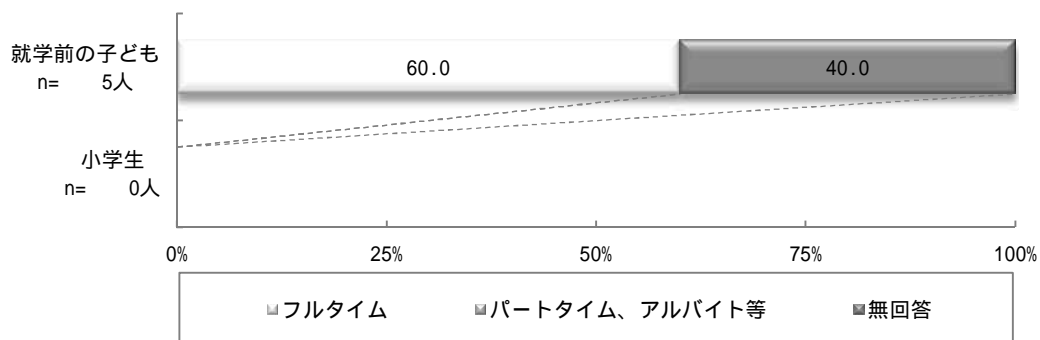
就労していない父親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前の子どもでは「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(41.7%)となっており、そのうち60.0%の方が「フルタイム」を希望しています。
小学生では今後の就労希望、希望する就労形態ともに無回答でした。

問 14[問 13] 就労していない父親の今後の就労希望



問 14.3[問 13.3]

父親の希望する就労形態



第 3 章

子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

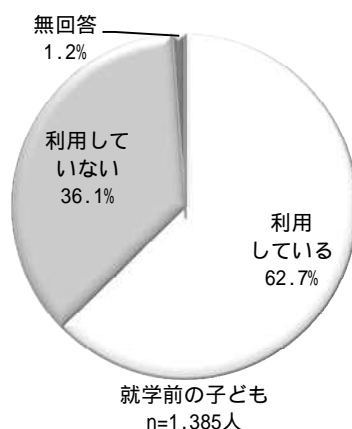
(1) 平日の定期的な教育・保育事業

定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、利用している就学前の子どもは62.7%となっています。

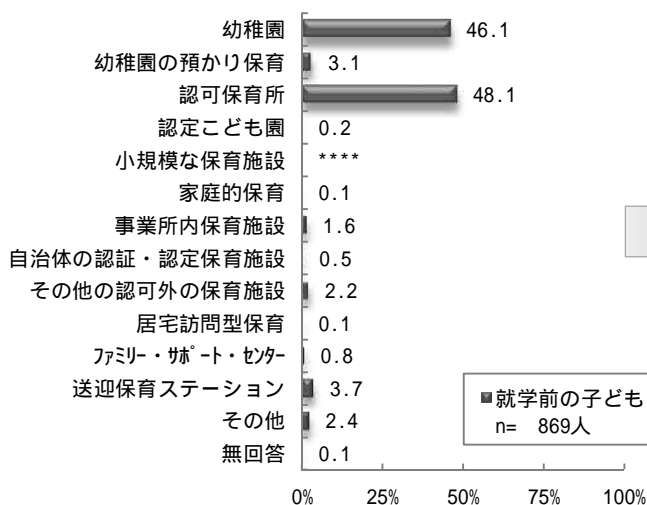
利用中の事業としては、「認可保育所」(48.1%)、「幼稚園」(46.1%)、「送迎保育ステーション」(3.7%)、「幼稚園の預かり保育」(3.1%)の順に多くなっています。

希望する事業は、「幼稚園」(57.4%)が最も多くなっています。また、「幼稚園の預かり保育」(27.8%)、「認定こども園」(19.9%)などが大きく増加しています。

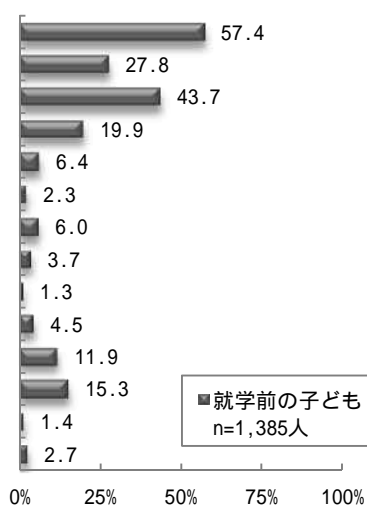
問15 定期的な教育・保育事業の利用状況



問15-1 利用中の定期的な教育・保育事業(MA)



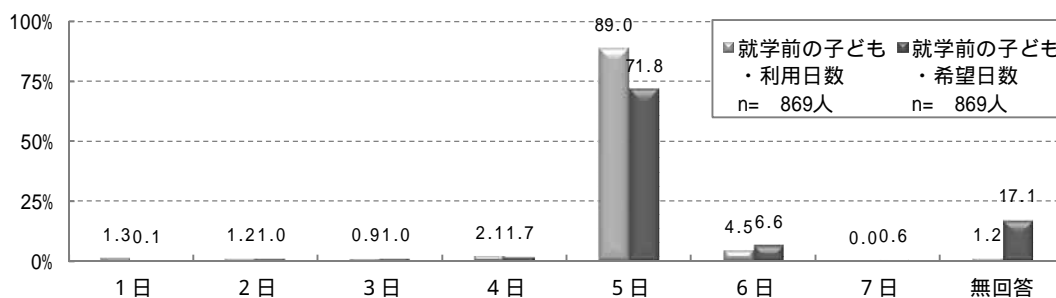
問16 希望する定期的な教育・保育事業(MA)



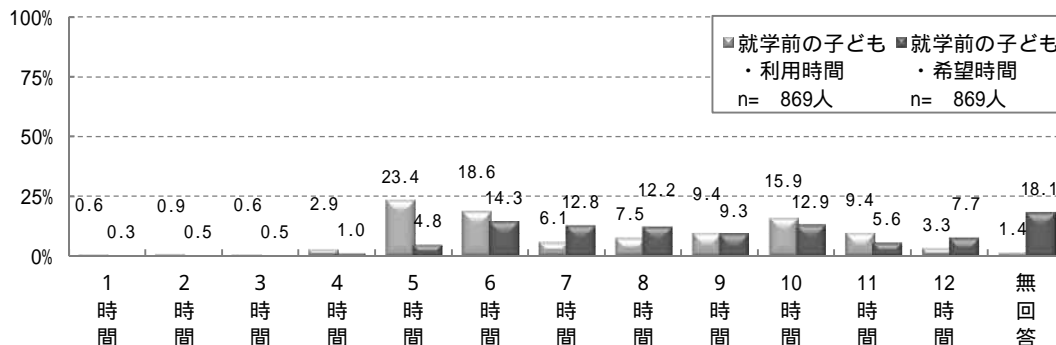
定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（89.0%）、「6日」（4.5%）の順に多く、希望では「5日」（71.8%）が減少した一方で「6日」（6.6%）がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「5時間」（23.4%）、「6時間」（18.6%）、「10時間」（15.9%）の順に多くなっています。希望では「5時間」（4.8%）、「6時間」（14.3%）、「10時間」（12.9%）、「11時間」（5.6%）が減少し、「7時間」（12.8%）、「8時間」（12.2%）、「12時間」（7.7%）が増加しています。

問 15-2 (1) (2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）



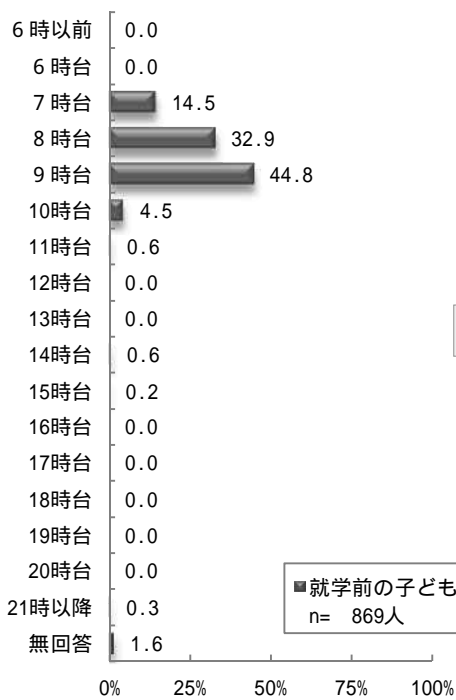
問 15-2 (1) (2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



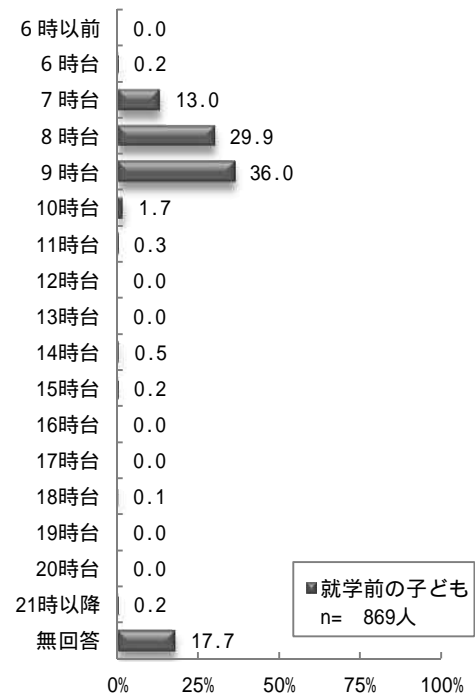
定期的な教育・保育事業の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」(44.8%)、「8時台」(32.9%)、「7時台」(14.5%)の順、終了時間は「14時台」(30.1%)、「18時台」(21.5%)、「15時台」(11.9%)の順となっています。

希望開始時間では、「9時台」(36.0%)、「8時台」(29.9%)、「7時台」(13.0%)の順に多く、希望終了時間では、「15時台」(18.1%)、「18時台」(16.5%)、「17時台」(14.4%)の順に多くなっています。

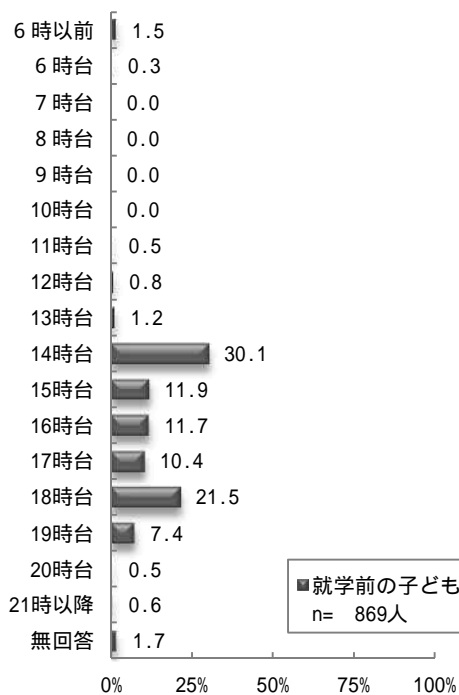
問 15-2 (1) 利用開始時間



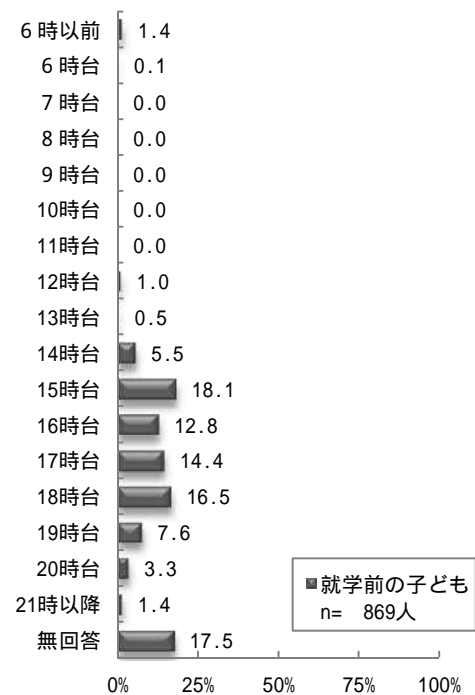
問 15-2 (2) 希望開始時間



問 15-2 (1) 利用終了時間

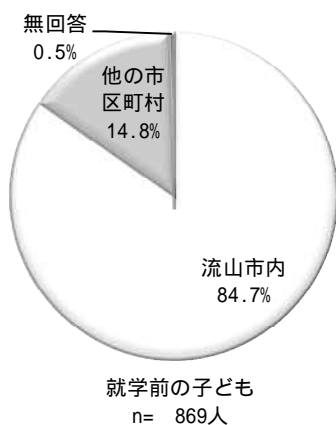


問 15-2 (2) 希望終了時間

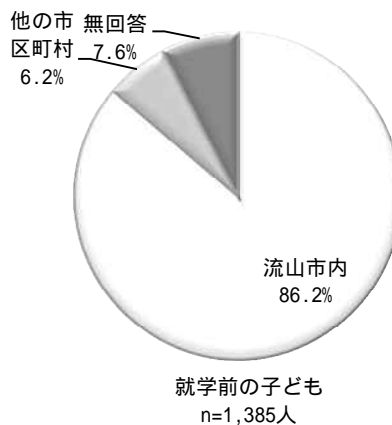


定期的な教育・保育事業の教育・保育施設の利用場所は、「流山市内」(84.7%)と回答し、ほとんどの方が市内の施設を利用しています。希望する実施場所としては、「流山市内」(86.2%)となっています。

問 15-3 教育・保育の実施場所



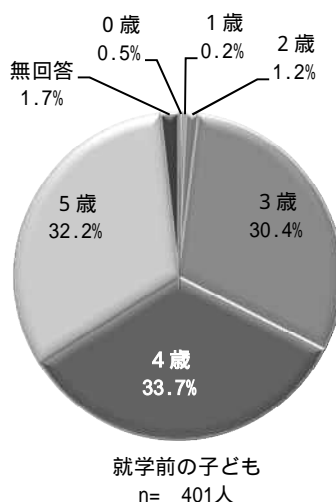
問 16-1 教育・保育の希望実施場所



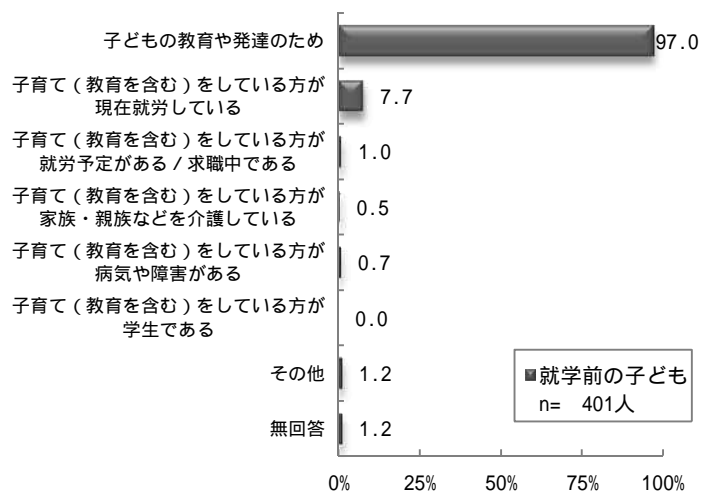
(2) 幼稚園

幼稚園を利用していると回答された方の属性は、以下のとおりです。
 利用している理由は、ほとんどが「子どもの教育や発達のため」(97.0%)であり、次いで「子育て(教育を含む)している方が現在就労している」(7.7%)の順に多く、その他の理由はごく少数となっています。

問 15-1. で 1. 幼稚園を利用していると回答された方の属性



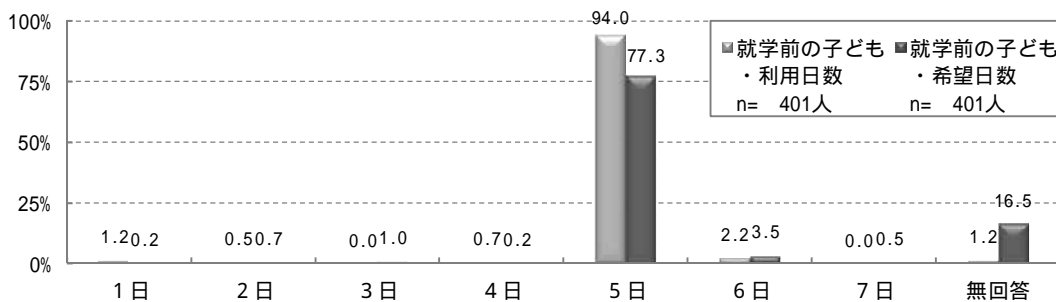
問 15-4. 幼稚園を利用している理由(MA)



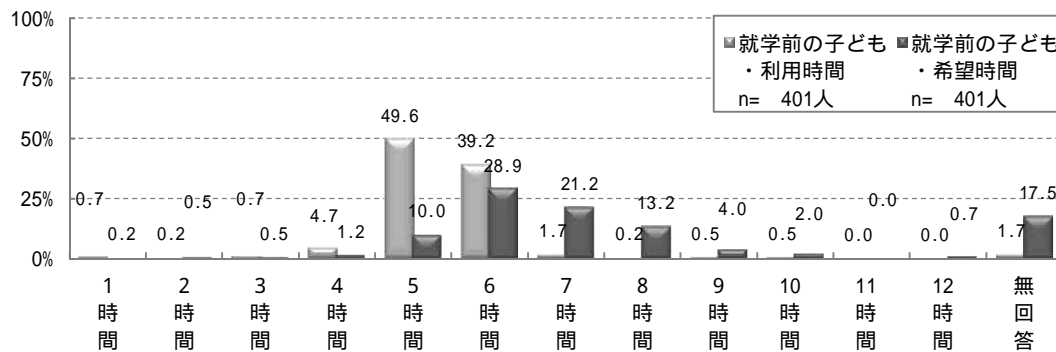
幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(94.0%)が最も多く、希望では「5日」(77.3%)が減少しています。

また、利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「5時間」(49.6%)、「6時間」(39.2%)が多く、希望では「5時間」(10.0%)、「6時間」(28.9%)が減少した一方で「7時間」(21.2%)、「8時間」(13.2%)が増加しているため、一部の利用者が時間延長を希望していることが伺えます。

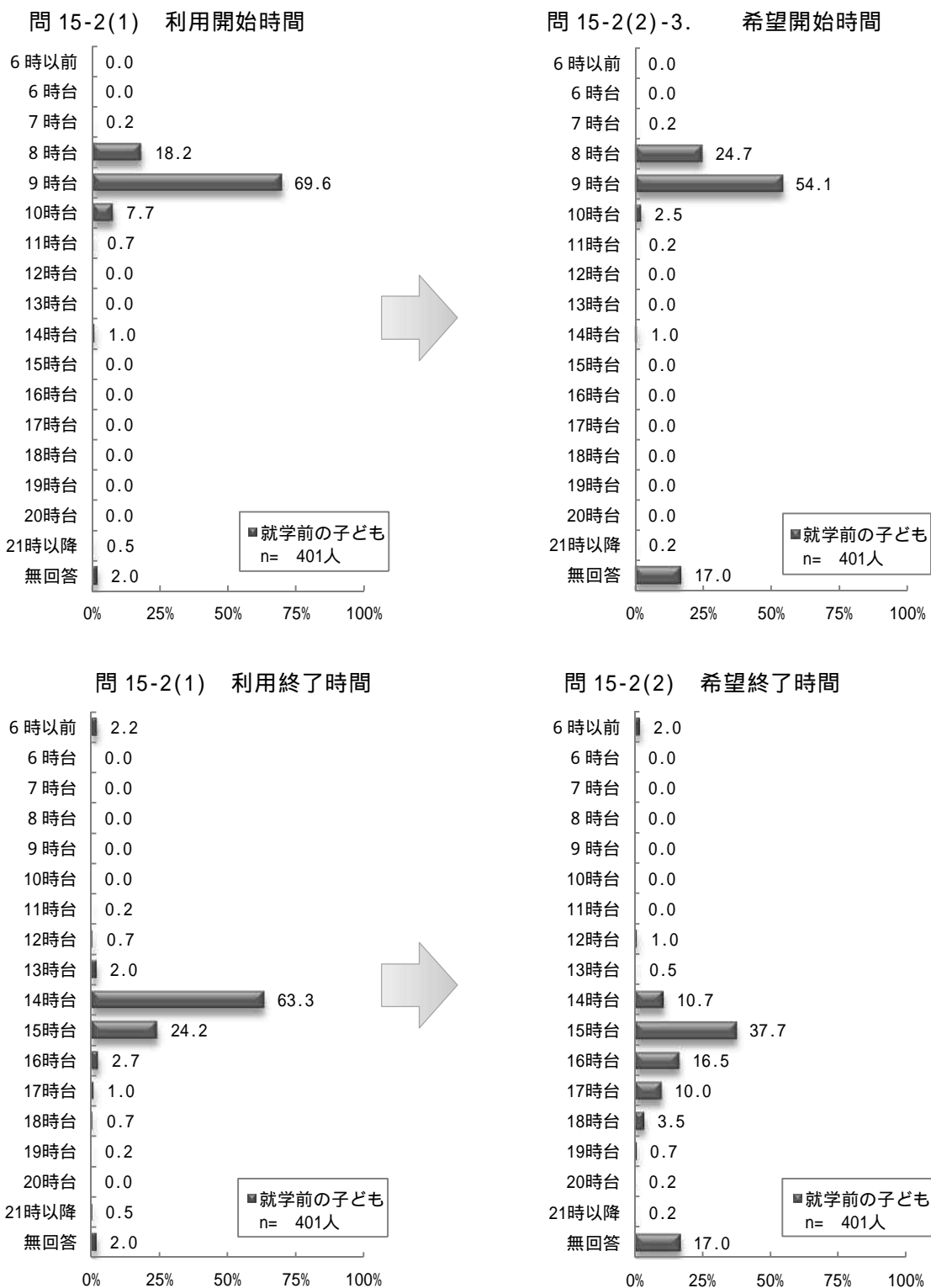
問 15-2(1)(2) 幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)



問 15-2(1)(2) 幼稚園の利用時間と希望時間(1日当たり)



利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9 時台」(69.6%)、「8 時台」(18.2%)、終了時間は「14 時台」(63.3%)、「15 時台」(24.2%)となっています。利用終了時間と希望終了時間では、希望終了時間において「13 時台」(0.5%)、「14 時台」(10.7%)が減少した一方で「15 時台」(37.7%)、「16 時台」(16.5%)、「17 時台」(10.0%)、「18 時台」(3.5%)が増加しています。

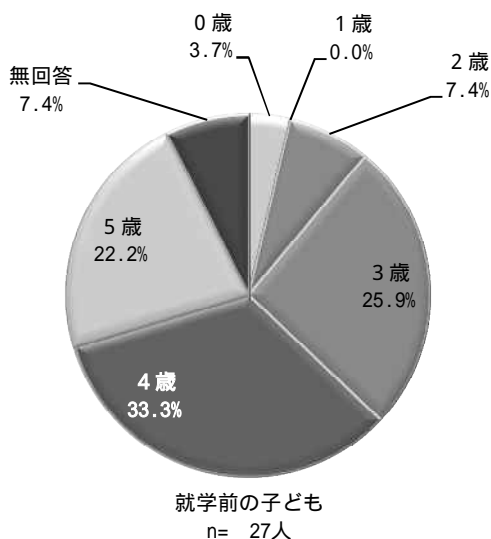


(3) 幼稚園の預かり保育

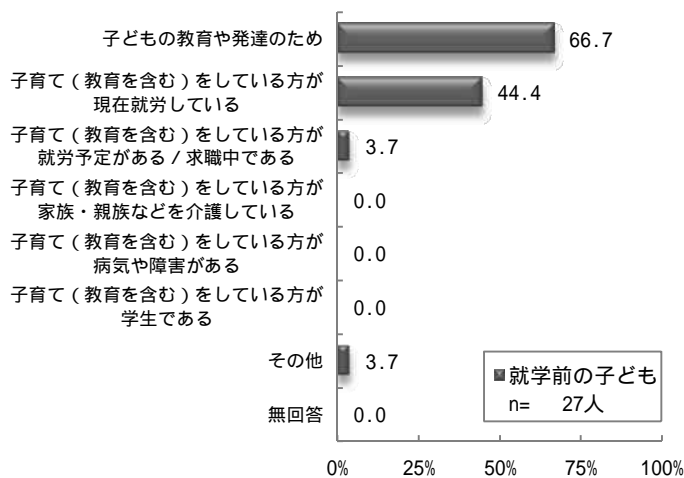
幼稚園の預かり保育を利用していると回答された方の属性は、以下のとおりです。

利用している理由は、ほとんどが「子どもの教育や発達のため」(66.7%)であり、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(44.4%)の順に多く、その他の理由はごく少数となっています。

問 15-1 で 2. 幼稚園の預かり保育を利用していると回答された方の属性



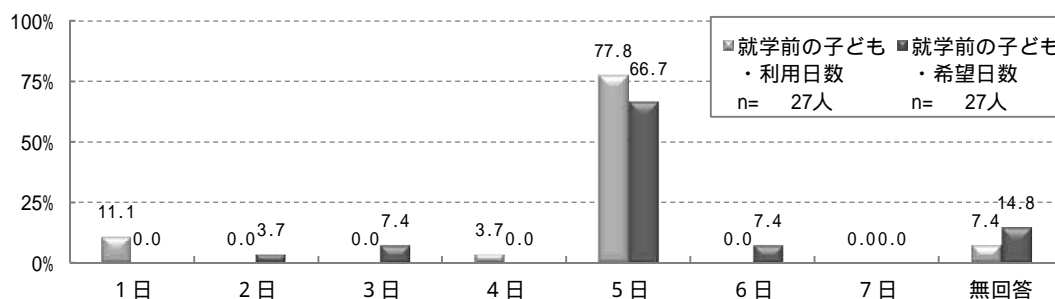
問 15-4 幼稚園の預かり保育を利用している理由 (MA)



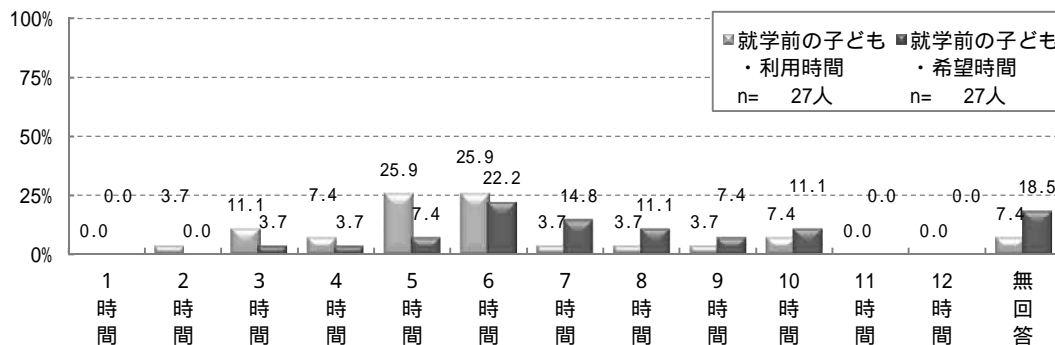
幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（77.8%）「1日」（11.1%）の順に多く、希望日数では「1日」（0.0%）「4日」（0.0%）「5日」（66.7%）が減少し、「2日」（3.7%）「3日」「6日」（各7.4%）がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「5時間」「6時間」（各25.9%）「3時間」（11.1%）の順、希望では「3時間」（3.7%）「4時間」（3.7%）「5時間」（7.4%）「6時間」（22.2%）が減少した一方で「9時間」（7.4%）「8時間」「10時間」（各11.1%）「7時間」（14.7%）までが増加しているため、一部の利用者が時間延長を希望していることが伺えます。

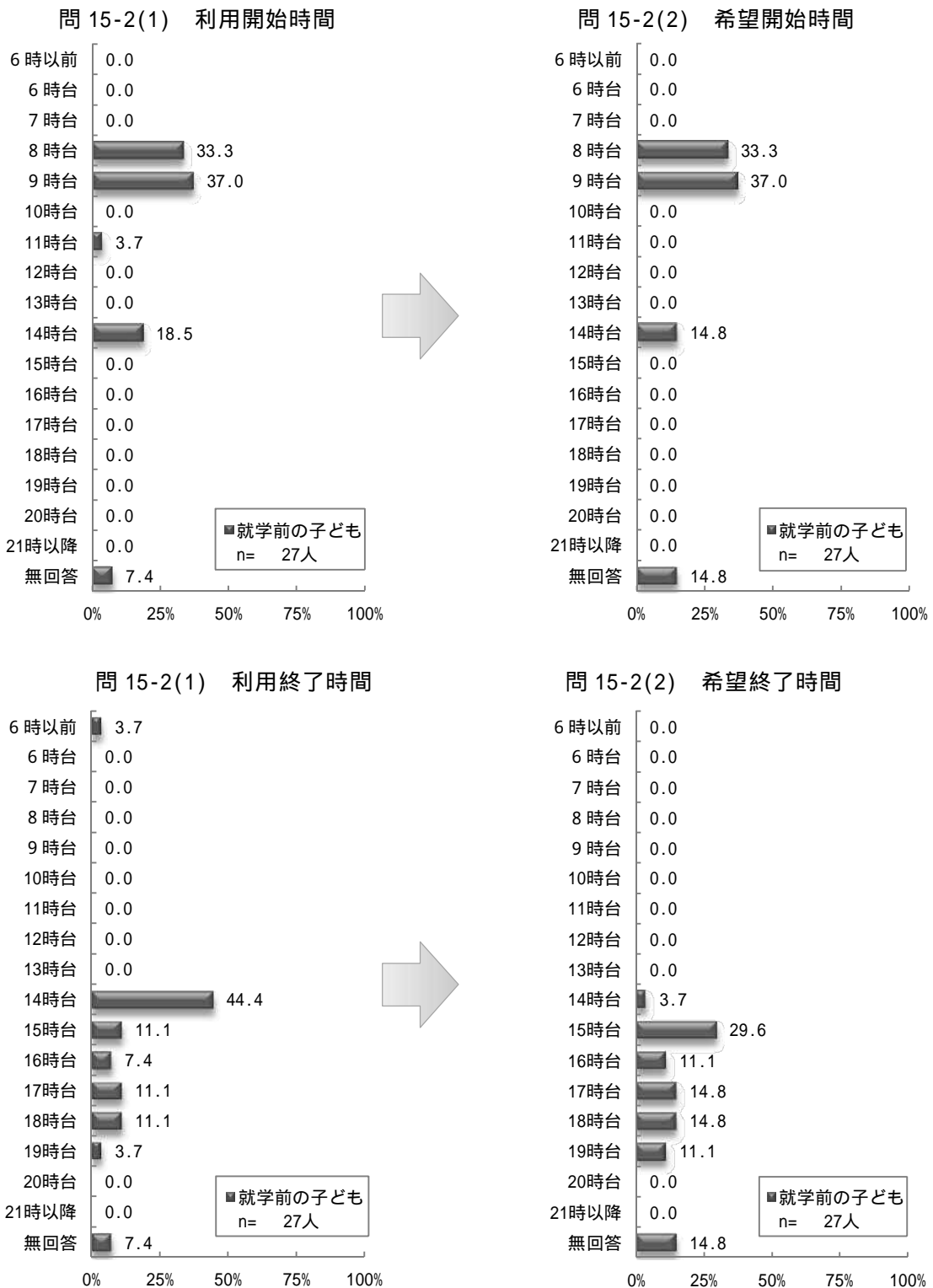
問 15-2(1)(2) 幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数（1週当たり）



問 15-2(1)(2) 幼稚園の預かり保育の利用時間と希望時間（1日当たり）



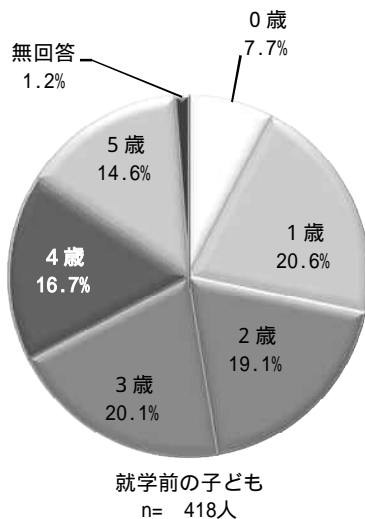
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9 時台」(37.0%)、「8 時台」(33.3%)、「14 時台」(18.5%)、終了時間は「14 時台」(44.4%)、「15 時台」(11.1%)、「17 時台」(11.1%)、「18 時台」(各 11.1%)となっています。利用時間と希望時間では、希望終了時間において「14 時台」(3.7%)が減少し、「15 時台」(29.6%)、「16 時台」(11.1%)、「17 時台」(14.8%)、「18 時台」(14.8%)、「19 時台」(11.1%)が増加しています。



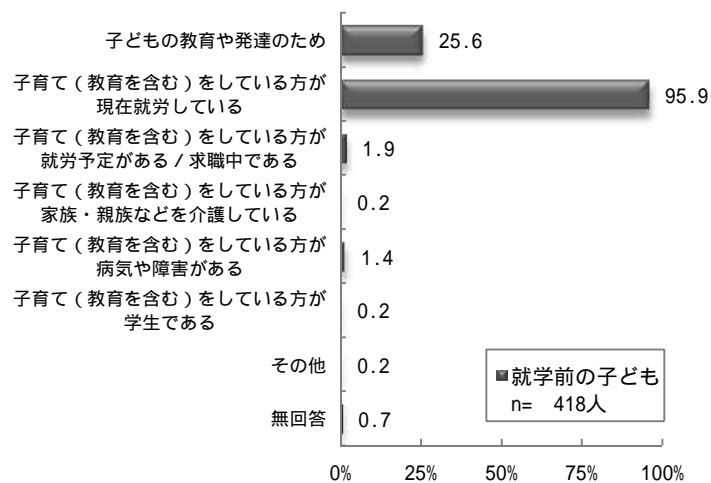
(4) 認可保育所

認可保育所を利用していると回答された方の属性は以下のとおりです。
 利用している理由は、ほとんどが「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(95.9%)であり、次いで「子どもの教育や発達のため」(25.6%)の順に多く、その他の理由はごく少数となっています。

問 15-1 で 3. 認可保育所を利用していると回答された方の属性



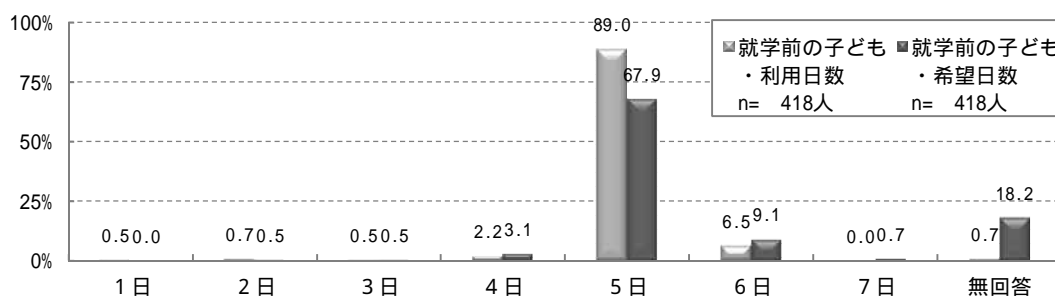
問 15-4 認可保育所を利用している理由(MA)



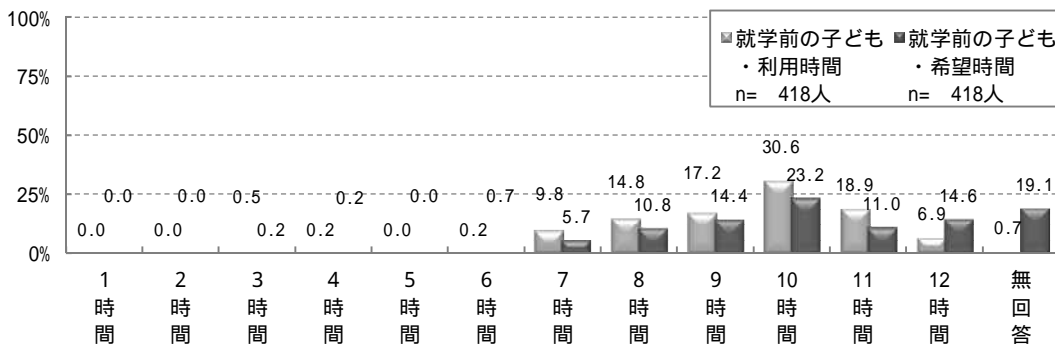
認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用日数では「5日」（89.0%）が多く、希望日数では「5日」（67.9%）が減少した一方で「6日」（9.1%）がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用時間では「10時間」（30.6%）、「11時間」（18.9%）、「9時間」（17.2%）、「8時間」（14.8%）の順に多く、希望時間では「7時間」（5.7%）、「8時間」（10.8%）、「9時間」（14.4%）、「10時間」（23.2%）、「11時間」（11.0%）がやや減少し、「12時間」（14.6%）でやや増加しています。

問 15-2(1)(2) 認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）



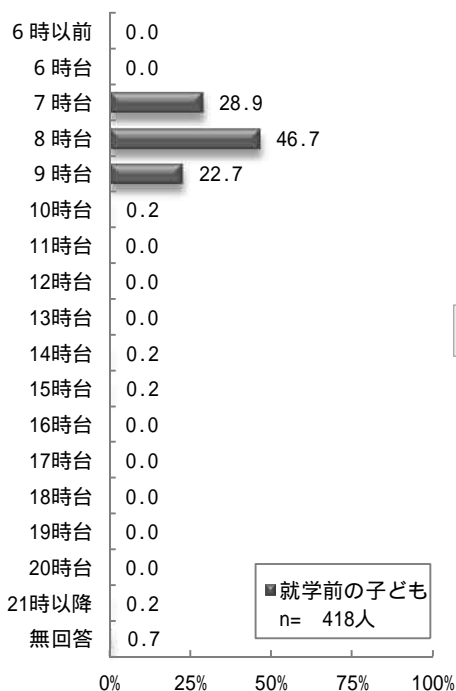
問 15-2(1)(2) 認可保育所の利用時間と希望時間（1日当たり）



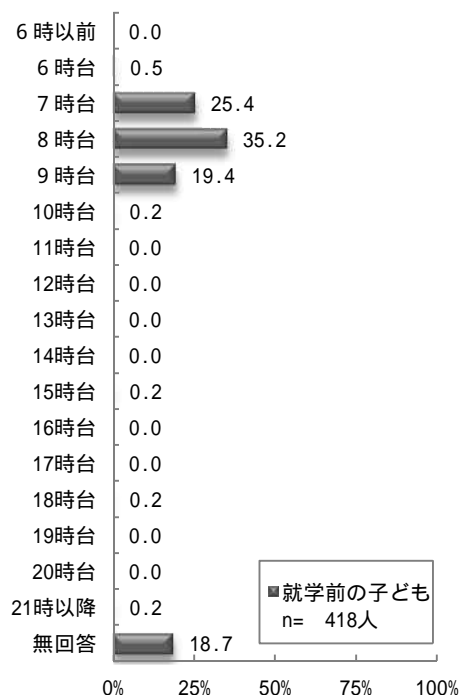
利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(46.7%)、「7時台」(28.9%)、「9時台」(22.7%)、終了時間は「18時台」(40.4%)、「16時台」(20.1%)、「17時台」(19.6%)となっています。

利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「16時台」(9.6%)、「17時台」(18.7%)、「18時」(27.8%)、「19時台」(14.8%)が減少し、「20時台」(6.2%)、「21時以降」(2.6%)で希望者がやや増加しています。

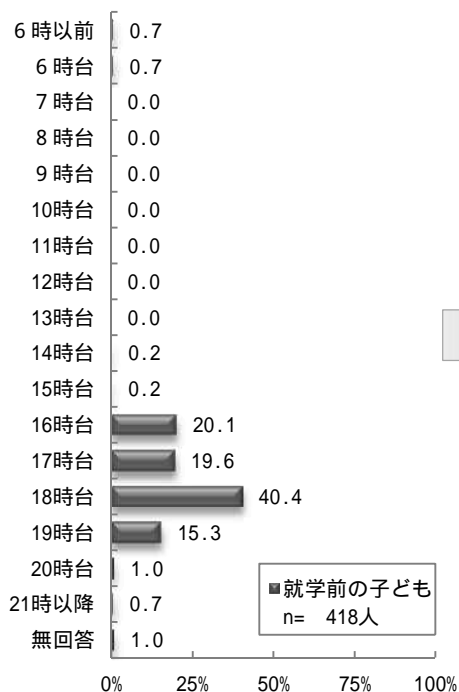
問 15-2(1) 利用開始時間



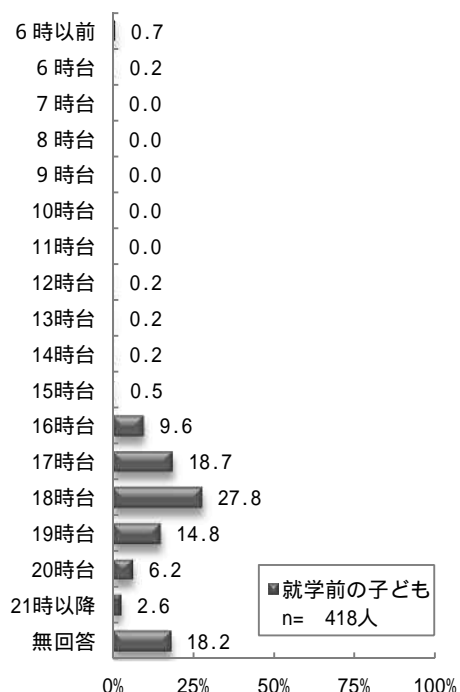
問 15-2(2) 希望開始時間



問 15-2(1) 利用終了時間



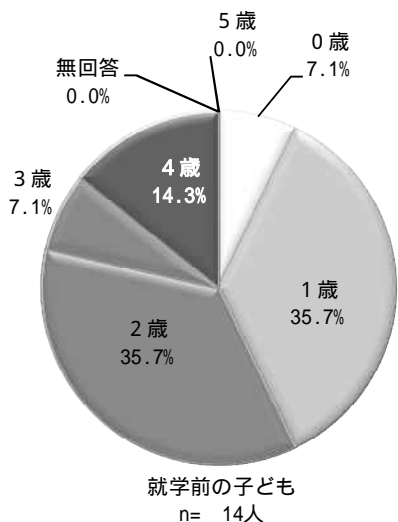
問 15-2(2) 希望終了時間



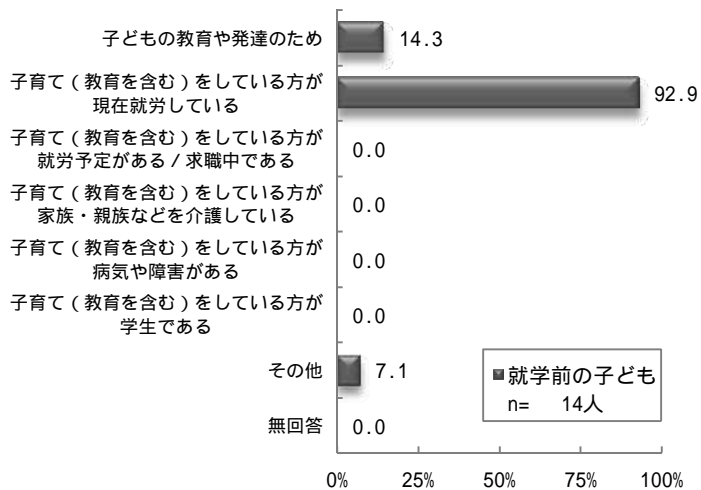
(5) 事業所内保育施設

事業所内保育施設を利用していると回答された方の属性は以下のとおりです。
 利用している理由は、ほとんどが「子育て（教育を含む）している方が現在就労している」（92.9%）であり、次いで「子どもの教育や発達のため」（14.3%）の順に多く、その他の理由はごく少数となっています。

問 15-1 で 6. 事業所内保育施設を利用していると回答された方の属性



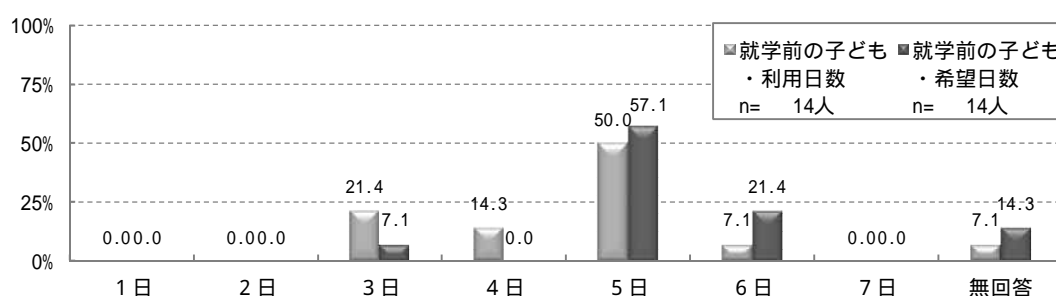
問 15-4 事業所内保育施設を利用している理由(MA)



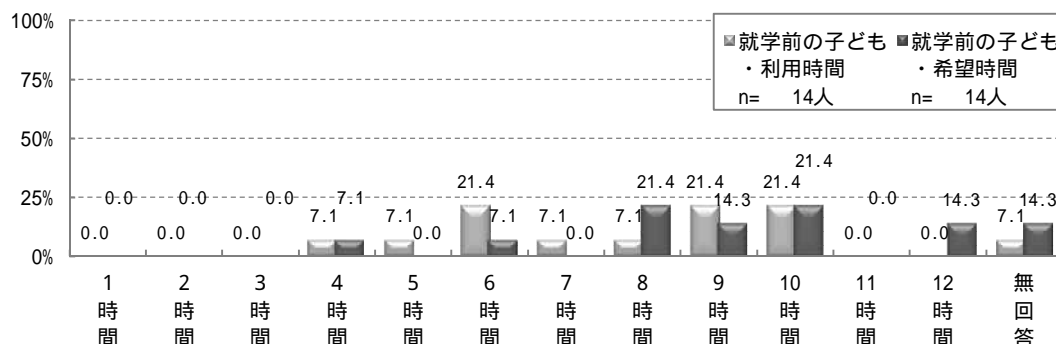
事業所内保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用日数では「5日」（50.0%）、「3日」（21.4%）の順に多く、希望日数では「3日」（2.1%）、「4日」（0.0%）が減少した一方で「5日」（57.1%）、「6日」（21.4%）がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用時間では「6時間」「9時間」「10時間」（各21.4%）が最も多く、希望時間では「6時間」（7.1%）、「9時間」（14.3%）が減少した一方で「8時間」（21.4%）、「12時間」（14.3%）が増加しているため、一部の利用者で時間延長の希望が伺えます。

問 15-2(1)(2) 事業所内保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）

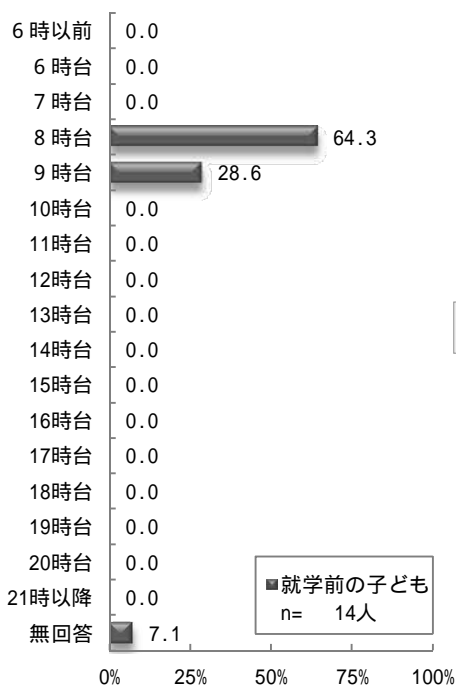


問 15-2(1)(2) 事業所内保育施設の利用時間と希望時間（1日当たり）

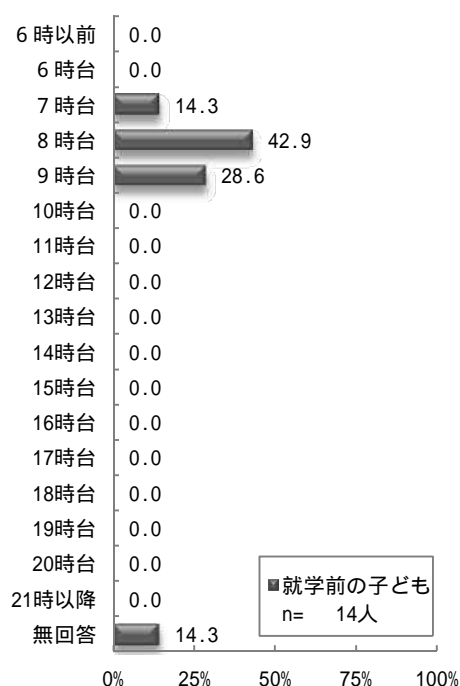


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(64.3%)、「9 時台」(28.6%)、終了時間は「18 時台」(28.6%)、「13 時台」「15 時台～17 時台」(各 14.3%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望開始時間では「8 時台」(42.9%)が減少し、「7 時台」(14.3%)が増加しています。希望終了時間では「13 時台」(7.1%)、「14 時台」(0.0%)、「15 時台」(7.1%)が減少した一方で「19 時台」「20 時台」(各 7.1%)が増加しています。

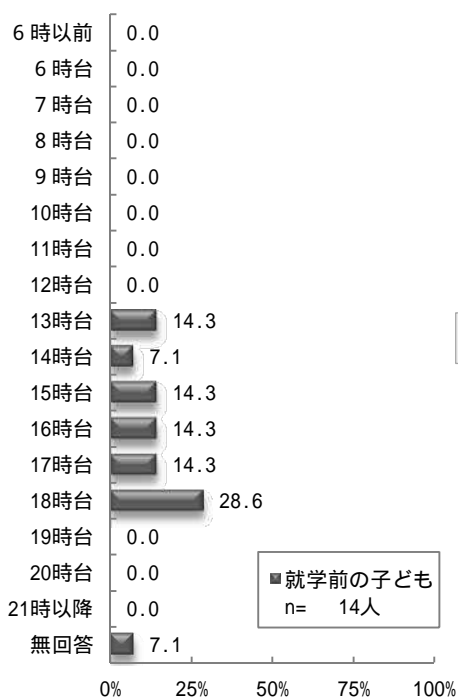
問 15-2(1) 利用開始時間



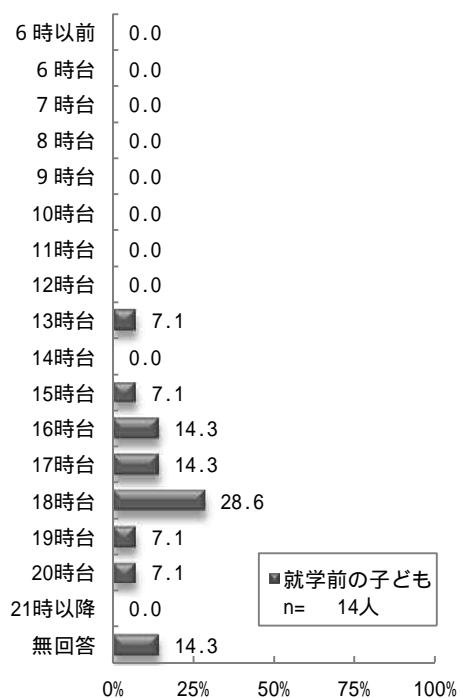
問 15-2(2) 希望開始時間



問 15-2(1) 利用終了時間



問 15-2(2) 希望終了時間

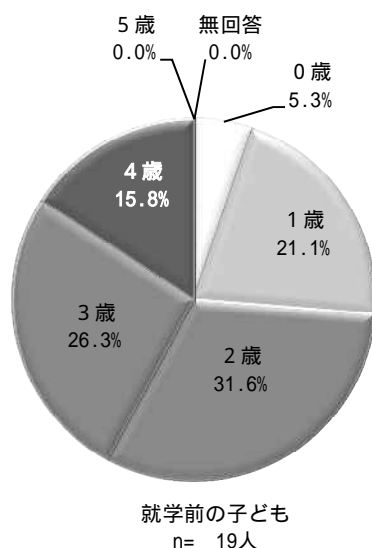


(6) その他の認可外の保育施設

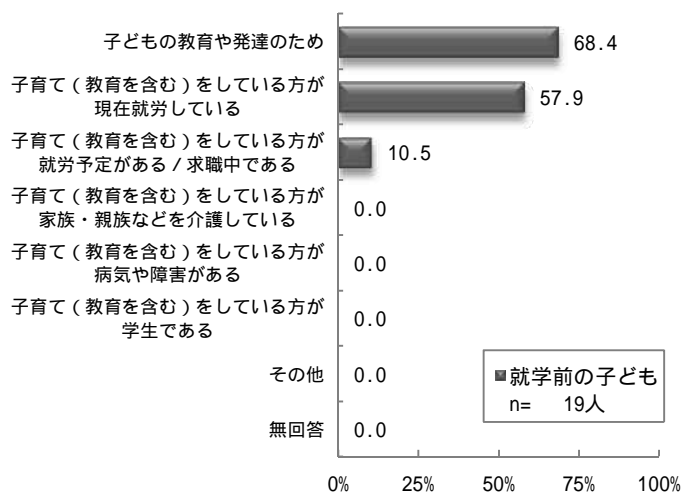
その他の認可外の保育施設を利用していると回答された方の属性は以下のとおりです。

利用している理由は、ほとんどが「子どもの教育や発達のため」(68.4%)であり、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(57.9%)、「子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である」(10.5%)の順に多くなっています。

問 15-1 で 8. その他の認可外の保育施設を利用していると回答された方の属性



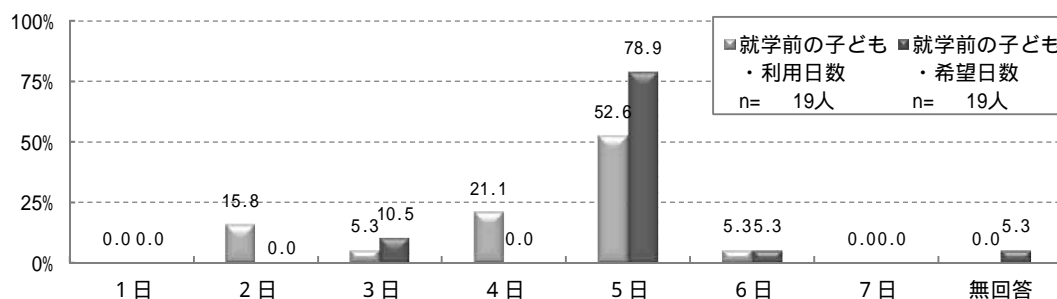
問 15-4 その他の認可外の保育施設を利用している理由(MA)



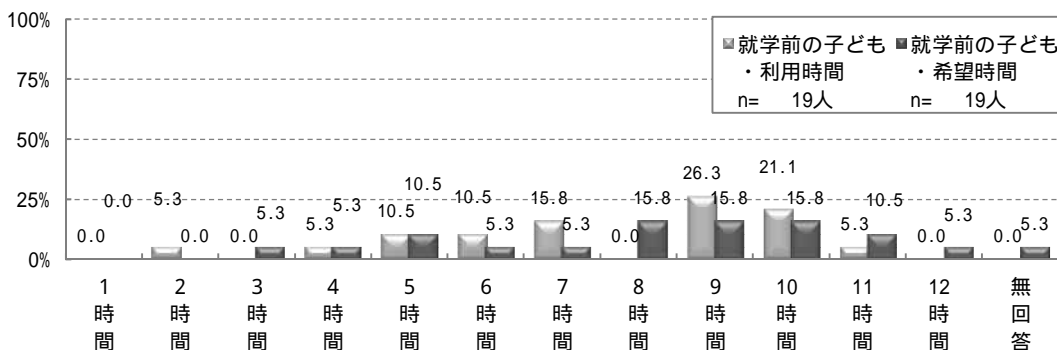
その他の認可外の保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用日数では「5日」（52.6%）、「4日」（21.1%）、「2日」（15.8%）の順に多く、希望日数では「5日」（78.9%）が増加した一方で「2日」（0%）、「4日」（0%）が減少しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用時間では「9時間」（26.3%）、「10時間」（21.1%）の順に多く、希望時間では「6時間」「7時間」（各5.3%）、「9時間」「10時間」（各15.8%）が減少した一方で「8時間」（15.8%）、「11時間」（10.5%）が増加しているため、一部の利用者に時間延長の希望が伺えます。

問 15-2(1)(2) その他の認可外の保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）

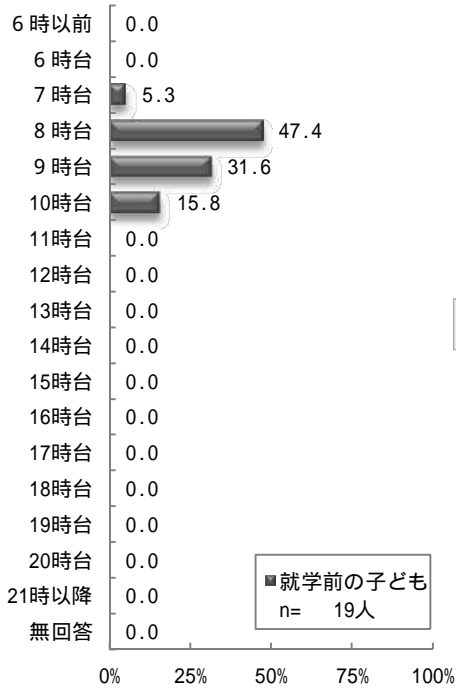


問 15-2(1)(2) その他の認可外の保育施設の利用時間と希望時間（1日当たり）

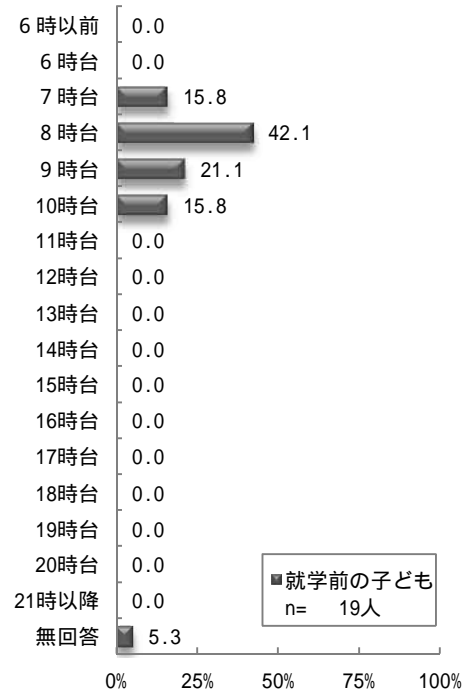


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(47.4%)、「9 時台」(31.6%)、「10 時台」(15.8%)、終了時間は「18 時台」(42.1%)、「15 時台」(21.1%)、「14 時台」「16 時台」「17 時台」(各 10.5%)となっています。利用終了時間と希望終了時間をみると「15 時台」(10.5%)と「18 時台」(36.8%)が減少した一方で「20 時台」(5.3%)が増加しています。

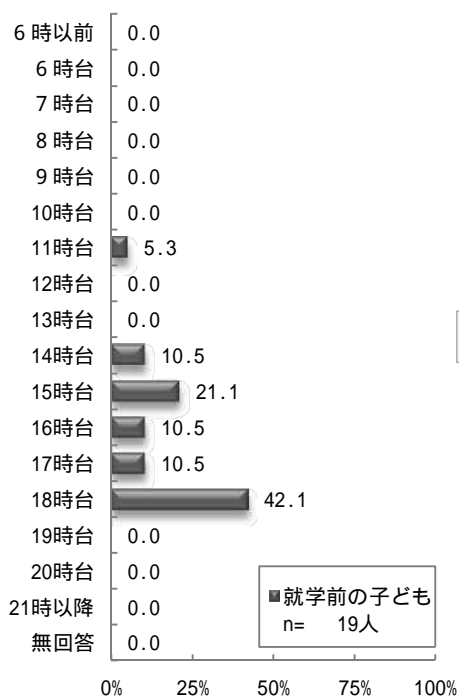
問 15-2(1) 利用開始時間



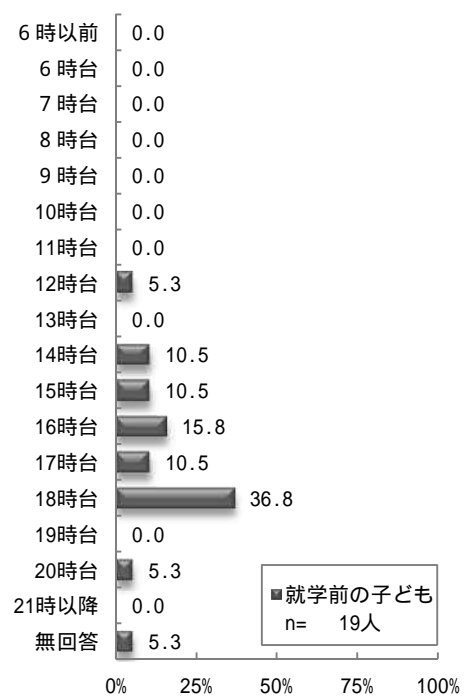
問 15-2(2) 希望開始時間



問 15-2(1) 利用終了時間



問 15-2(2) 希望終了時間

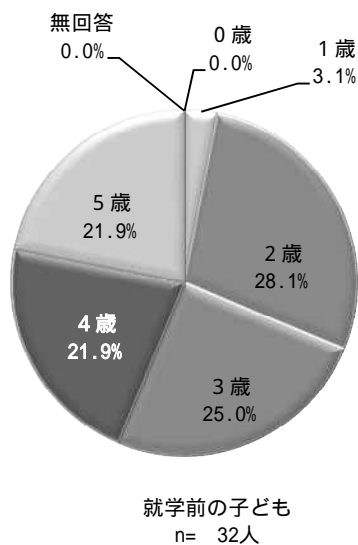


(7) 送迎保育ステーション

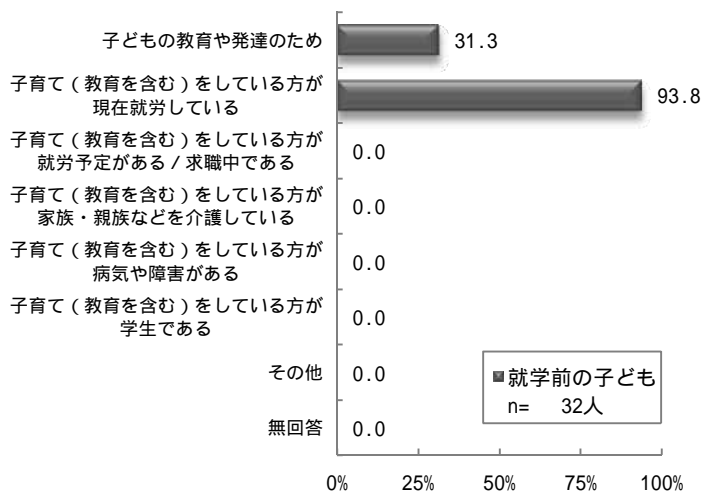
送迎保育ステーションを利用していると回答された方の属性は以下のとおりです。

利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（93.8%）が最も多く、次の順に「子どもの教育や発達のため」（31.3%）が多くなっています。

問 15-1 で 11.送迎保育ステーションを利用していると回答された方の属性



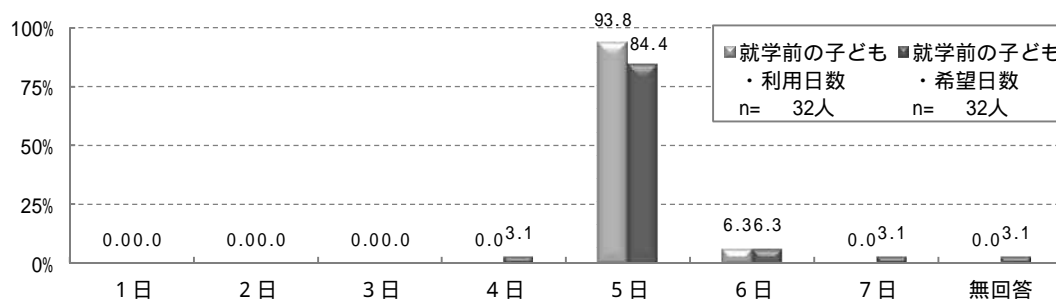
問 15-4 送迎保育ステーションを利用している理由(MA)



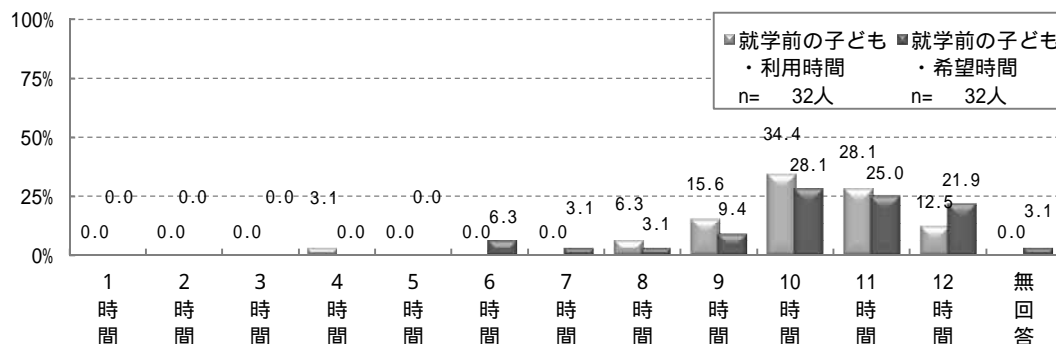
送迎保育ステーションの利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（93.8%）、「6日」（6.3%）の順、希望では「5日」（84.4%）が減少した一方で「7日」（3.1%）がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「10時間」（34.4%）、「11時間」（28.1%）、「9時間」（15.6%）の順に多く、希望では「8時間」（3.1%）、「9時間」（9.4%）、「10時間」（28.1%）、「11時間」（25.0%）が減少した一方で「6時間」（6.3%）、「12時間」（21.9%）が増加しています。

問 15-2(1)(2) 送迎保育ステーションの利用日数と希望日数（1週当たり）

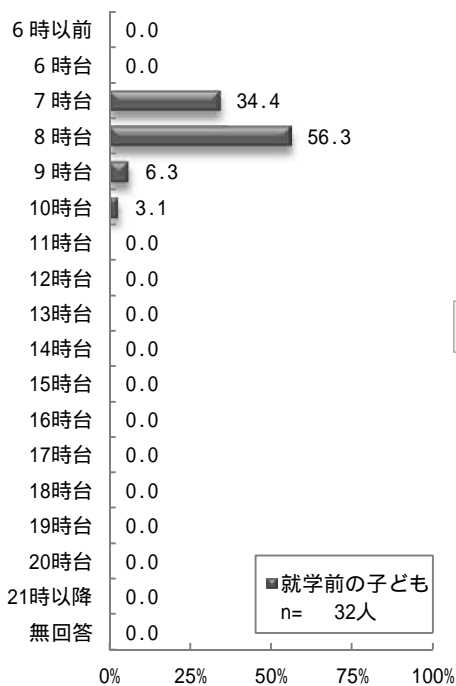


問 15-2(1)(2) 送迎保育ステーションの利用時間と希望時間（1日当たり）

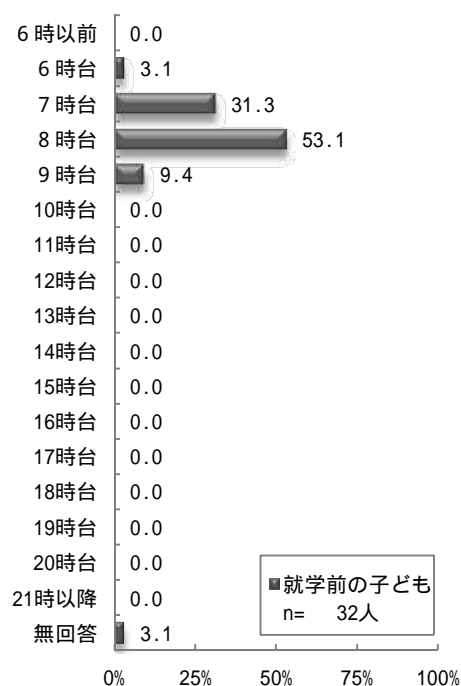


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(56.3%)、「7 時台」(34.4%)、終了時間は「18 時台」(50.0%)、「19 時台」(31.3%)となっています。利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「16 時台」(0.0%)、「18 時台」(31.3%)、「19 時台」(25.0%)が減少した一方で「17 時台」(15.6%)、「20 時台」(18.8%)が増加しています。

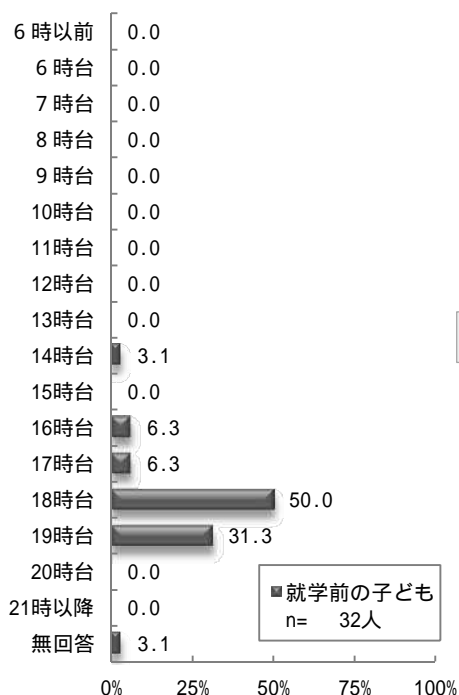
問 15-2(1) 利用開始時間



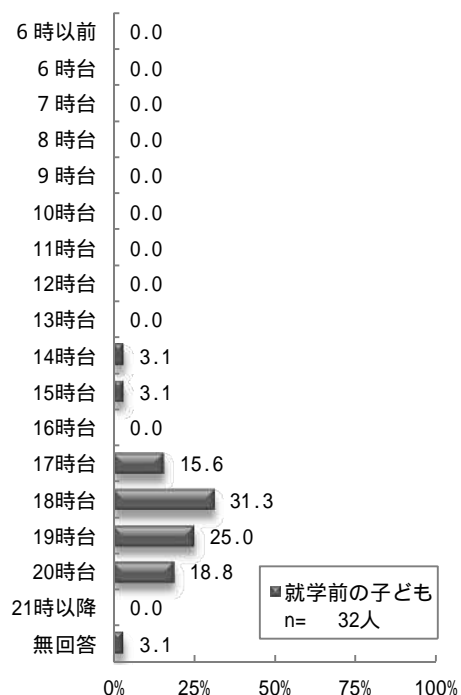
問 15-2(2) 希望開始時間



問 15-2(1) 利用終了時間



問 15-2(2) 希望終了時間

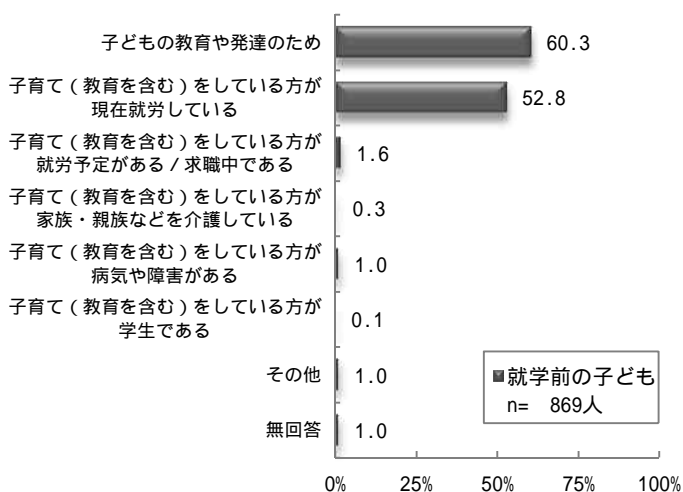


(8) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由

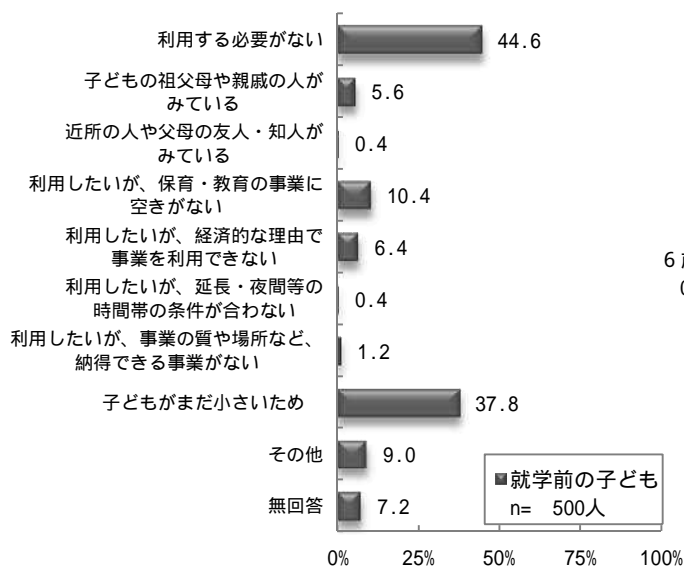
定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(60.3%)、「子育てをしている方が現在就労している」(52.8%)の順に多く、その他の理由はごく少数となっています。一方、利用しない理由は、「利用する必要がない」(44.6%)、「子どもがまだ小さいため」(37.8%)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(10.4%)の順になっています。

利用を希望する子どもの年齢は、「0～3歳」(68.3%)、「4～5歳」(20.6%)の順に多くなっています。

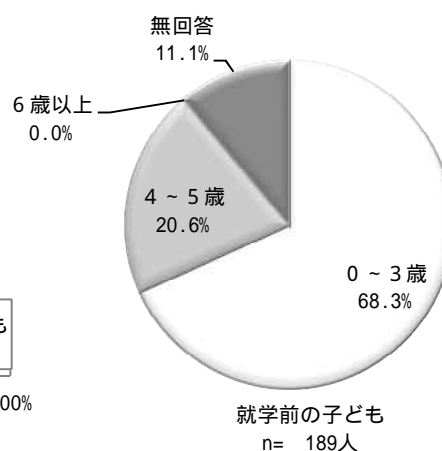
問 15-4 定期的な教育・保育事業を利用している理由(MA)



問 15-5 定期的な教育・保育事業を利用しない理由(MA)



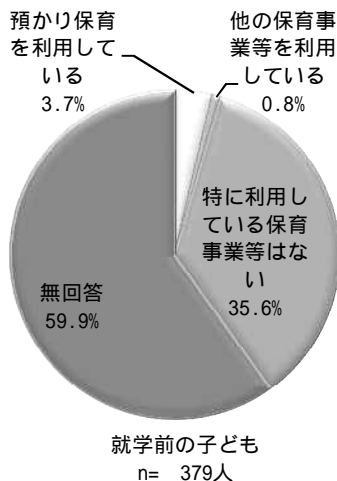
問15-5.8 利用を希望する子どもの年齢



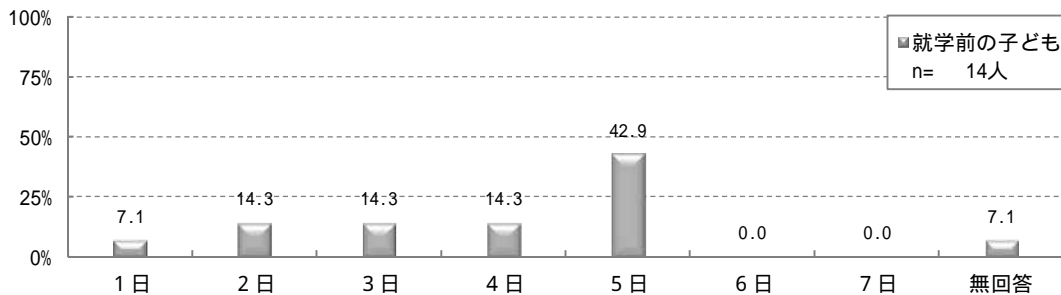
(何歳くらいになったら利用しようと考えているか)

幼稚園の預かり保育の利用状況は、「利用している」(3.7%)となっています。
 利用している方の日数は、「5日」(42.9%)で最も多く、利用時間は「3時間」
 (28.6%)が多くなっています。

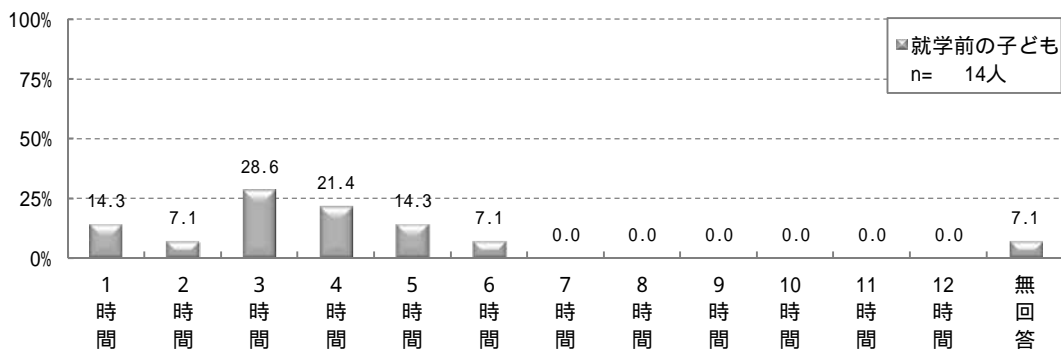
問 15-6(1) 現在の幼稚園における預かり保育の利用状況



問 15-6 (1)-1 幼稚園の預かり保育の利用日数 (1週当たり)

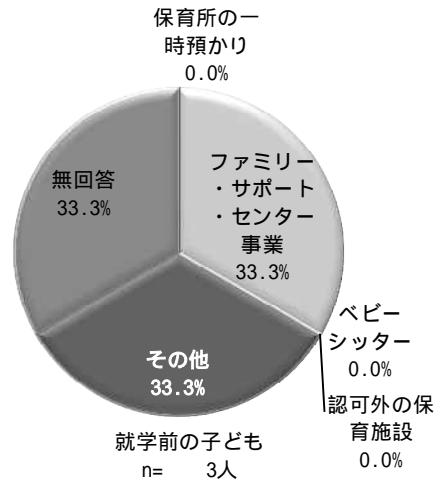


問 15-6 (1)-1 幼稚園の預かり保育の利用時間 (1日当たり)

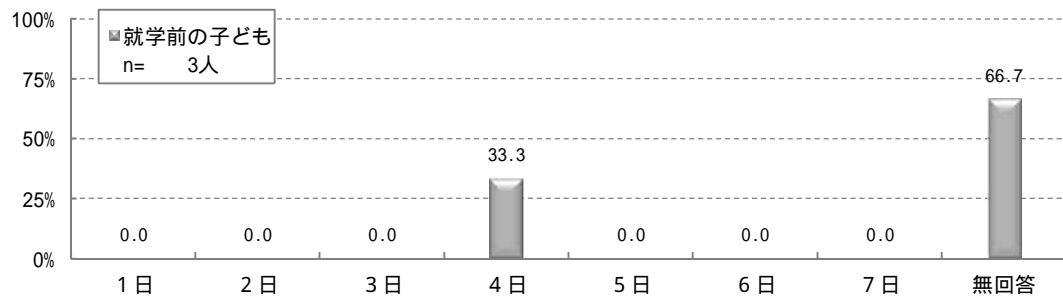


利用している保育事業では、「ファミリー・サポート・センター」と「その他」で各1名となっています。利用日数では、「4日」が1名、利用時間は「1時間」「2時間」で各1名となっています。

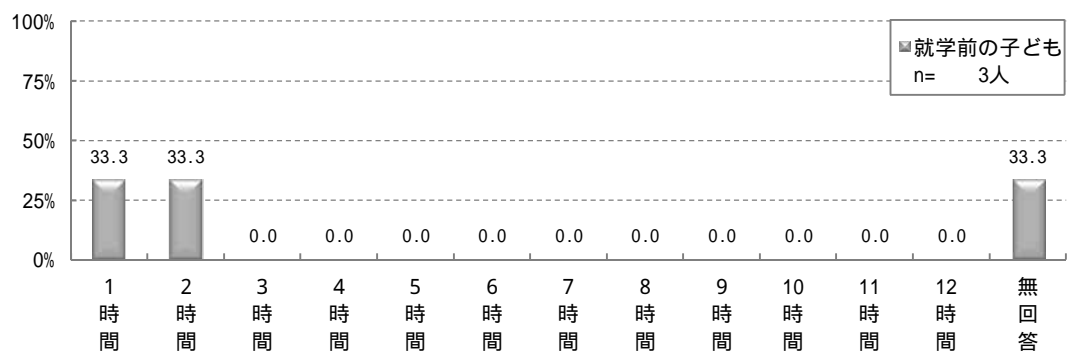
問 15-6 (1)-2 利用している保育事業等



問 15-6 (1)-2 利用している保育事業の利用日数 (1週当たり)



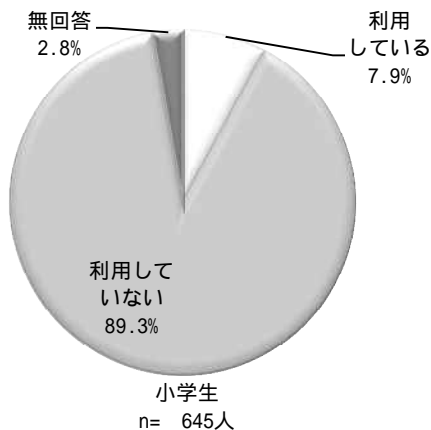
問 15-6 (1)-2 利用している保育事業の利用時間 (1日当たり)



(9) 学童クラブの利用状況について(小学生)

学童クラブの利用状況は、「利用している」(7.9%)となっています。

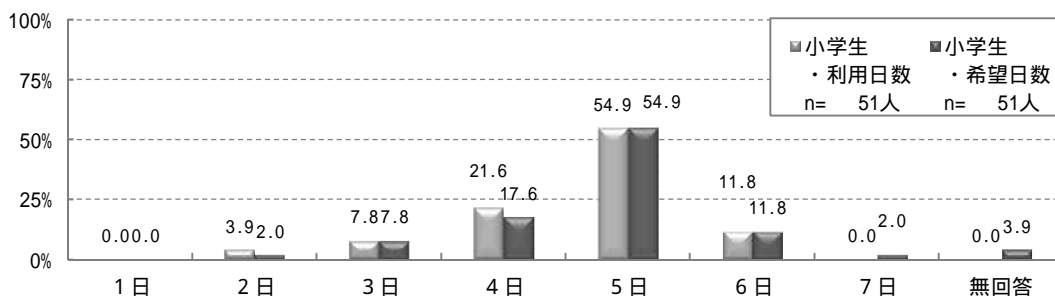
[問 14] 学童クラブの利用状況



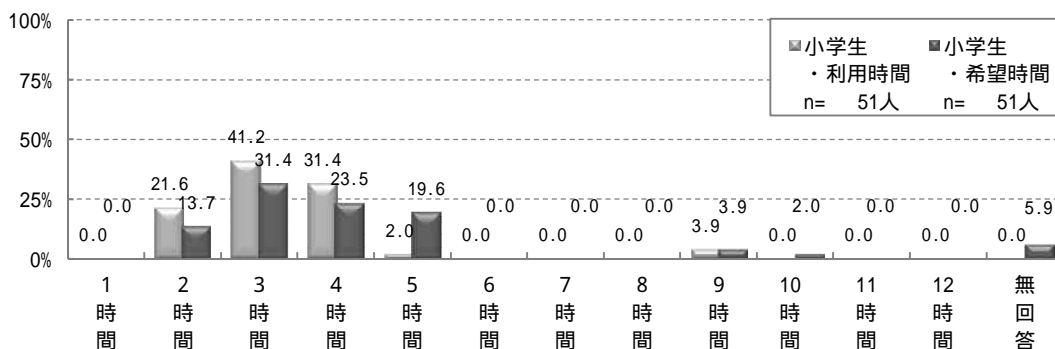
利用日数と希望日数は、ともに「5日」(54.9%)で一致しています。
 利用時間は、「3時間」(41.2%)で最も多く、次いで「4時間」(31.4%)となっています。一方、希望時間は「5時間」(19.6%)が利用時間を大きく上回っています。

現在学童クラブを利用している方

[問 14-1 (1)(2)] 学童クラブの利用日数と希望日数(1週当たり)



[問 14-1 (1)(2)] 学童クラブの利用時間と希望時間(1日当たり)

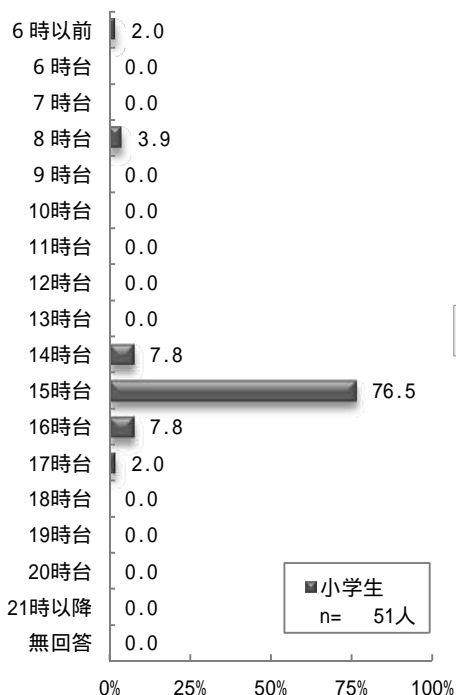


利用開始時間と希望開始時間は、ともに「15時台」各(76.5%)(66.7%)が最も多くなっています。

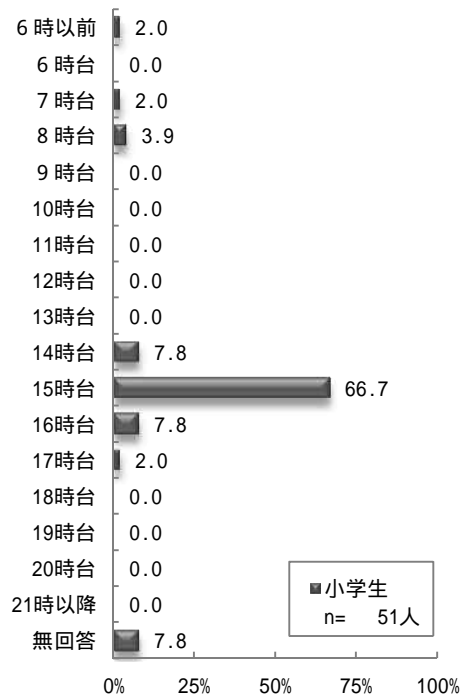
利用終了時間と希望終了時間は、ともに「18時台」各(56.9%)(37.3%)が最も多く、希望終了時間の「20時台」(15.7%)が大きく増加しています。

現在学童クラブを利用している方

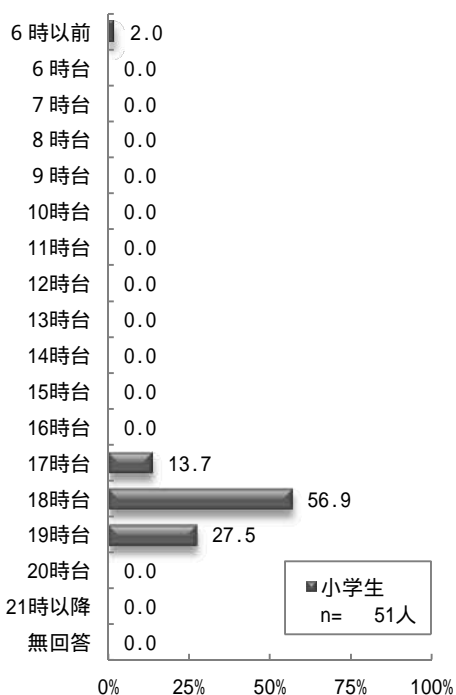
[問 14-1 (1)] 利用開始時間



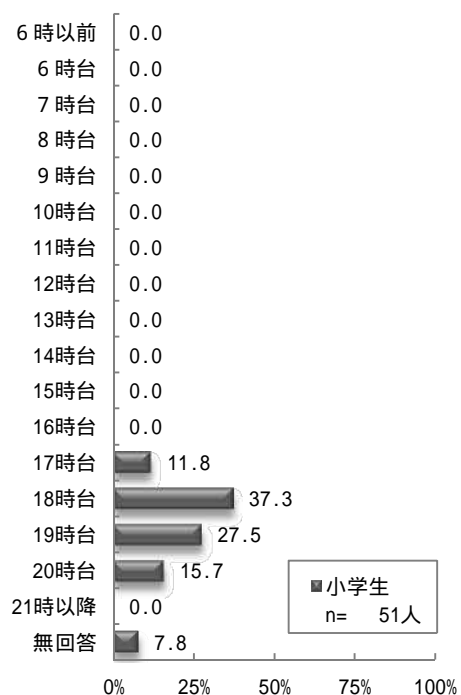
[問 14-1 (2)] 希望開始時間



[問 14-1 (1)] 利用終了時間



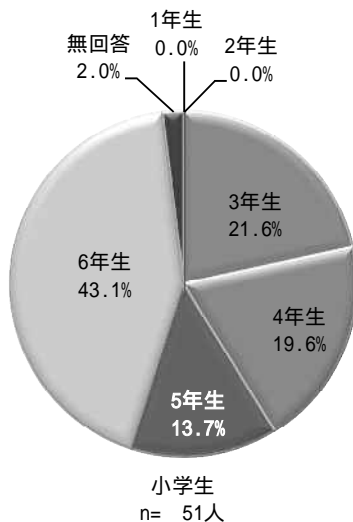
[問 14-1 (2)] 希望終了時間



学童クラブをいつまで利用したいかでは、「6年生」(43.1%)で最も多く、次いで「3年生」(21.6%)、「4年生」(19.6%)、「5年生」(13.7%)となっています。

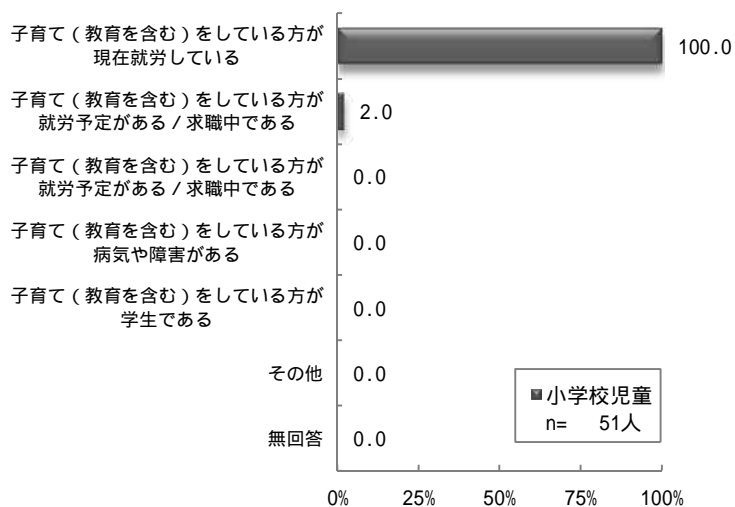
現在学童クラブを利用している方

[問 14-1 (2)] 学童クラブを何年生まで利用したいか。



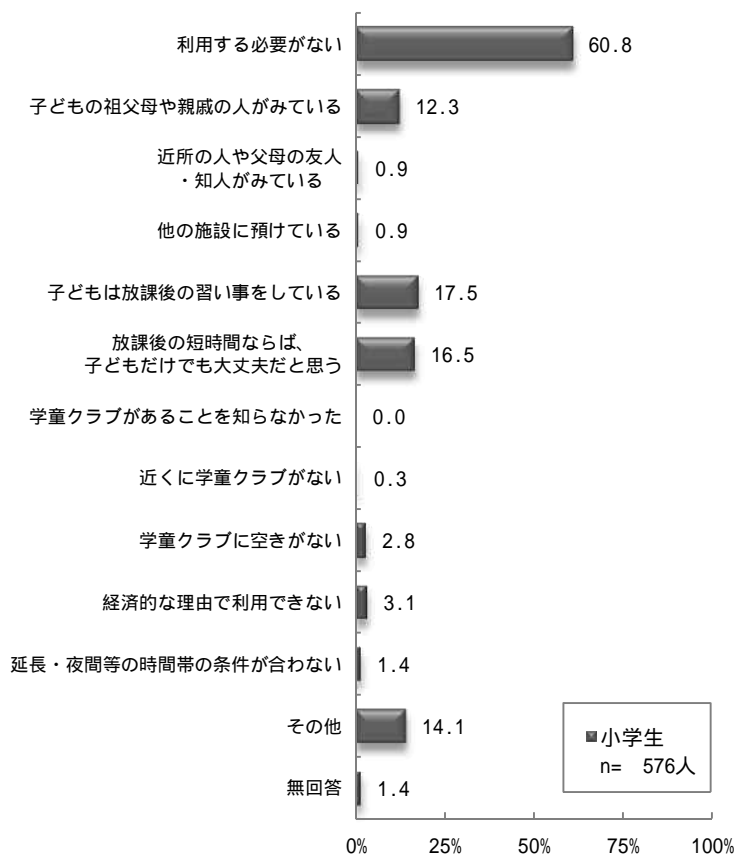
学童クラブを利用している理由では「子育てをしている方が現在就労している」(100.0%)、「子育てをしている方が就労予定がある/求職中である」(2.0%)となっています。

[問 14-2] 学童クラブを利用している理由(MA)



学童クラブを利用しない理由では「利用する必要がない」(60.8%)が最も多く、次いで「子どもは放課後の習い事をしている」(17.5%)、「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」(16.5%)の順に多くなっています。

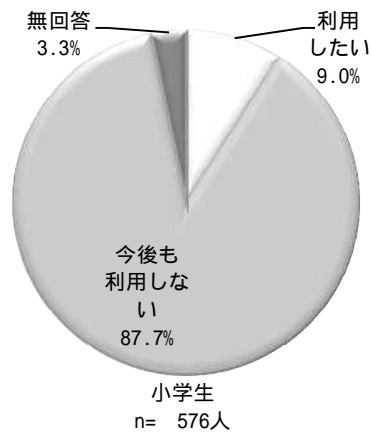
[問 14-3] 学童クラブを利用しない理由(MA)



今後の学童クラブの利用希望では、「利用したい」が9.0%となっています。
また、学童クラブを利用したい学年では「6年生」までが57.7%、「4年生」までが15.4%、「5年生」までが7.7%となっています。

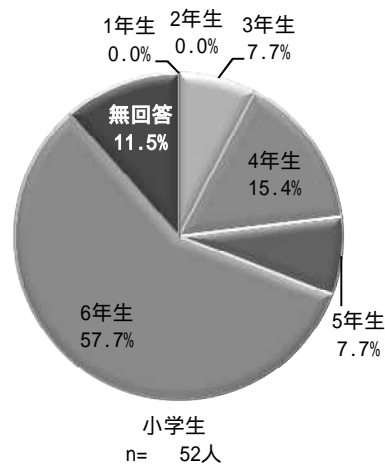
現在学童クラブを利用していない方

[問 14-4] 今後の学童クラブの利用希望



現在学童クラブを利用していない方

[問 14-4.1] 学童クラブを何年生まで利用したいか



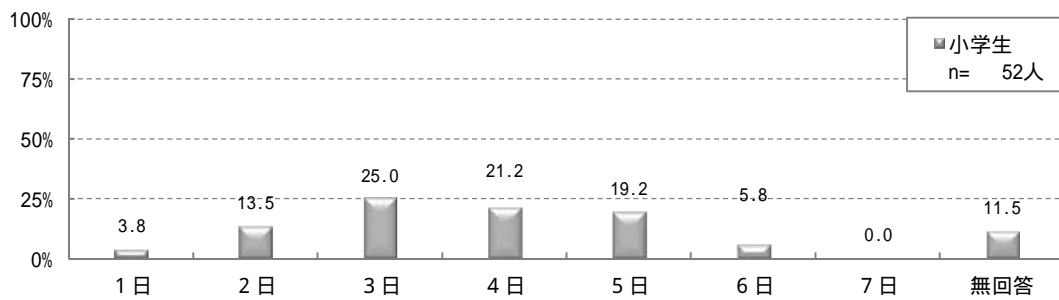
学童クラブの希望日数は、「3日」(25.0%)が最も多く、「4日」(21.2%)、「5日」(19.2%)となっています。

希望時間は、「3時間」(26.9%)、「2時間」(25.0%)が多くなっています。

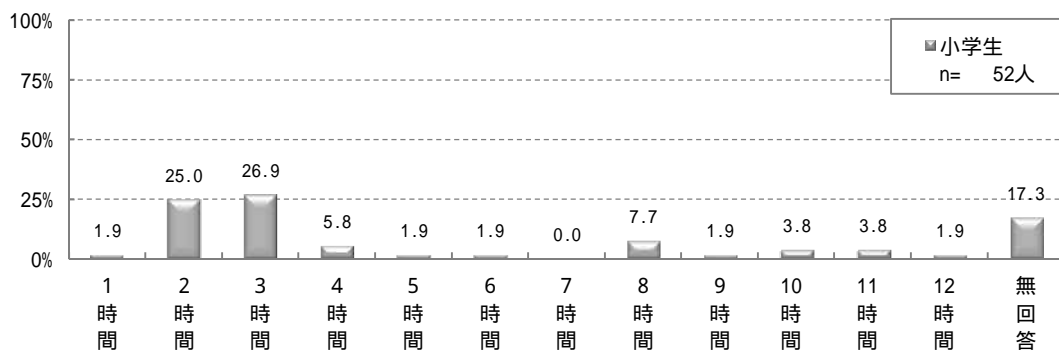
希望開始時間は、「15時台」(42.3%)、希望終了時間は、「18時台」(40.4%)がともに4割を超え多くなっています。

現在学童クラブを利用していないが利用したい方

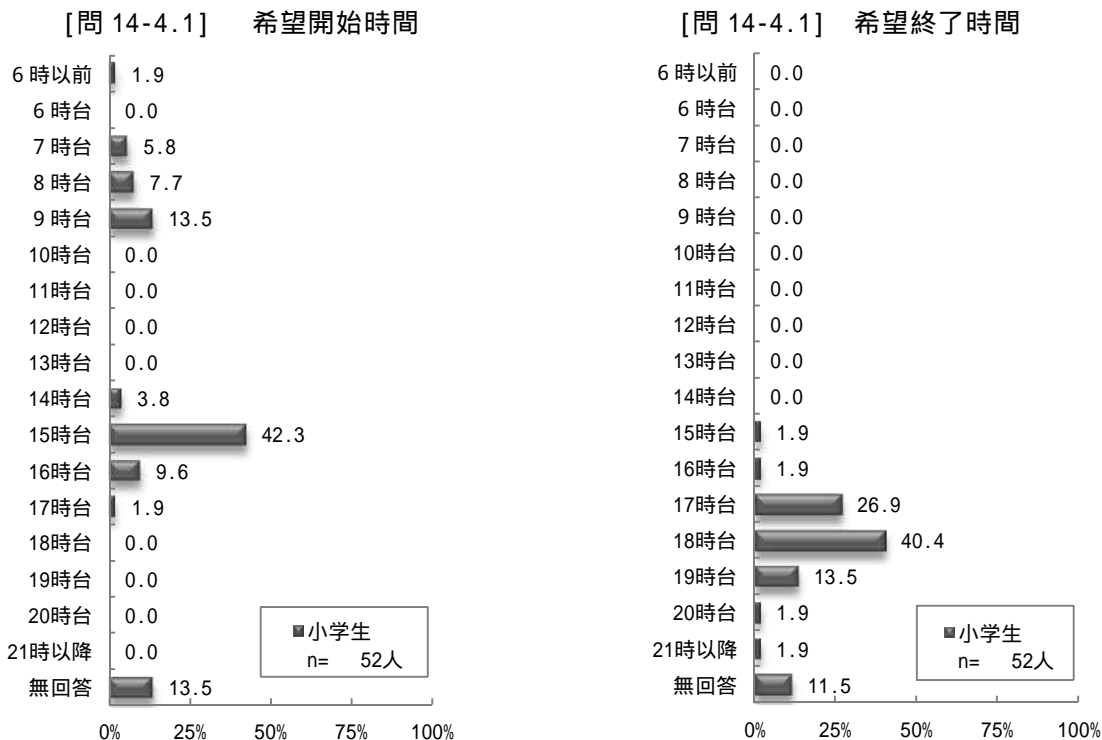
[問 14-4.1] 学童クラブの希望日数(1週当たり)



[問 14-4.1] 学童クラブの希望時間(1日当たり)



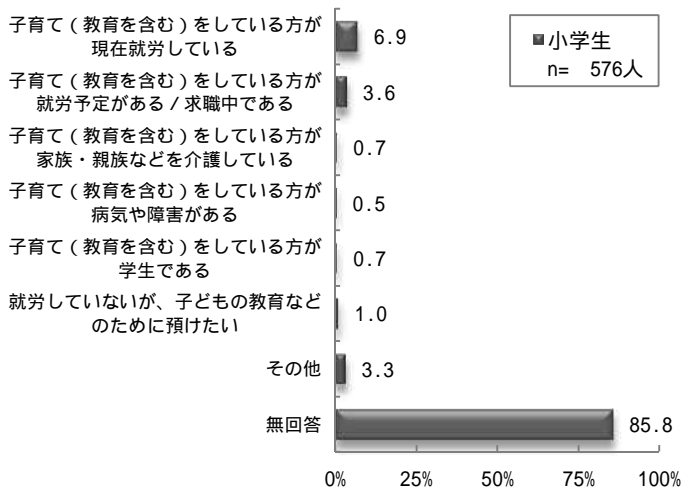
現在学童クラブを利用していないが利用したい方



現在学童クラブを利用していない方の「学童クラブを利用したい理由」では、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(6.9%)、「子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である」(3.6%)となっています。

現在学童クラブを利用していない方全員対象

[問 14-5] 学童クラブを利用したい理由(MA)

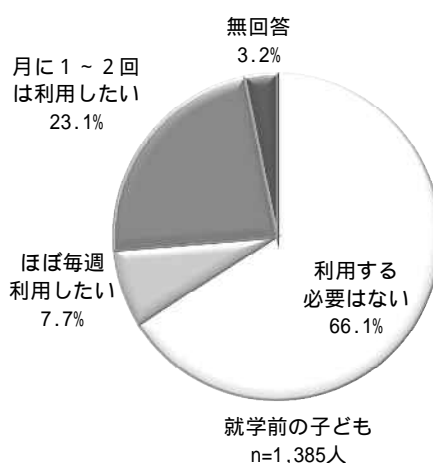


(10) 休日の教育・保育事業の利用意向

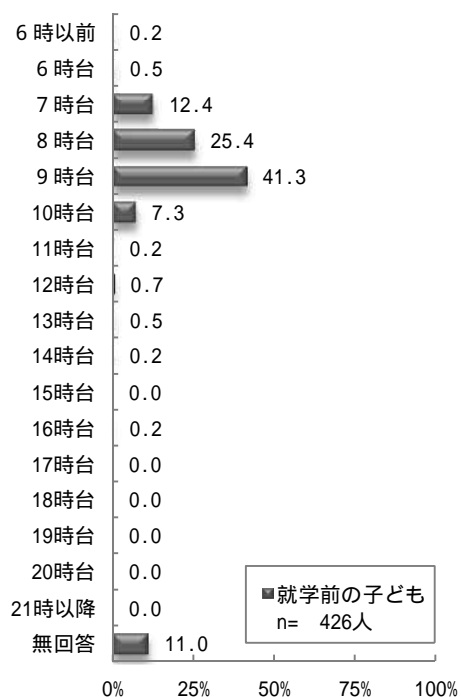
土曜日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」(23.1%)、「ほぼ毎週利用したい」(7.7%)と、30.8%の方が希望しています。

また、利用希望の開始時間は「9時台」(41.3%)、「8時台」(25.4%)、「7時台」(12.4%)の順、終了時間は、「18時台」(20.9%)、「17時台」(15.7%)、「16時台」(12.9%)の順に希望しています。

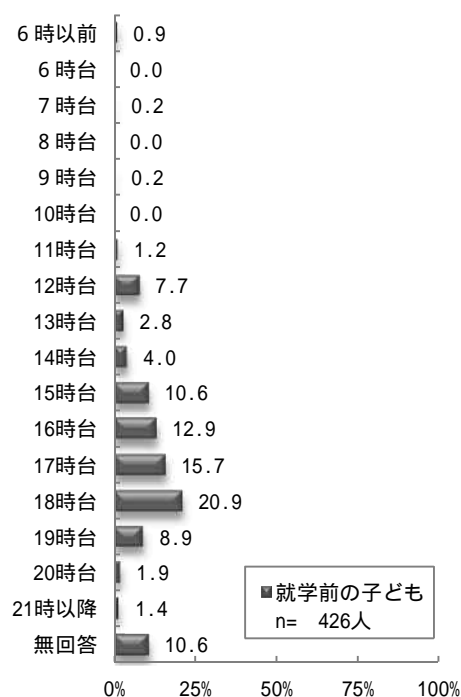
問 21(1) 土曜日の利用希望



問 21(1).2・3 土曜日の利用希望開始時間



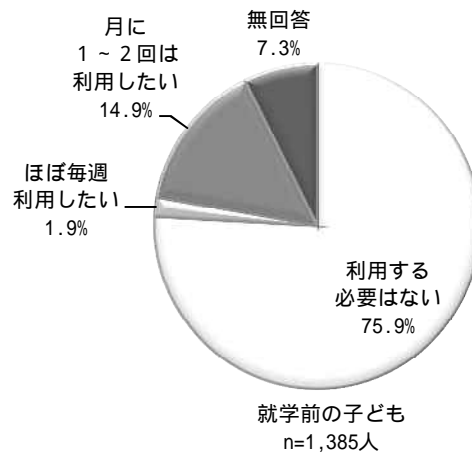
問 21(1).2・3 土曜日の利用希望終了時間



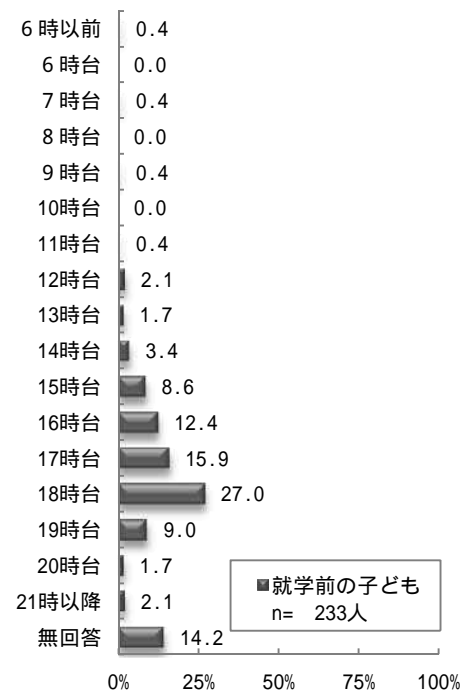
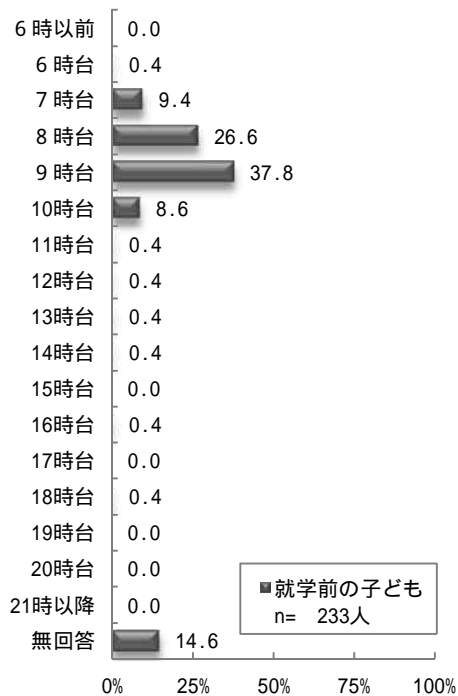
日曜・祝日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」(14.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.9%)と、16.8%の方が希望しています。

また、利用希望の開始時間は「9時台」(37.8%)、「8時台」(26.6%)、「7時台」(9.4%)の順、終了時間は、「18時台」(27.0%)、「17時台」(15.9%)、「16時台」(12.4%)の順に希望しています。

問 21(2) 日曜・祝日の利用希望

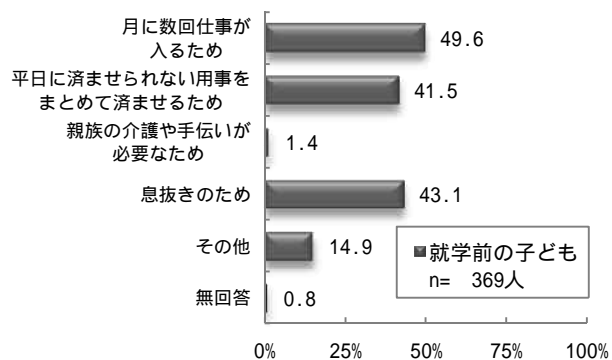


問 21(2).2・3 日曜・祝日の利用希望開始時間 問 21(2).2・3 日曜・祝日の利用希望終了時間



土曜・日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」方の理由は、「月に数回仕事が入るため」(49.6%)、「息抜きのため」(43.1%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(41.5%)の順に多くなっています。

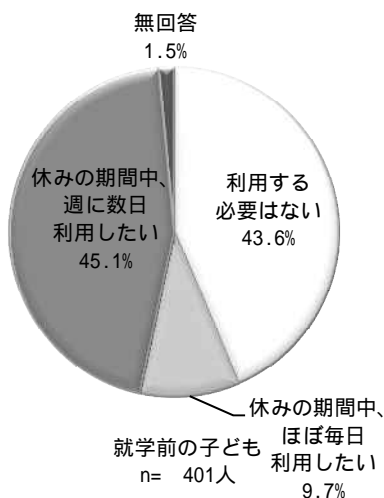
問 21-1 土曜・日曜・祝日「月に1～2回は利用したい」方の理由(MA)



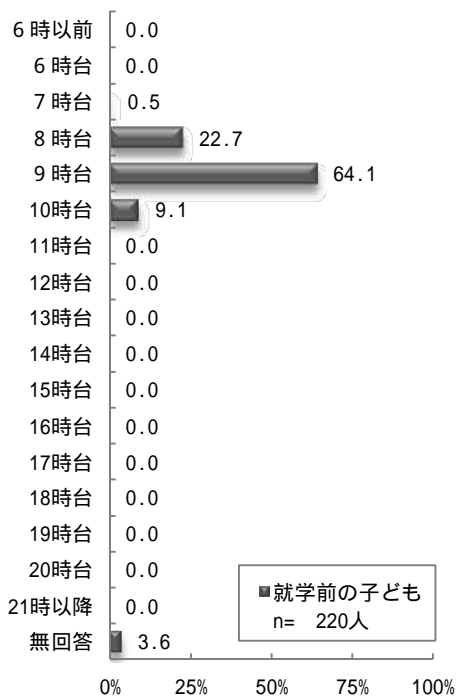
長期休暇中において教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）は、「休みの期間中、週に数日利用したい」（45.1%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（9.7%）と、54.8%の方が希望しています。

また、希望する開始時間は、「9時台」（64.1%）、「8時台」（22.7%）、「10時台」（9.1%）の順、終了時間は「15時台」（35.9%）、「16時台」（18.6%）、「17時台」（14.1%）の順に希望しています。

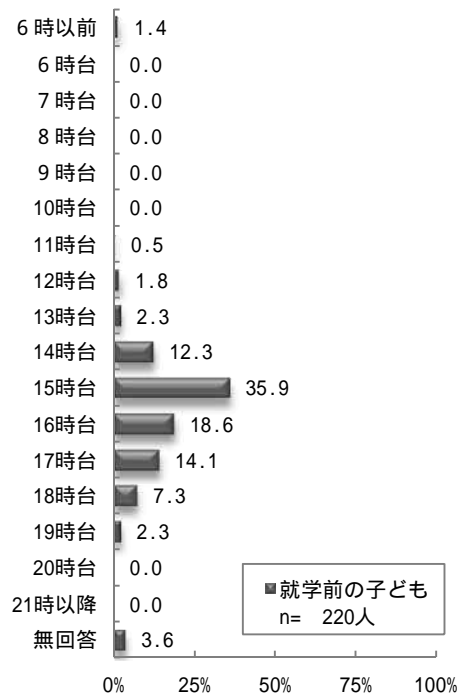
問 22 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）



問 22.2・3 長期休暇中の希望開始時間

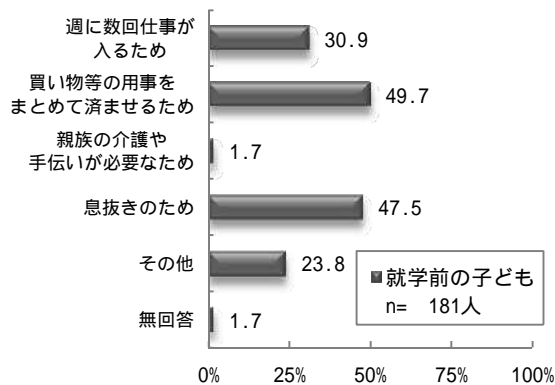


問 22.2・3 長期休暇中の希望終了時間



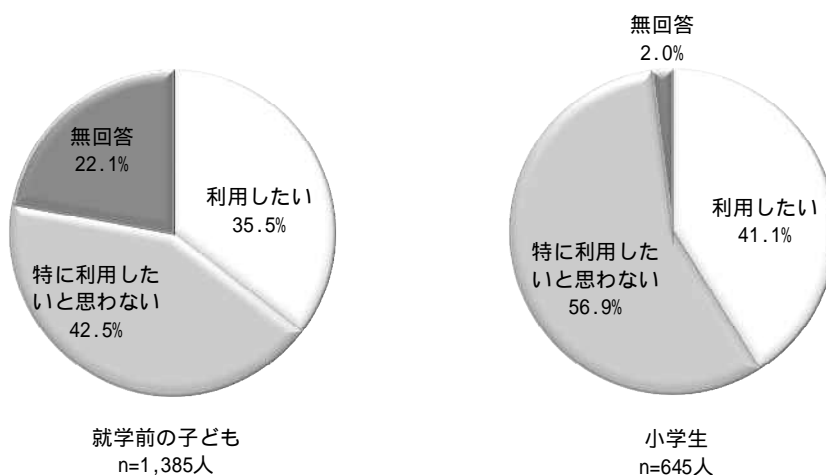
長期休暇中において「週に数日利用したい」方の理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(49.7%)、「息抜きのため」(47.5%)、「週に数回仕事が入るため」(30.9%)の順に多くなっています。

問 22-1 長期休暇中「週に数日利用したい」方の理由(MA)



子育て支援センターや児童館の日曜祝日の利用希望は、「利用したい」が就学前の子どもでは35.5%、小学生では41.1%となっています。

問 23[問 20] 子育て支援センターや児童館等の日曜祝日の利用希望

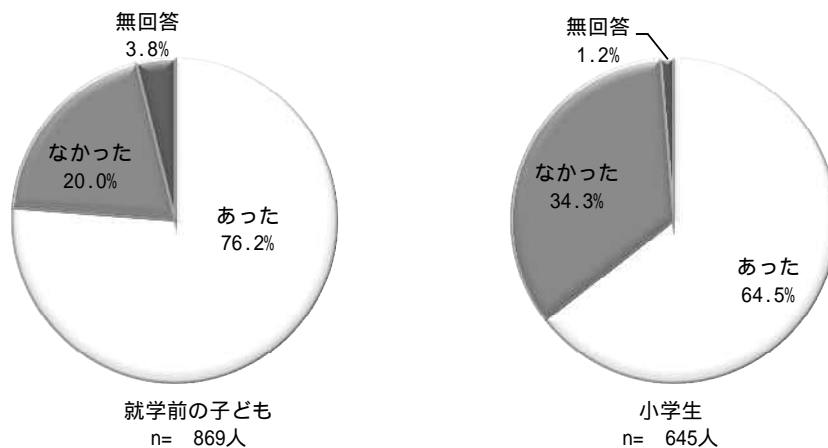


(11) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

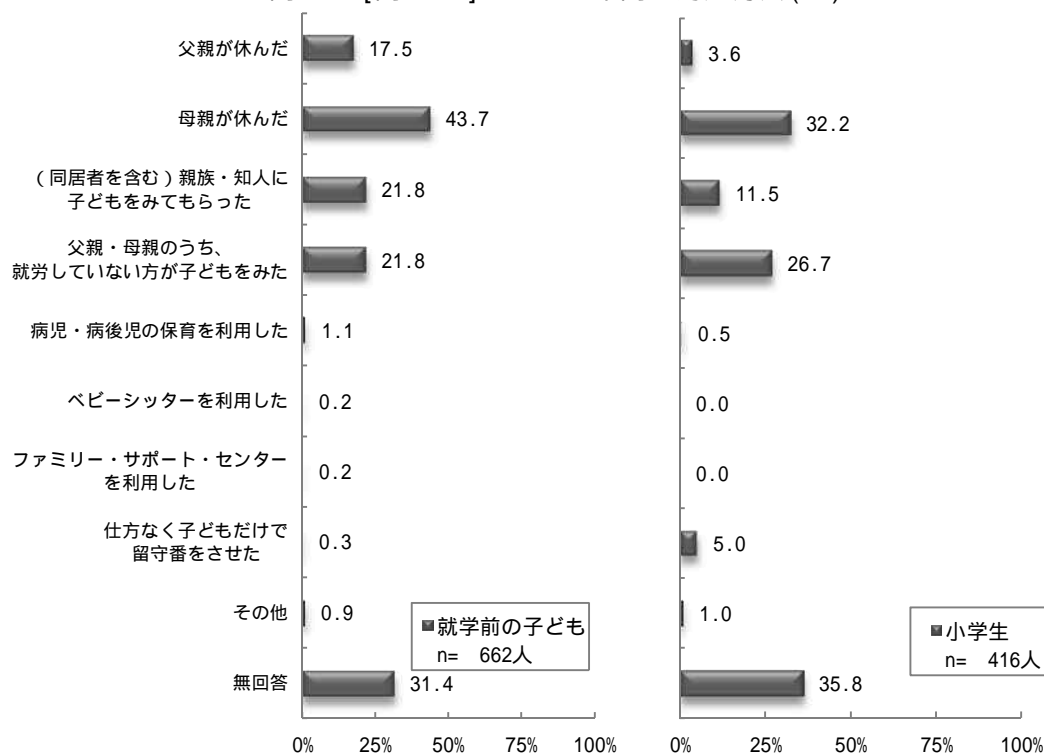
就学前の子どもの保護者の76.2%の方が、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験をしています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(43.7%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」「父親・母親のうち、どちらか就労していない方が子どもをみた」(各21.8%)、「父親が休んだ」(17.5%)の順に多くなっています。

小学生では、64.5%の方が、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験をしています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(32.2%)、「父親・母親のうち就労していない方が子どもをみた」(26.7%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(11.5%)の順に多くなっています。

問 24[問 21] 病気やケガで、通常の事業が利用できなかったことの有無



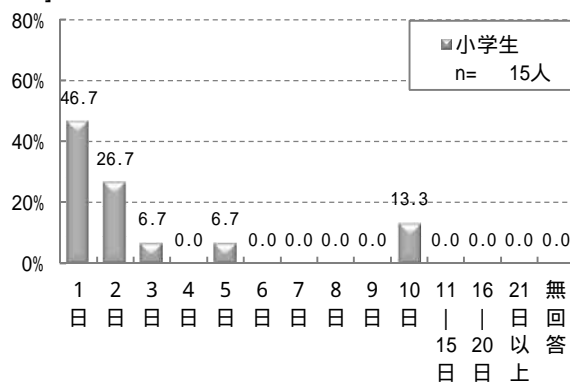
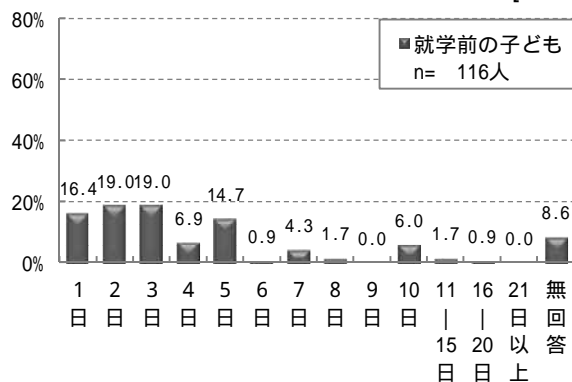
問 24-1[問 21-1] この1年間の対処方法(MA)



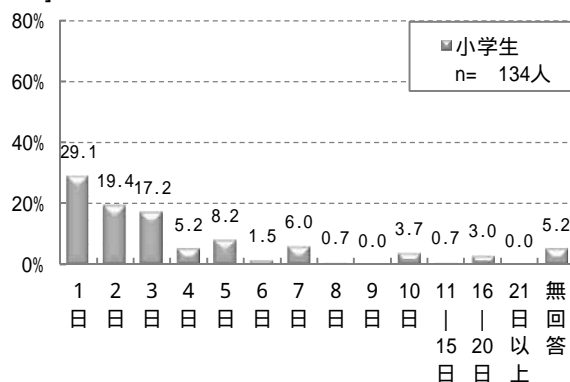
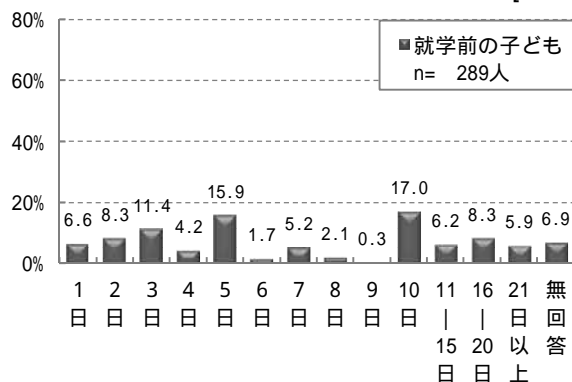
就学前の子どもでは、父親が休んだ日数は「2日」「3日」(各19.0%)、「1日」(16.4%)、「5日」(14.7%)の順、母親が休んだ日数は「10日」(17.0%)、「5日」(15.9%)、「3日」(11.4%)の順に多くなっています。

小学生では、父親が休んだ日数では、「1日」(46.7%)、「2日」(26.7%)、「10日」(13.3%)の順、母親が休んだ日数は「1日」(29.1%)、「2日」(19.4%)、「3日」(17.2%)の順に多くなっています。

問 24-1. ア [問 21-1. ア] 父親が休んだ日数

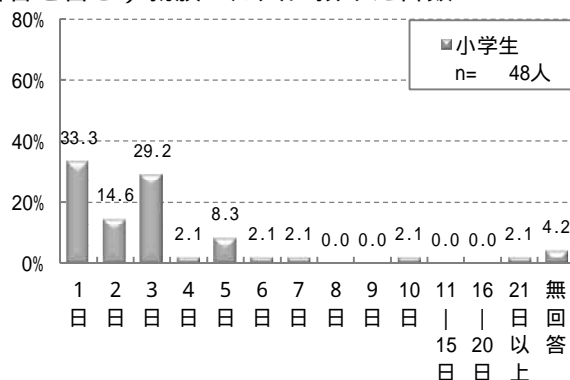
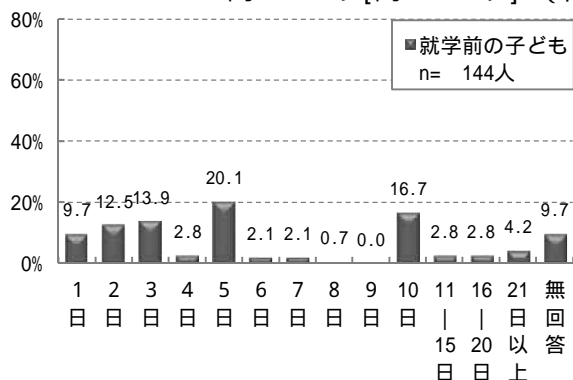


問 24-1. イ [問 21-1. イ] 母親が休んだ日数

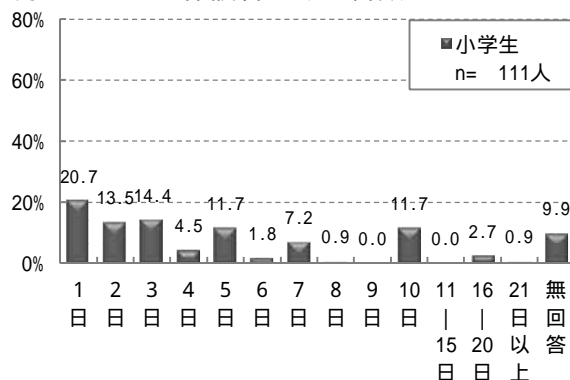
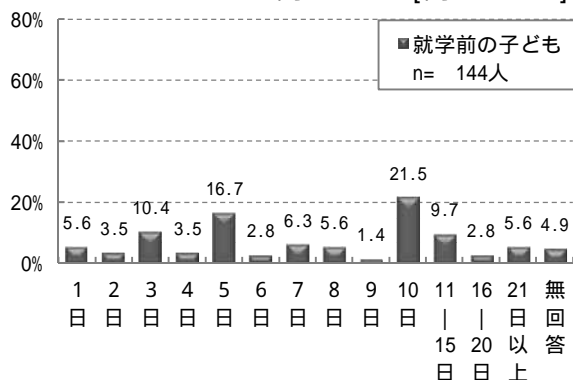


就学前の子どもでは、(同居者を含む)親族・知人に預けた日数は「5日」(20.1%)、「10日」(16.7%)、「3日」(13.9%)の順に多くなっています。
 就労していない保護者がみた日数は「10日」(21.5%)、「5日」(16.7%)、「3日」(10.4%)の順に多くなっています。
 小学生では、(同居者を含む)親族・知人に預けた日数は「1日」(33.3%)、「3日」(29.2%)、「2日」(14.6%)の順に多くなっています。
 就労していない保護者がみた日数は「1日」(20.7%)、「3日」(14.4%)、「2日」(13.5%)の順に多くなっています。

問 24-1.ウ[問 21-1.ウ] (同居者を含む)親族・知人に預けた日数



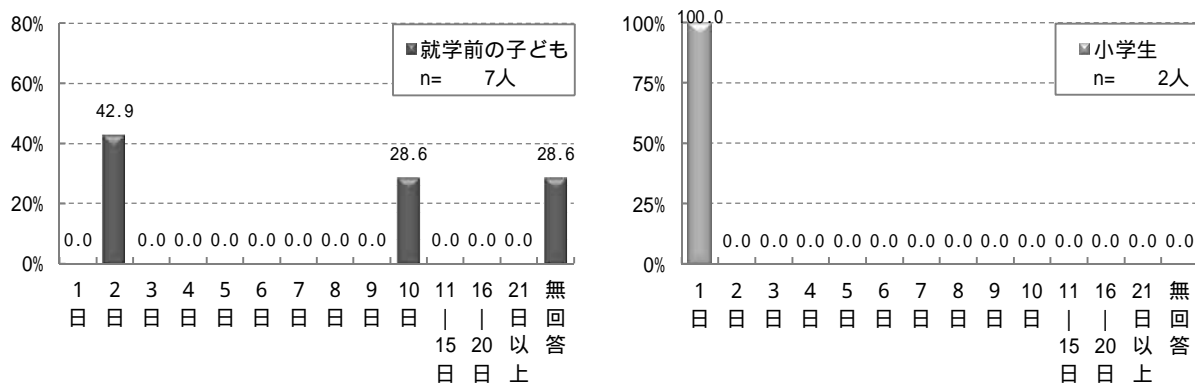
問 24-1.エ[問 21-1.エ] 就労していない保護者がみた日数



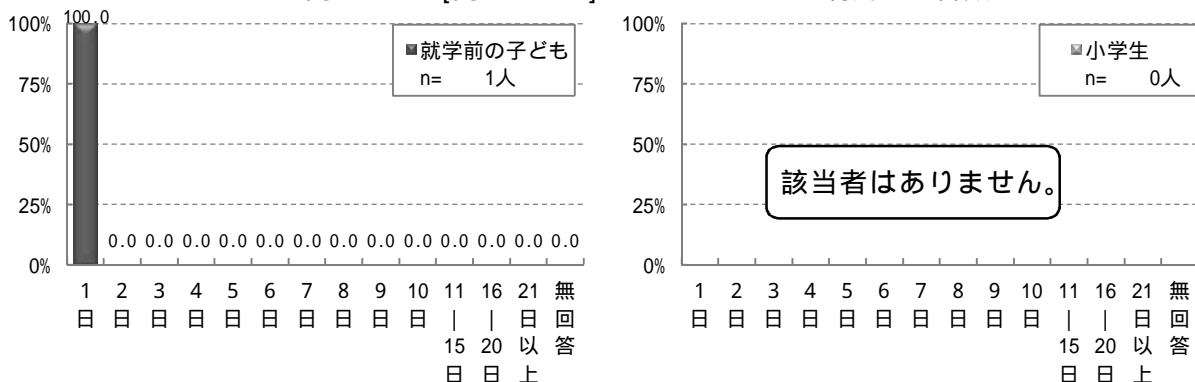
病児・病後児保育を利用した日数は、就学前の子どもでは、「2日」(42.9%)、「10日」(28.6%)の順、ベビーシッターでは「1日」(100.0%)、ファミリー・サポート・センターでは回答はありませんでした。

小学生では、病児・病後児保育を利用した日数は、「1日」(100.0%)となっており、ベビーシッター、ファミリー・サポート・センターでは、該当者はいませんでした。

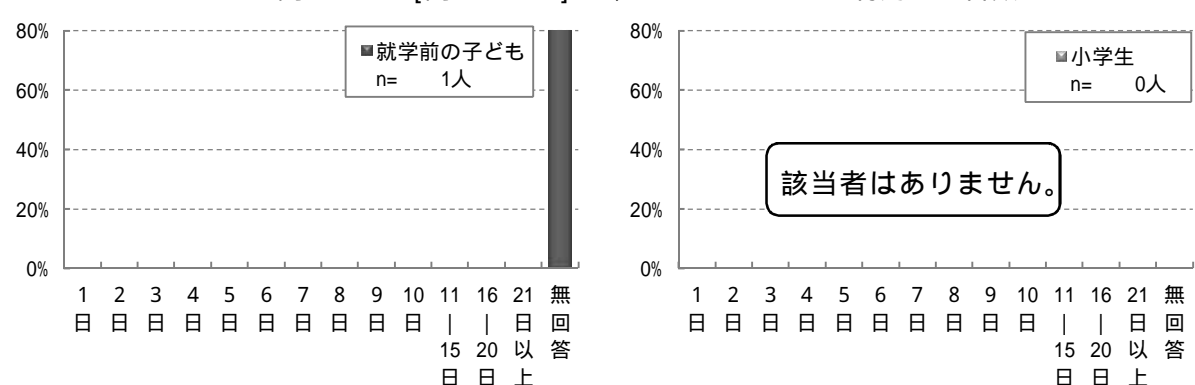
問 24-1. オ [問 21-1. オ] 病児・病後児保育を利用した日数



問 24-1. カ [問 21-1. カ] ベビーシッターを利用した日数



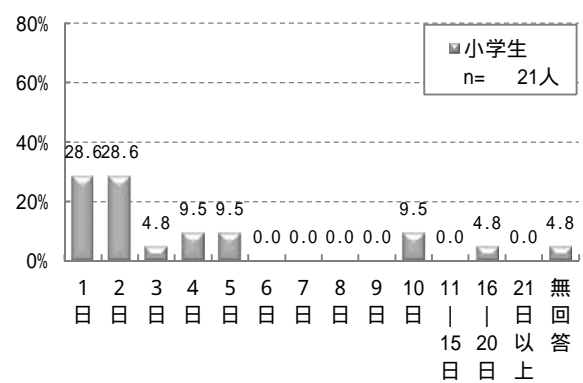
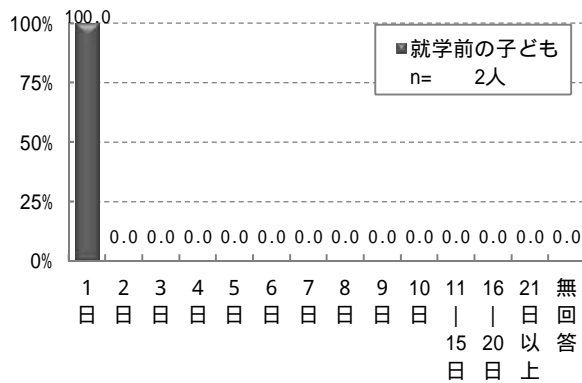
問 24-1. キ [問 21-1. キ] ファミリー・サポート・センターを利用した日数



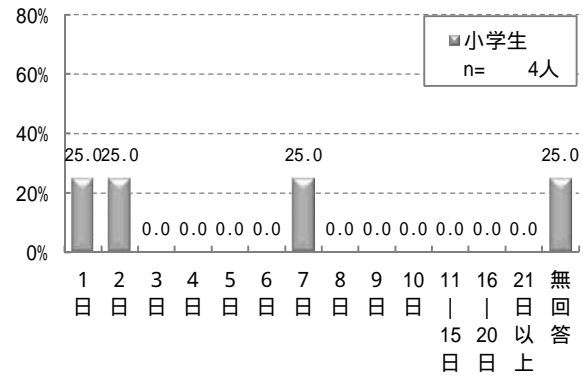
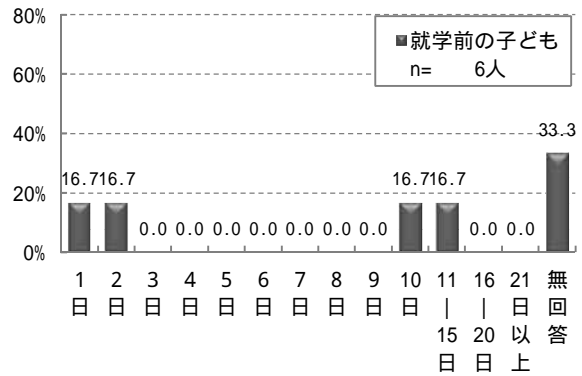
子どもだけで留守番させた日数は、就学前の子どもでは「1日」(100.0%)、その他の日数は「1日」「2日」「10日」「11-15日」(各16.7%)となっています。

小学生では、子どもだけで留守番させた日数は「1日」「2日」(各28.6%)「4日」「5日」「10日」(各9.5%)の順に多くっており、その他の日数は「1日」「2日」「7日」(各25.0%)となっています。

問 24-1.ク [問 21-1.ク] 子どもだけで留守番させた日数



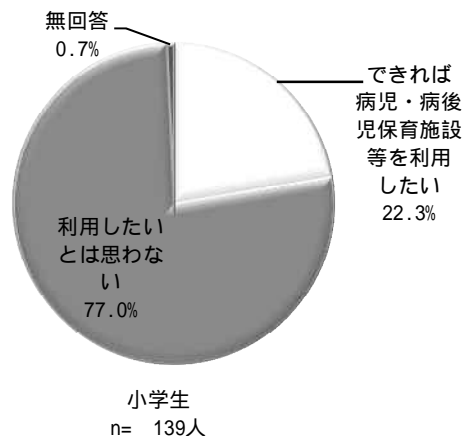
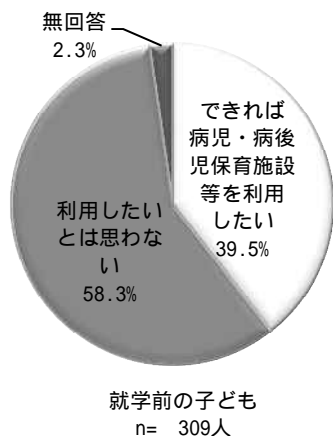
問 24-1.ケ [問 21-1.ケ] その他



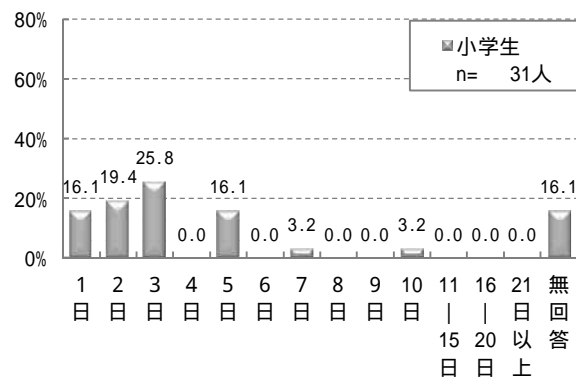
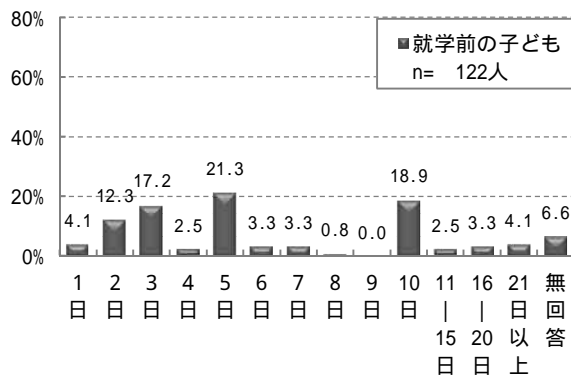
父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、就学前の子どもでは39.5%の方が利用を希望し、その利用希望日数は「5日」(21.3%)、「10日」(18.9%)の順に多くなっています。

小学生では、22.3%の方が利用を希望し、その利用希望日数は、「3日」(25.8%)、「2日」(19.4%)の順に多くなっています。

問 24-2[問 21-2] 父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設利用意向



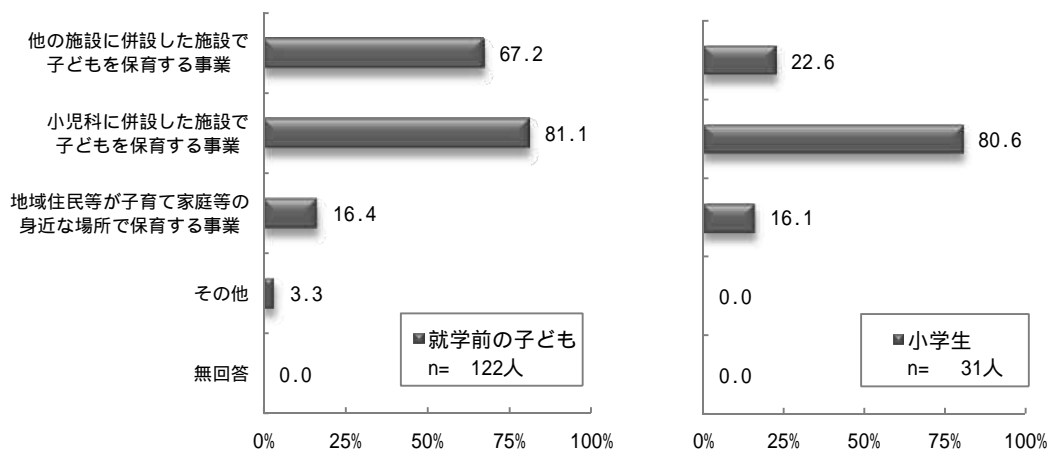
問 24-2.1[問 21-2.1] 子どもを預ける場合の望ましい希望日数(年間)



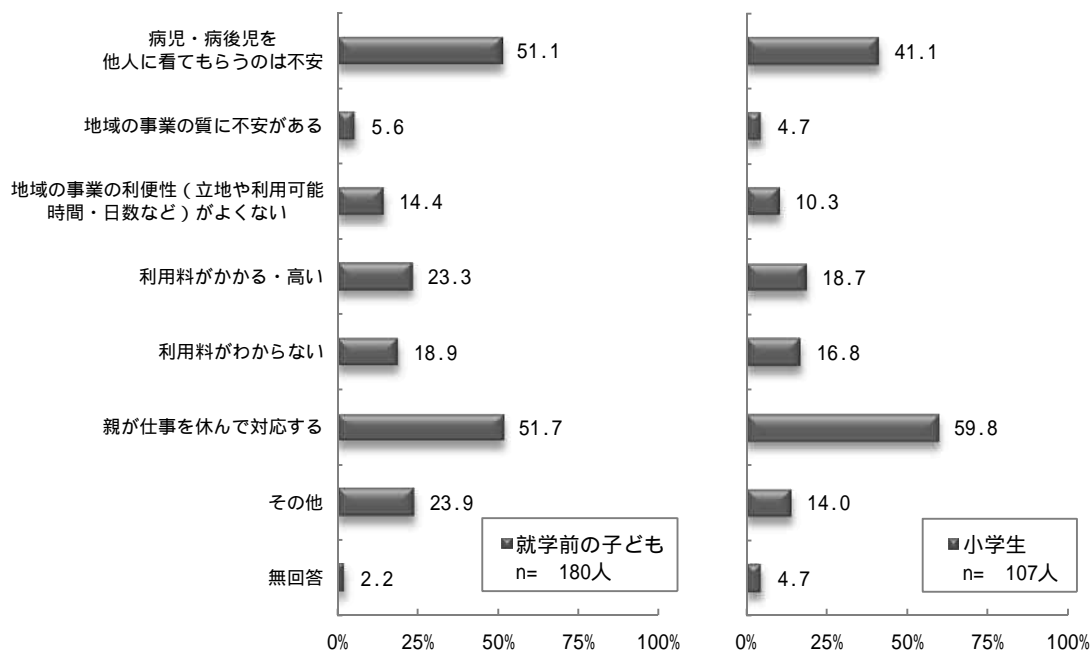
子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、就学前の子どもでは「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(81.1%)、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(67.2%)の順に多くなっています。また、利用意向のない方の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(51.7%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(51.1%)の順に多くなっています。

小学生では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(80.6%)、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(22.6%)の順に多くなっています。利用意向のない方の理由としては、「親が仕事を休んで対応する」(59.8%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(41.1%)の順に多くなっています。

問 24-3[問 21-3] 子どもを預ける場合の望ましい事業形態(MA)



問 24-4[問 21-4] 病児・病後児のための保育施設利用意向のない方の理由(MA)



父母が休む以外の対処方法を選んだ方に対して「父母が休んで看たい」という意向をみると、就学前の子どもでは「できれば仕事を休んで看たい」(31.0%)、「休んで看ることは非常に難しい」(33.8%)となっています。

小学生では「できれば仕事を休んで看たい」(30.8%)、「休んで看ることは非常に難しい」(29.1%)となっています。

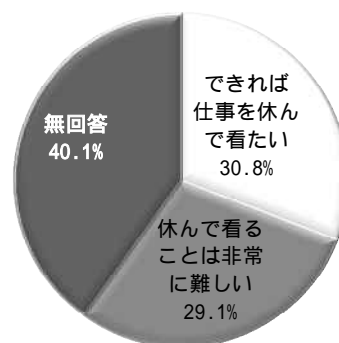
父母が休んで看たい希望日数は、就学前の子どもでは「5日」(22.5%)、「2日」「3日」(各13.5%)、「10日」(12.4%)の順に多くなっています。

小学生では、「2日」(26.4%)、「1日」(20.8%)、「3日」(15.1%)の順に多くなっています。

問 24-5[問 21-5] 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい」意向

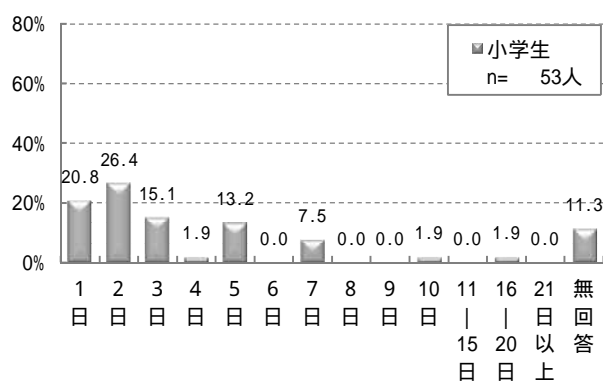
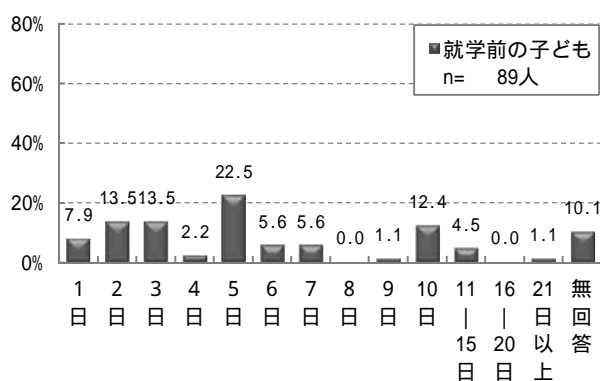


就学前の子ども
n= 287人



小学生
n= 172人

問 24-5.1[問 21-5.1] 「父母が休んで看たい」希望日数



2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

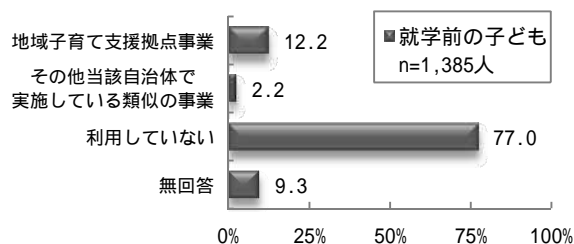
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」(12.2%)、「その他当該自治体で実施している類似の事業」(2.2%)となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数(1週当たり)は、「1回」(76.9%)が最も多く、次いで「2回」(11.8%)の順になっています。

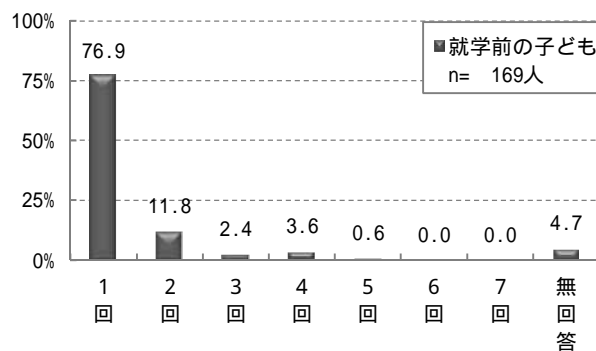
その他の類似事業では、就学前の子どもで「1回」(70.0%)が最も多く、その他の利用回数はごく少数となっています。

地域子育て支援拠点事業を利用していない理由では、「特に利用する必要がない」(53.4%)、「利用するきっかけがない」(28.4%)、「事業の利便性がよくない」(18.2%)の順になっています。

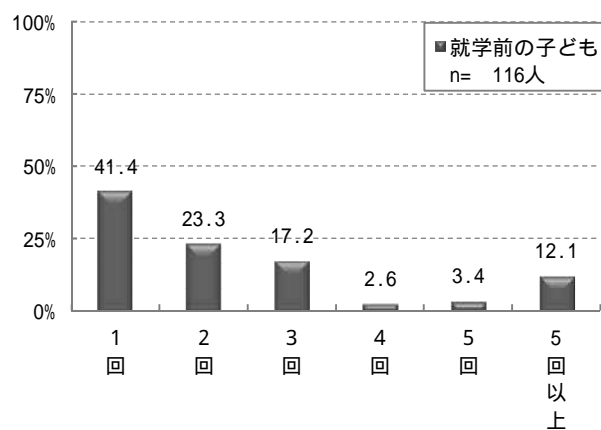
問 17 地域子育て支援拠点事業の利用状況 (MA)



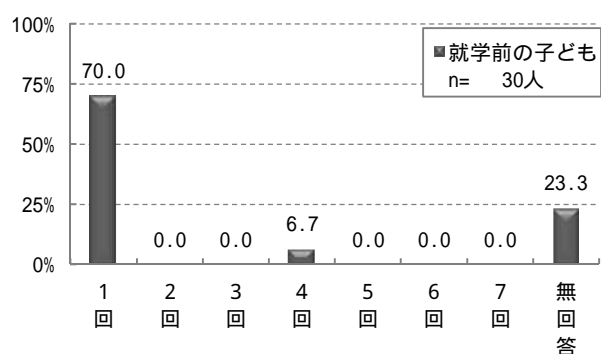
問 17.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数 (1週当たり)



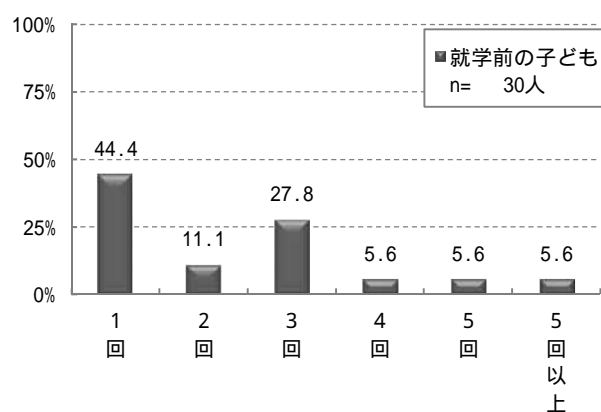
問 17.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1ヶ月当たり）



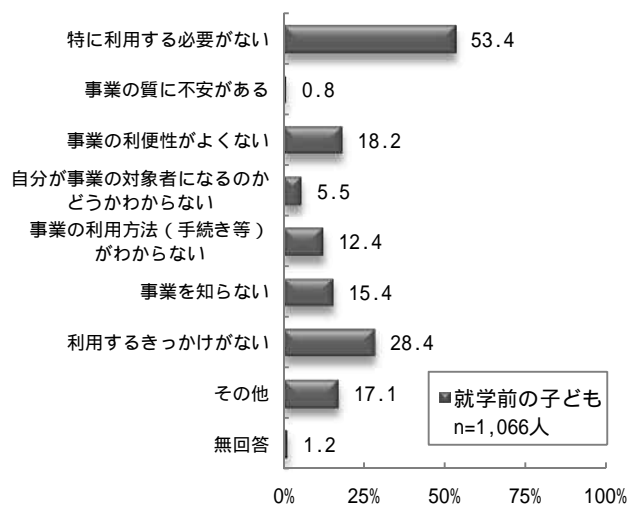
問 17.2 その他当該自治体で実施している類似の事業の利用回数（1週当たり）



問 17.2 その他当該自治体で実施している類似の事業の利用回数（1ヶ月当たり）



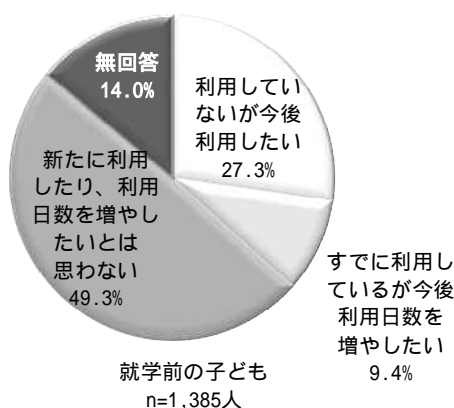
問 17-1 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由(MA)



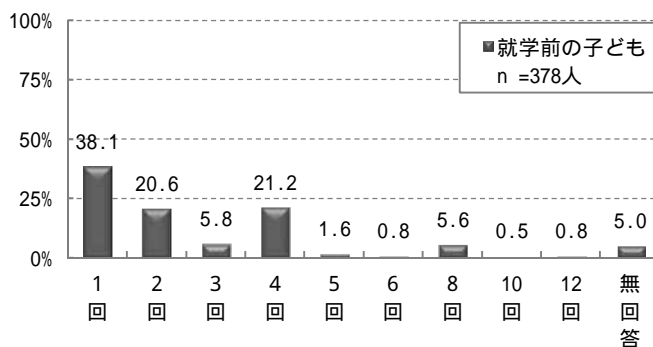
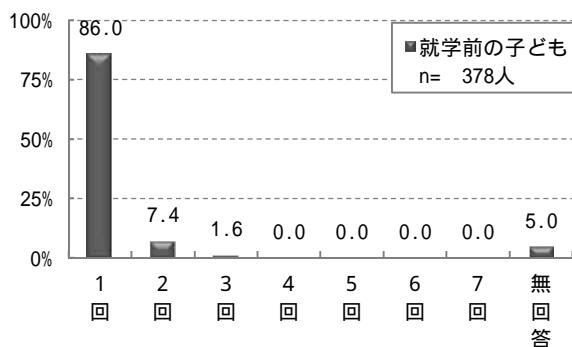
今後の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(49.3%)、「利用していないが今後利用したい」(27.3%)、「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」(9.4%)となっています。

未利用者の希望利用回数は、1週当たりでは「1回」(86.0%)が最も多く、1ヶ月当たりでは「1回」(38.1%)、「4回」(21.2%)の順に多くなっています。また、利用者の増やしたい利用回数は、1週当たりでは「1回」(61.5%)、「2回」(20.8%)、「1ヶ月当たりでは「4回」(26.2%)、「2回」(17.7%)の順に多くなっています。

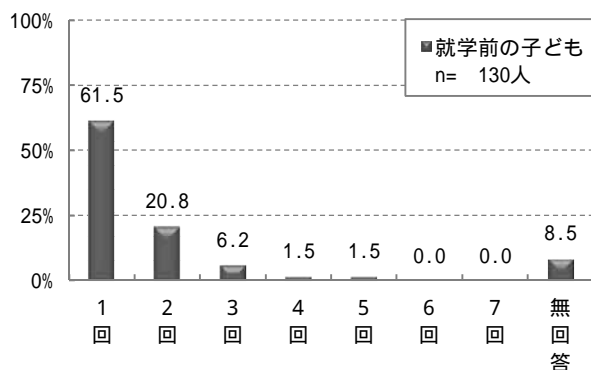
問 18 今後の利用希望



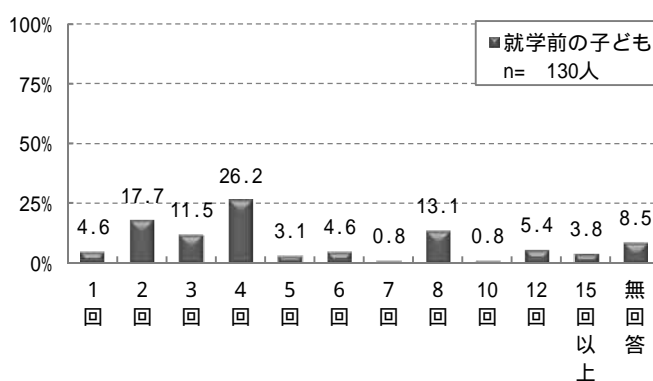
問 18.1 未利用者の希望利用回数 (1週当たり) 問 18.1 未利用者の希望利用回数(1ヶ月当たり)



問 18.2 利用者の増やしたい利用回数 (1週当たり)



問 18.2 利用者の増やしたい利用回数 (1ヶ月当たり)



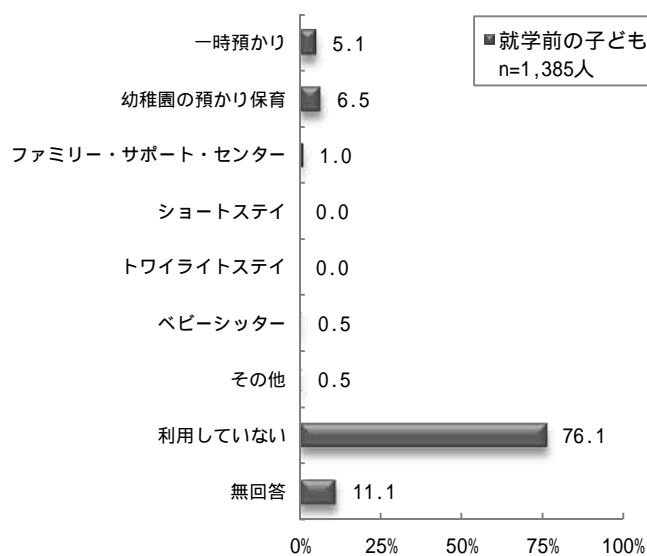
(2) 不定期の一時預かり等の利用について

就学前の子どもの不定期の一時預かり等の利用状況を見ると、「幼稚園の預かり保育」(6.5%)、「一時預かり」(5.1%)となっています。

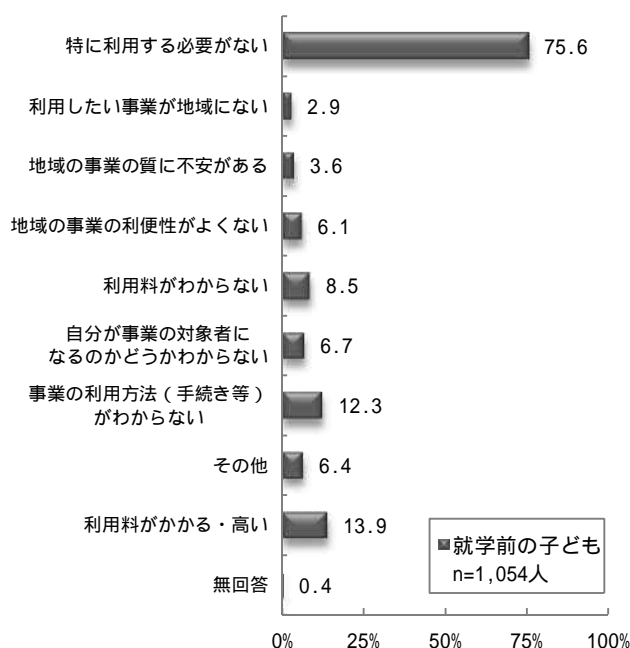
利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(75.6%)、「利用料がかかる・高い」(13.9%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(12.3%)の順に多くなっています。

利用しやすいと思われる料金では、「300円台」「500円台」(ともに25.3%)、「200円台」(17.8%)の順に多くなっています。

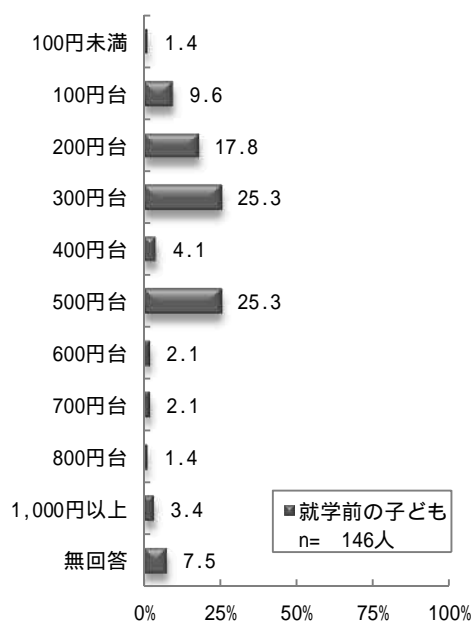
問 25 不定期の一時預かり等事業の利用状況 (MA)



問 25-1 不定期の一時預かり等を利用していない理由 (MA)

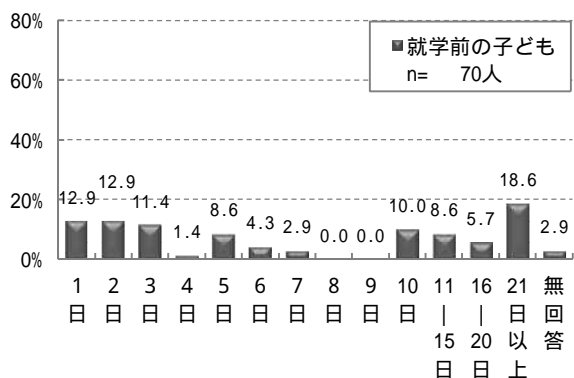


問 25-2 利用しやすいと思われる料金



事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは、年間「21日以上」(18.6%)、「1日」「2日」(12.9%)「3日」(11.4%)の順に多くなっています。

問 25.1 一時預かり (年間)



幼稚園の預かり保育は、年間「5日」「10日」(各17.8%)、「2日」「3日」(11.1%)、「1日」(10.0%)の順に多くなっています。

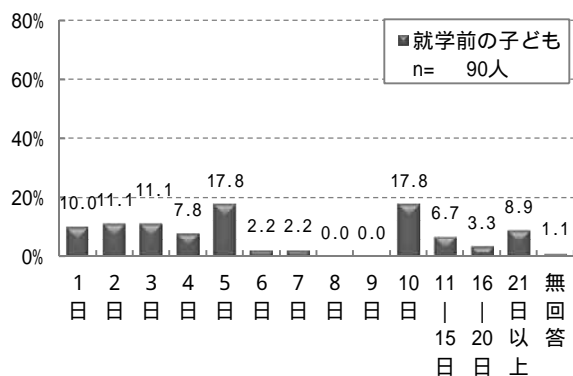
ファミリー・サポート・センターは、「3日」(28.6%)、「21日以上」(21.4%)、「1日」(14.3%)の順に多くなっています。

ショートステイ、トワイライトステイは、該当者はありませんでした。

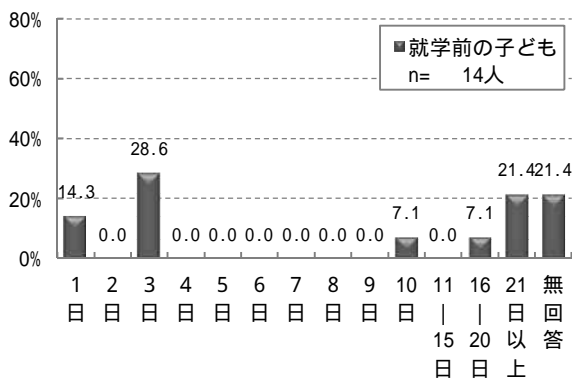
ベビーシッターは、「21日以上」(42.9%)、「11日-15日」(28.6%)「1日」「5日」(各14.3%)の順に多くなっています。

その他の事業は、「10日」(42.9%)が最も多くなっています。

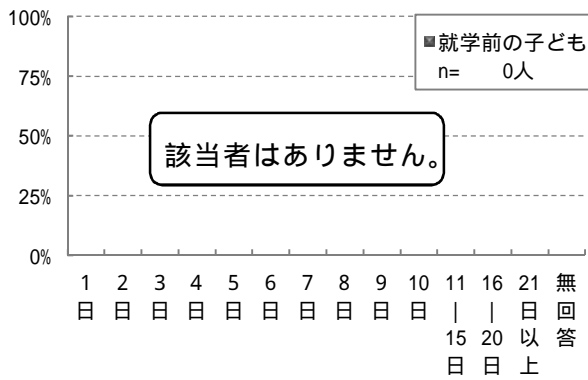
問 25.2 幼稚園の預かり保育 (年間)



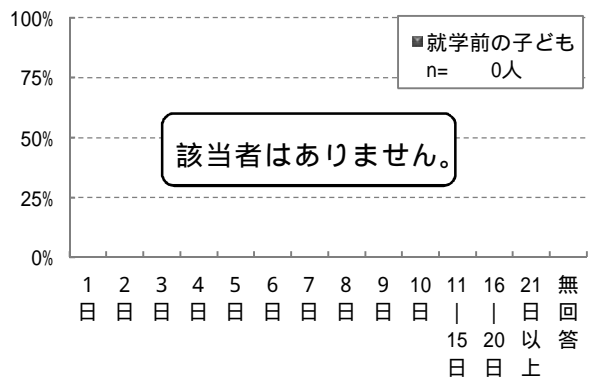
問 25.3 ファミリー・サポート・センター (年間)



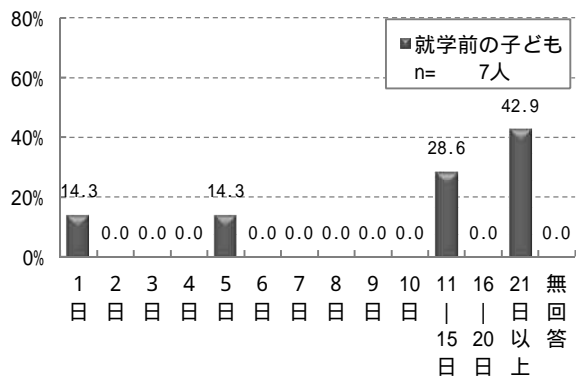
問 25.4 ショートステイ（年間）



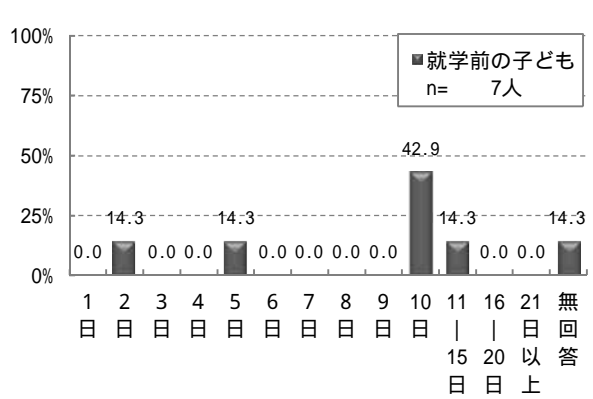
問 25.5 トワイライトステイ（年間）



問 25.6 ベビーシッター（年間）



問 25.7 その他（年間）

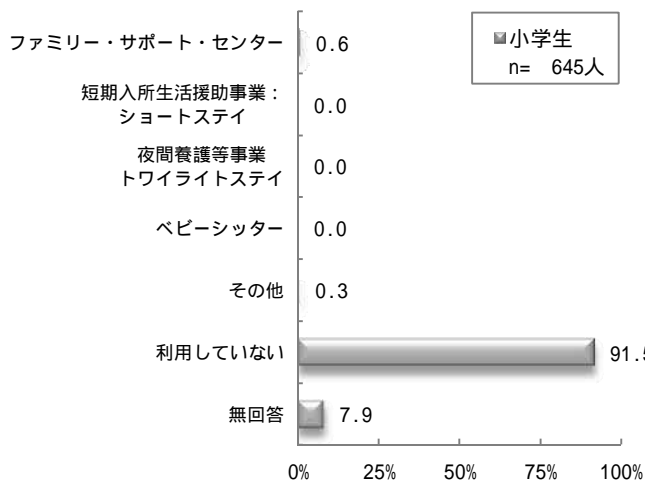


小学生の不定期の一時預かり等の利用状況をみると、「ファミリー・サポート・センター」(0.6%)「利用していない」(91.5%)となっています。

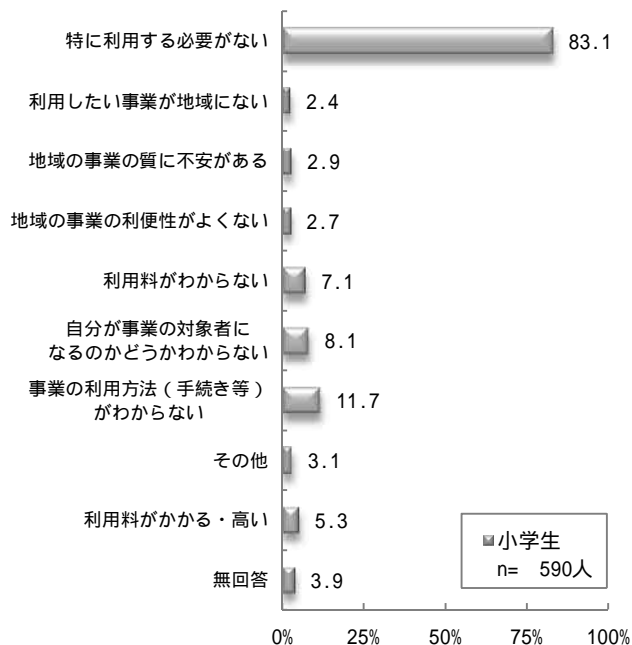
利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(83.1%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(11.7%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(8.1%)の順に多くなっています。

利用しやすいと思われる料金では、「500円台」(45.2%)、「300円台」(25.8%)の順に多くなっています。

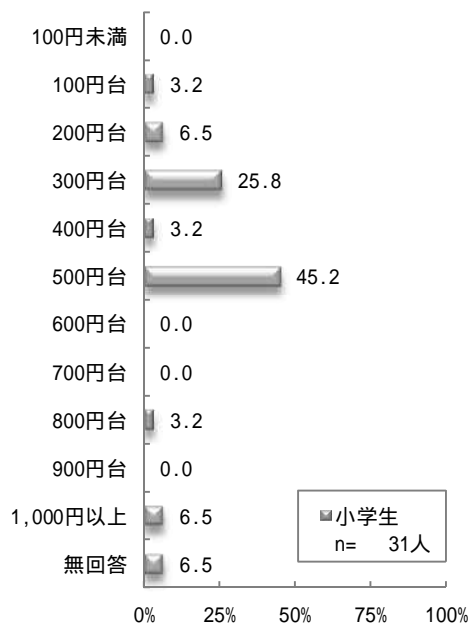
[問 22] 不定期の一時預かり等の利用状況 (MA)



[問 22-1] 不定期の一時預かり等を利用していない理由 (MA)

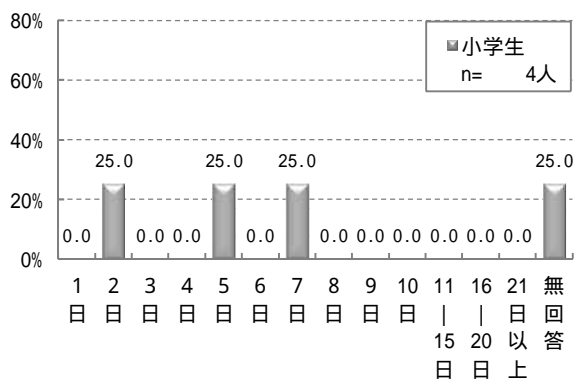


[問 22-2] 利用しやすいと思われる料金



事業ごとに利用日数をみると、ファミリー・サポート・センターは、年間「2日」「5日」「7日」(各25.0%)となっています。

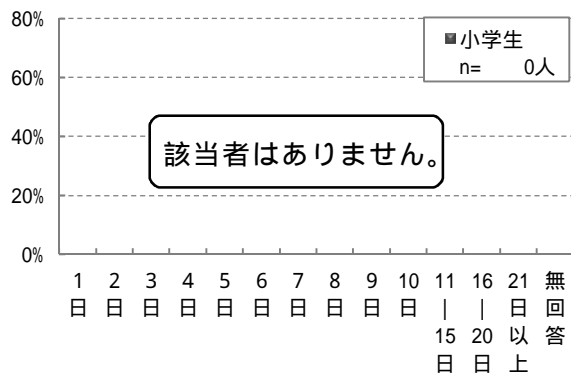
[問 22.1] ファミリー・サポート・センター (年間)



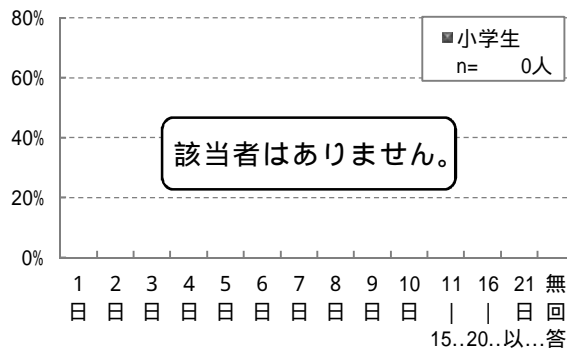
ショートステイ、トワイライトステイ、ベビーシッターは該当者がありませんでした。

その他の事業は、「5日」(50.0%)となっています。

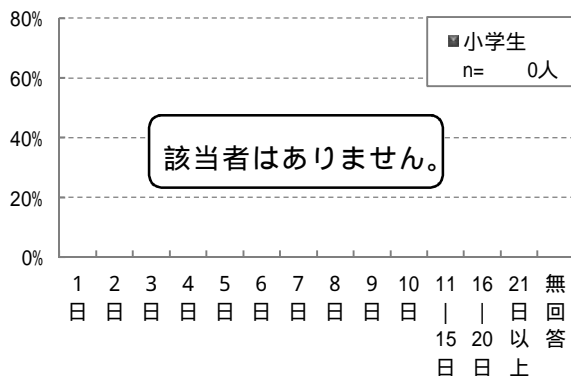
[問 22.2] ショートステイ (年間)



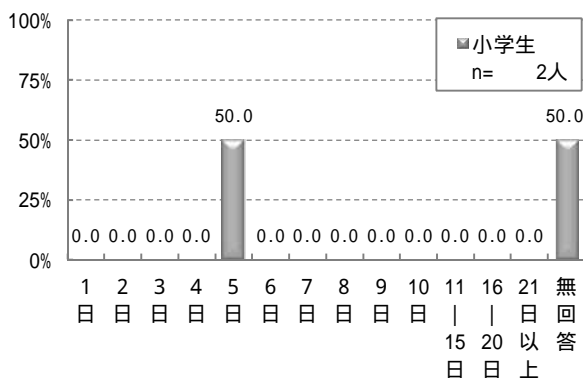
[問 22.3] トワイライトステイ (年間)



[問 22.4] ベビーシッター (年間)



[問 22.5] その他 (年間)



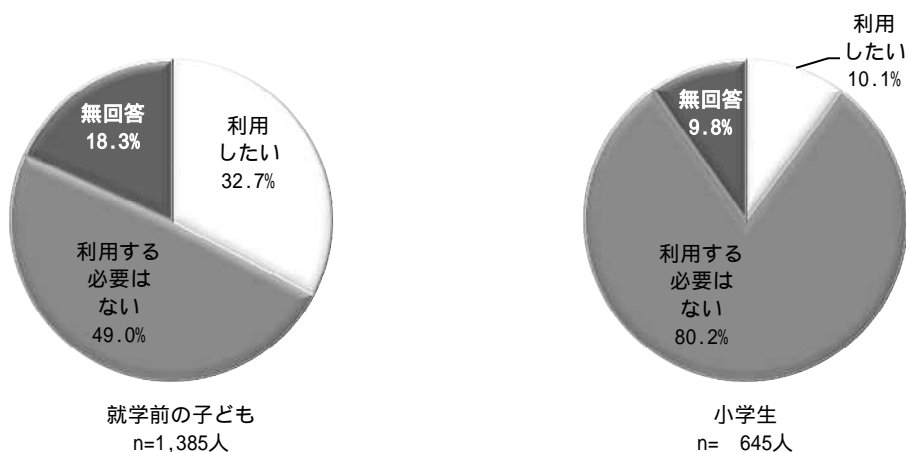
不定期の一時預かり等の利用希望とその目的は、就学前の子どもでは「利用する必要はない」(49.0%)、「利用したい」(32.7%)となっています。利用したい方の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」(43.7%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(39.5%)、「不定期の就労」(17.2%)の順に多くなっています。

小学生では、「利用する必要はない」(80.2%)、「利用したい」(10.1%)となっています。利用したい方の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(41.5%)、「私用、リフレッシュ目的」(32.3%)、「不定期の就労」(18.5%)の順に多くなっています。

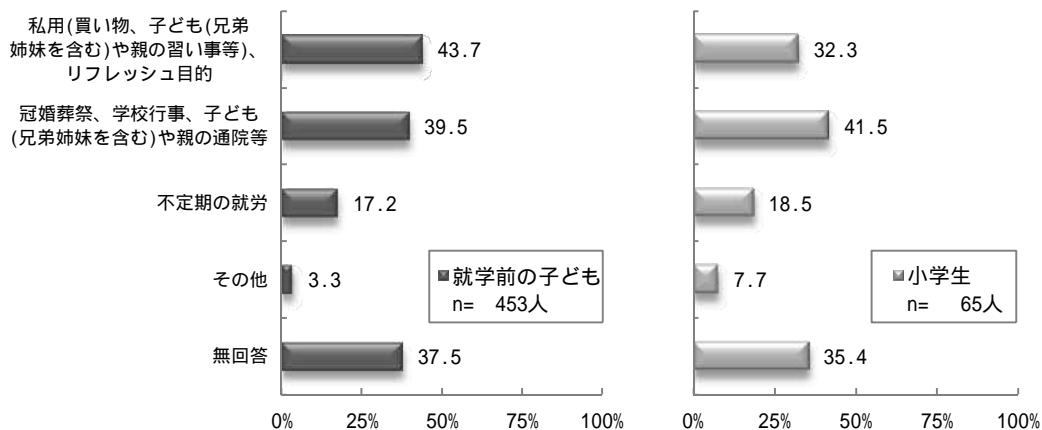
利用希望年間合計日数では、就学前の子どもでは「21日以上」(19.9%)、「11-15日」(12.8%)、「10日」(9.9%)の順に多くなっています。

小学生では、「21日以上」(12.3%)、「10日」「11-15日」(各9.2%)の順に多くなっています。

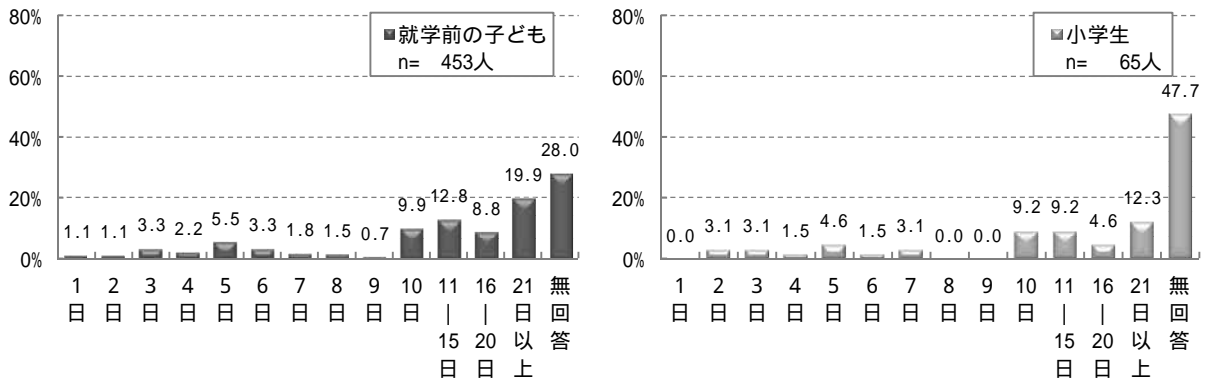
問 26-1[問 23-1] 不定期の一時預かり等の利用希望



問 26・1[問 23・1] 不定期の一時預かり等の目的(MA)



問 26.1[問 23.1]利用希望年間合計日数



就学前の子どもの目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「11-15日」(20.2%)、「10日」(16.2%)、「5日」(15.7%)、「3日」(11.1%)の順に多くなっています。

冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院目的は、「5日」(21.2%)、「3日」(16.8%)、「10日」(16.2%)の順に多くなっています。

不定期の就労目的は、「21日以上」(33.3%)、「10日」(24.4%)、「5日」(10.3%)の順に多くなっています。

その他の目的は、「10日」(26.7%)、「21日以上」(20.0%)の順に多くなっています。

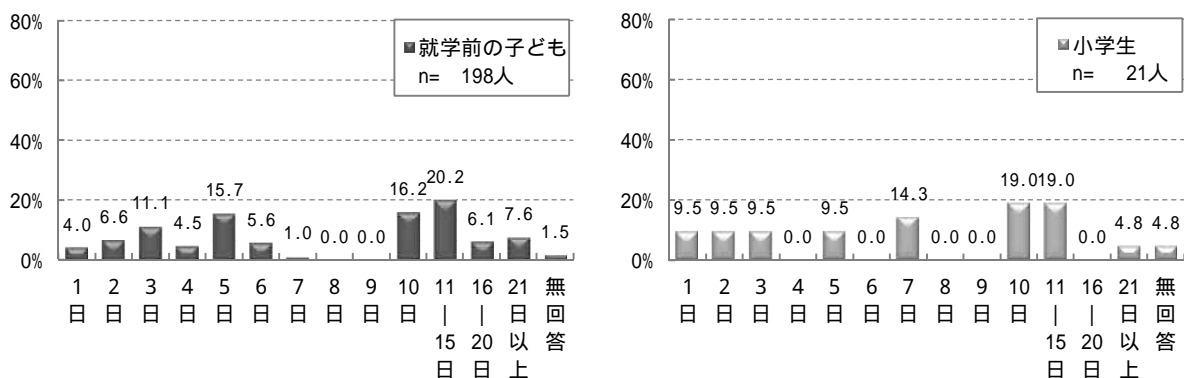
小学生の目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「10日」「11-15日」(各19.0%)、「7日」(14.3%)の順に多くなっています。

冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院目的は、「10日」(22.2%)、「3日」(14.8%)の順に多くなっています。

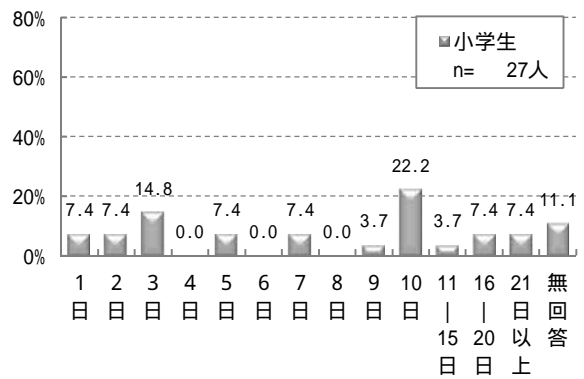
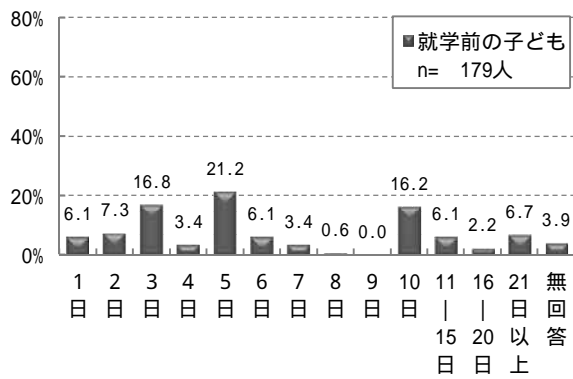
不定期の就労目的は、「16-20日」「21日以上」(各16.7%)となっています。

その他の目的は、「3日」「11-15日」「16-20日」「21日以上」(各20.0%)となっています。

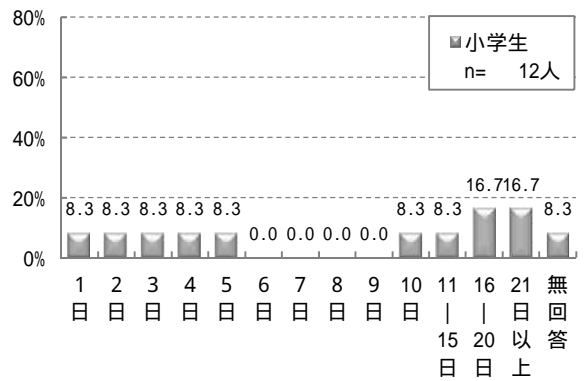
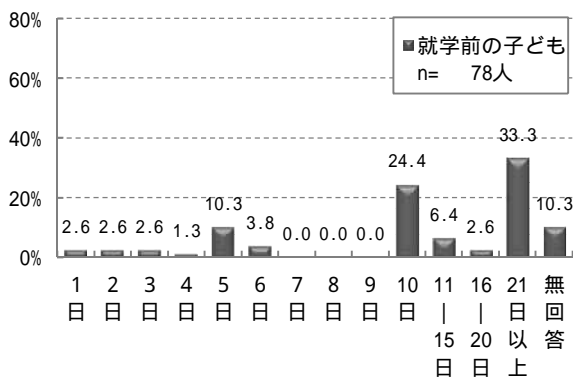
問 26.1.ア[問 23.1.ア] 私用、リフレッシュ目的



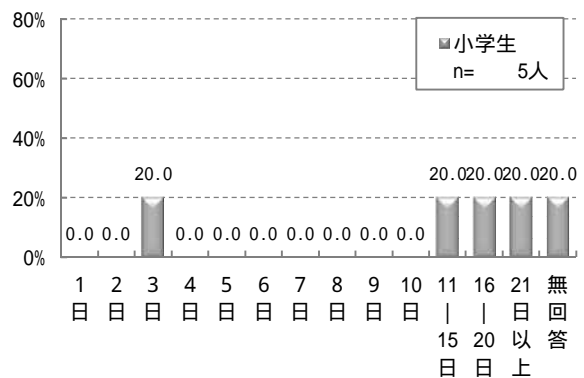
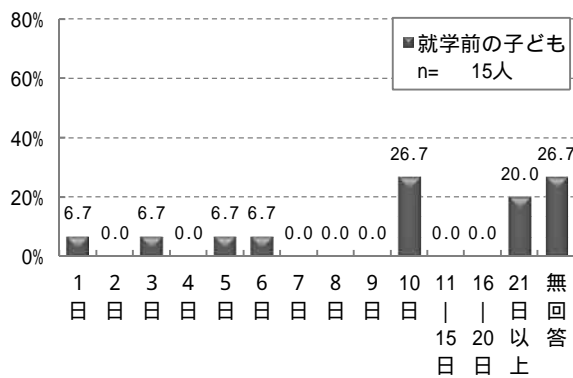
問 26.1.イ [問 23.1.イ] 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院



問 26.1.ウ [問 23.1.ウ] 不定期の就労

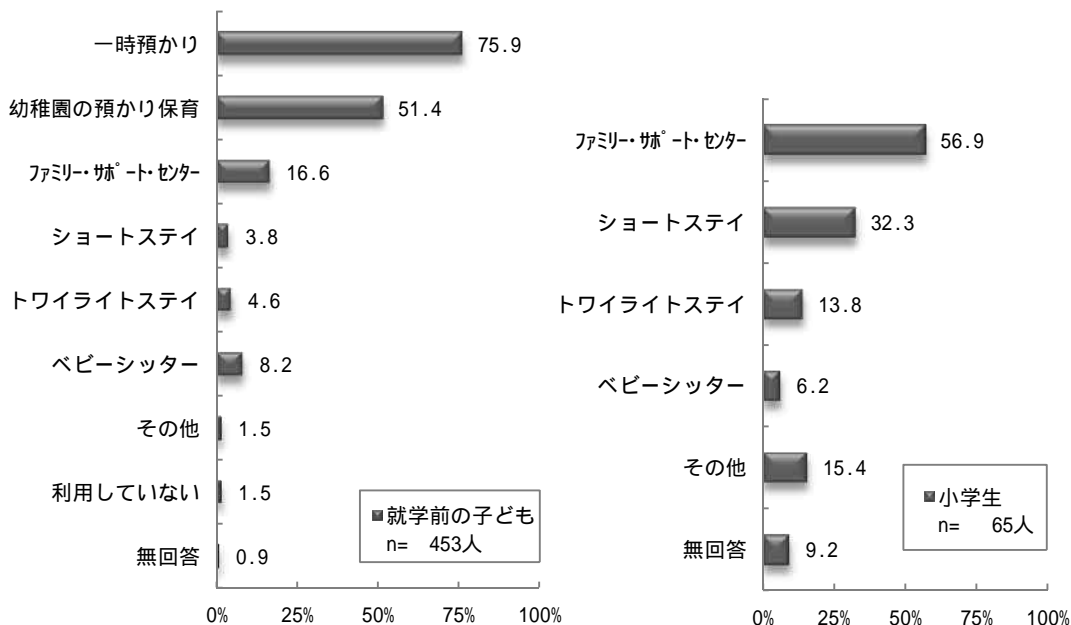


問 26.1.エ [問 23.1.エ] その他



子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、就学前の子どもでは「一時預かり」(75.9%)、「幼稚園の預かり保育」(51.4%)の順に多くなっています。
小学生では、「ファミリー・サポート・センター」(56.9%)、「ショートステイ」(32.3%)の順に多くなっています。

問 26-1[問 23-1] 子どもを預ける場合の望ましい事業形態(MA)

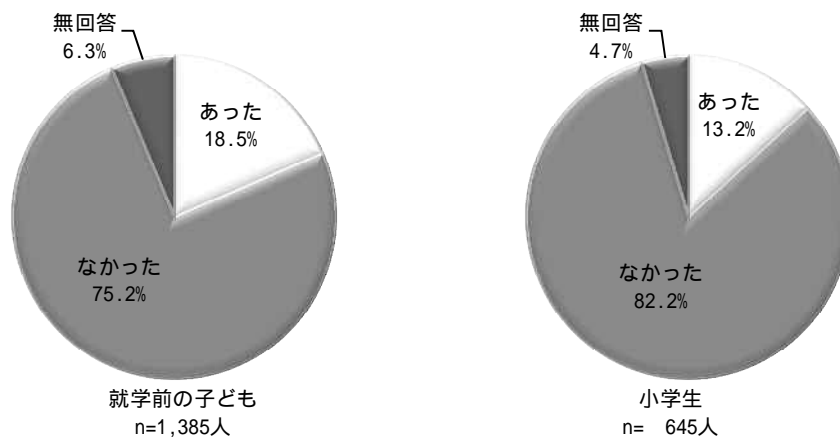


(3) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

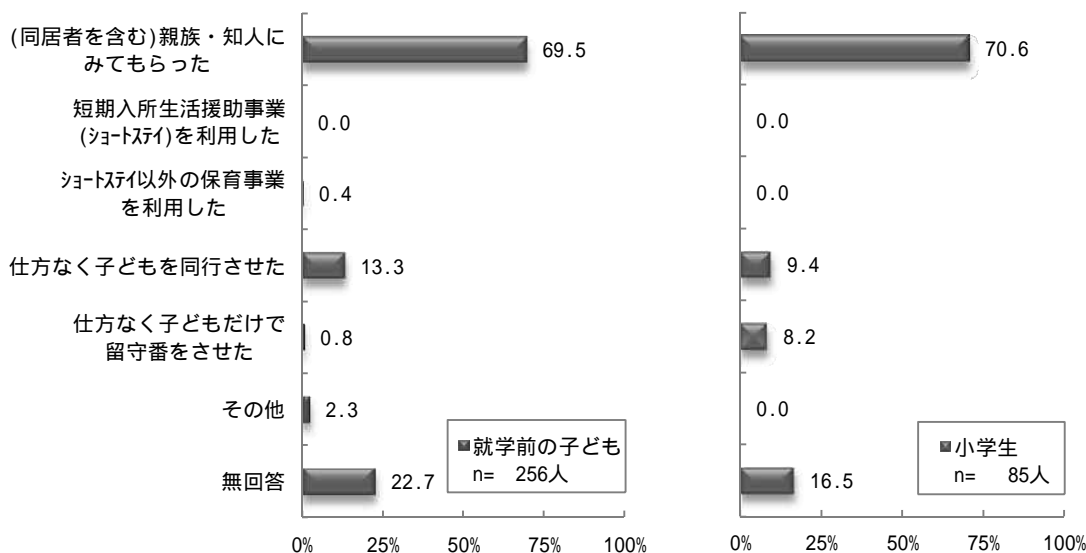
この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けた方は、就学前の子どもでは18.5%、小学生では13.2%となっています。

この対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(就学前の子ども69.5%、小学生70.6%)が最も多くなっています。

問 27[問 24] この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



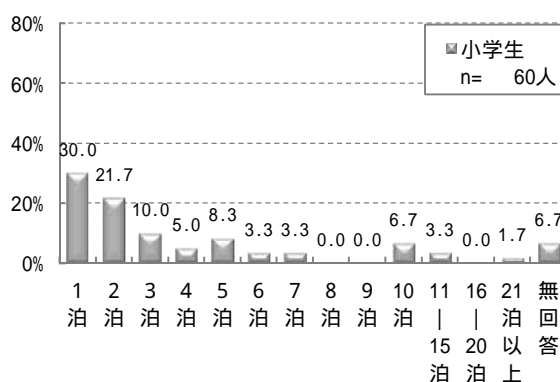
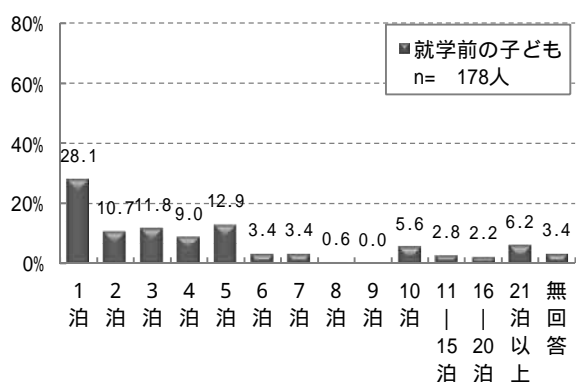
問 27.1[問 24.1] 1年間の対処方法 (MA)



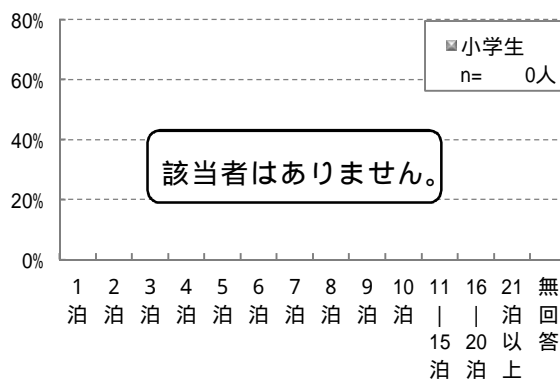
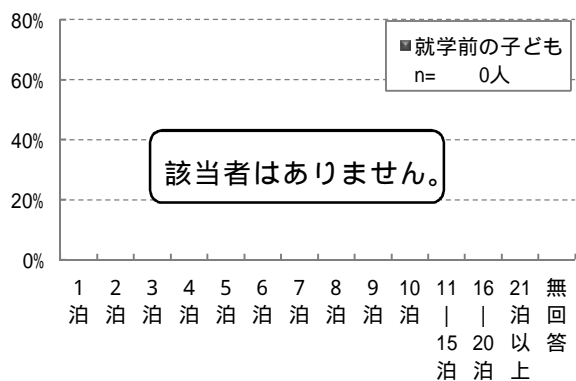
(同居者を含む)親族・知人に預けた泊数は就学前の子どもでは、「1泊」(28.1%)、「5泊」(12.9%)、「3泊」(11.8%)、小学生では、「1泊」(30.0%)、「2泊」(21.7%)、「3泊」(10.0%)の順になっています。

子どもを同行させた泊数は、就学前の子どもでは、「1泊」(17.6%)、「2泊」(14.7%)、「5泊」(各14.7%)、小学生では、「1泊」(12.5%)、「2泊」(12.5%)、「4泊」(12.5%)、「6泊」(12.5%)となっています。子どもだけで留守番をさせた泊数では、就学前の子どもで、「3泊」(50.0%)、「5泊」(50.0%)、小学生では、「1泊」(28.6%)、「6泊」(14.3%)、「8泊」(14.3%)、「10泊」(14.3%)、「21泊以上」(14.3%)でした。その他の対処をした泊数では、就学前の子どもで「5泊」(33.3%)、「10泊」(33.3%)、「1泊」(16.7%)、「2泊」(16.7%)の順になっています。

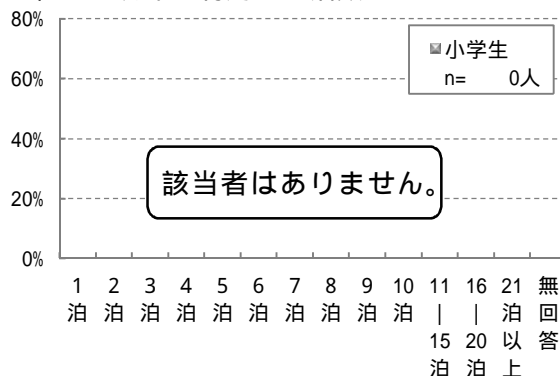
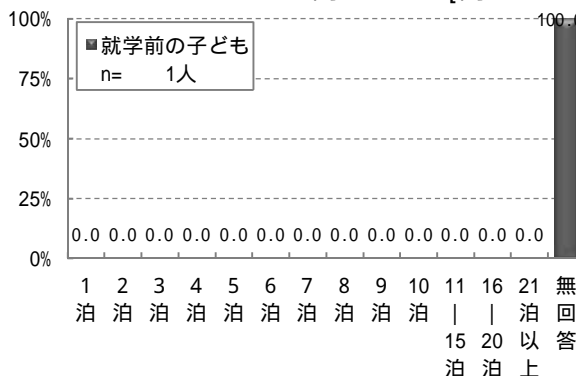
問 27.1.ア [問 24.1.ア] (同居者を含む)親族・知人に預けた泊数



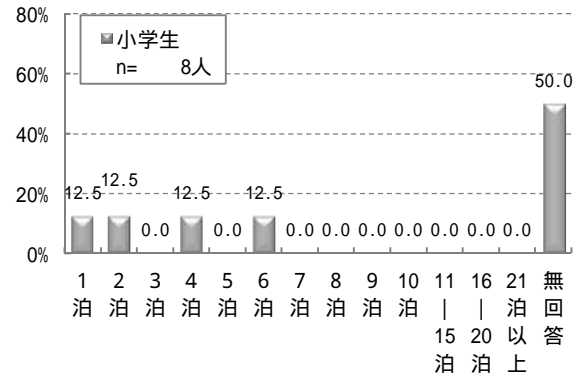
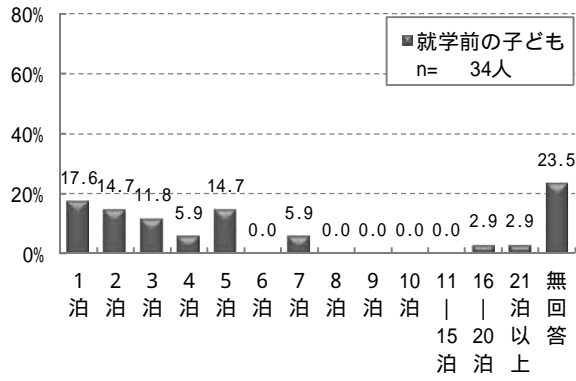
問 27.1.イ [問 24.1.イ] ショートステイを利用した泊数



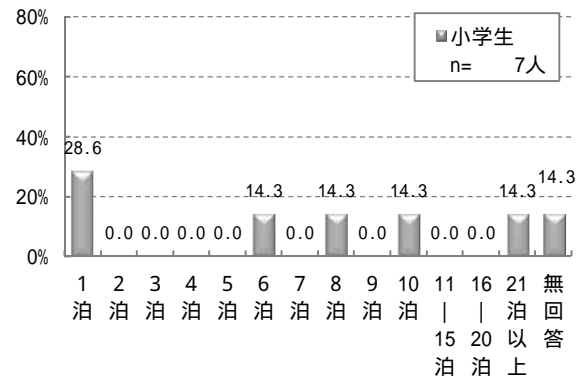
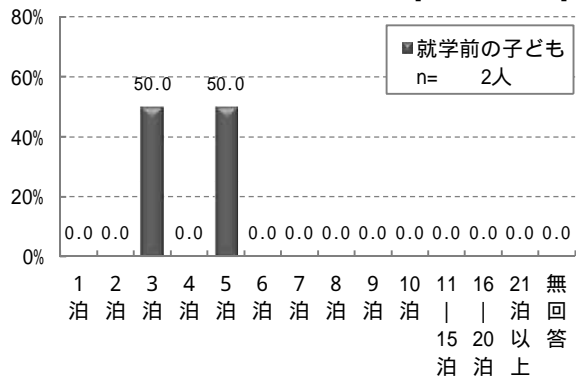
問 27.1.ウ [問 24.1.ウ] ショートステイ以外を利用した泊数



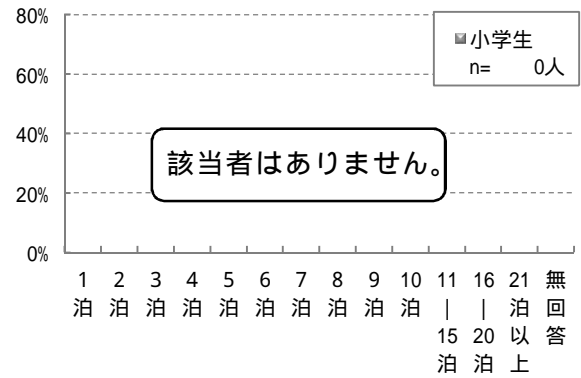
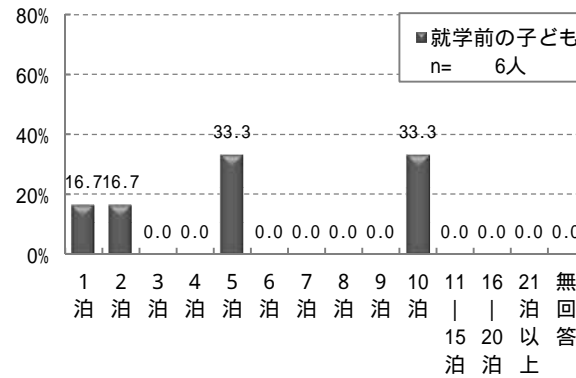
問 27.1.工 [問 24.1.工] 子どもを同行させた泊数



問 27.1.才 [問 24.1.才] 子どもだけで留守番をさせた泊数



問 27.1.力 [問 24.1.力] その他の対処をした泊数



3 放課後の過ごし方について

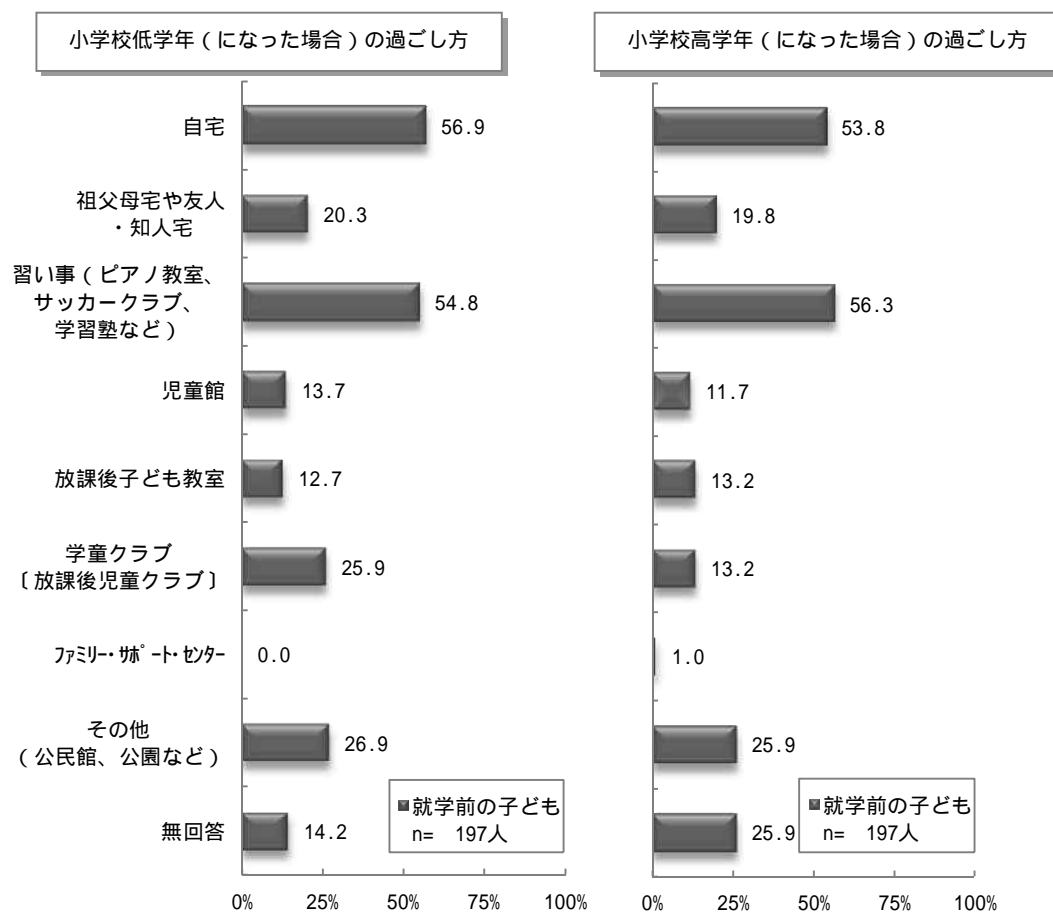
(1) 平日の放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方をみると、就学前の子どもでは小学校低学年のうち「自宅」(56.9%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(54.8%)の順に希望しています。

また、小学校高学年になった場合には「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(56.3%)、「自宅」(53.8%)となっています。

学童クラブの希望は、低学年 25.9%、高学年 13.2%となっています。

問 28・問 29 放課後の過ごし方の希望(MA)



「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生、「小学生」は1～6年生の意味です。

就学前の子どもの保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「2日」(低学年時期 33.0%・高学年時期 35.8%)が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1日」(低学年時期 60.0%・高学年時期 53.8%)が最も多くなっています。

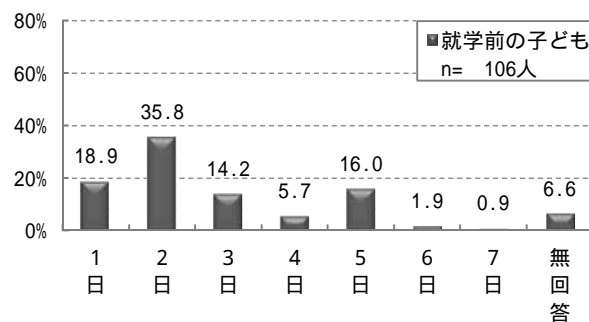
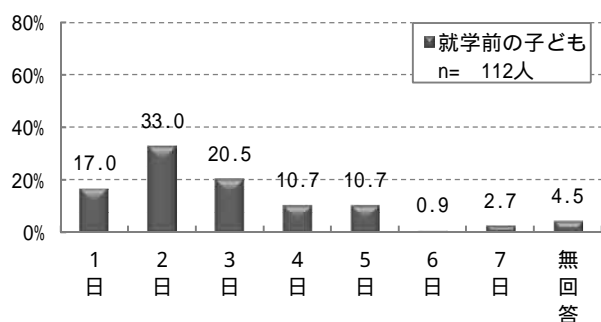
「習い事」では、低学年時期は「2日」(41.7%)、「1日」(35.2%)、「3日」(18.5%)の順に、高学年時期では「2日」(45.9%)、「3日」(33.3%)、「1日」(16.2%)の順に多くなっています。

問 28・問 29 放課後の過ごし方の希望日数

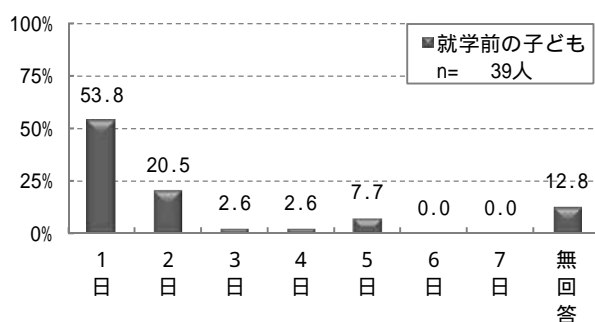
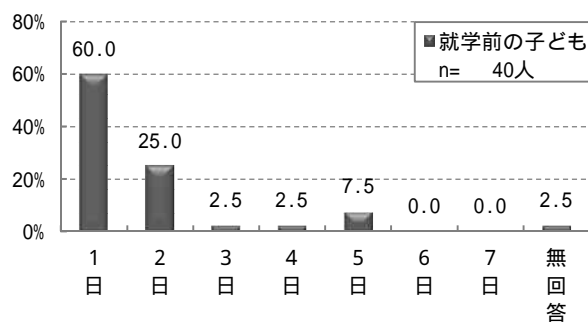
小学校低学年(になった場合)の過ごし方

小学校高学年(になった場合)の過ごし方

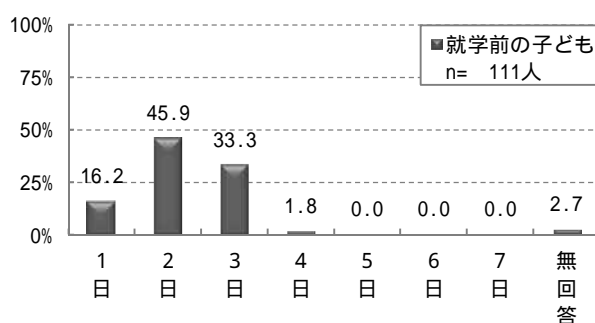
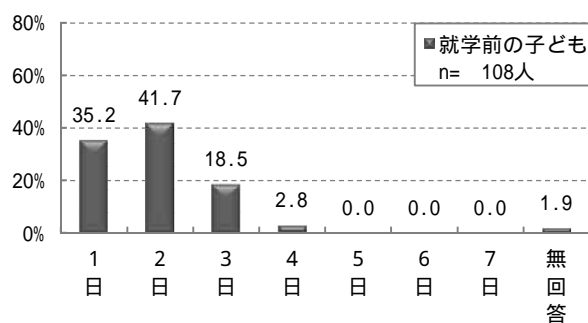
問 28・問 29.1 自宅



問 28・問 29.2 祖父母宅や友人・知人宅



問 28・問 29.3 習い事



「児童館」では、「1日」(低学年時期 55.6%、高学年時期 39.1%)、「2日」(低学年時期 22.2%、高学年時期 34.8%)、「3日」(低学年時期 11.1%、高学年時期 17.4%)の順に多くなっています。

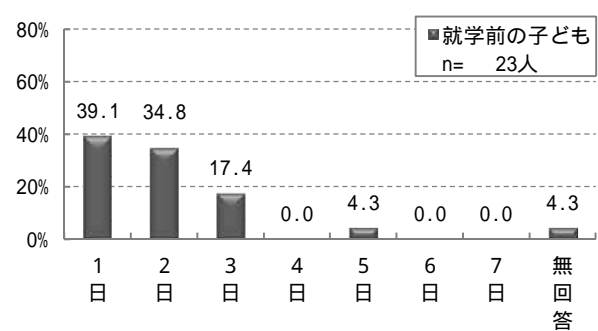
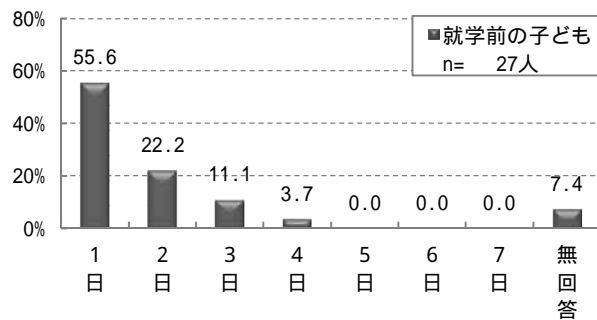
「放課後子ども教室」では、低学年時期は「1日」(48.0%)、「5日」(20.0%)、「2日」(16.0%)の順に、高学年時期では「1日」「2日」(各 38.5%)、「3日」(19.2%)の順に多くなっています。

「学童クラブ」では、低学年時期は「5日」(64.7%)、「4日」(15.7%)、「3日」(9.8%)の順に、高学年時期では「5日」(42.3%)、「3日」(26.9%)、「2日」(15.4%)の順に多くなっています。

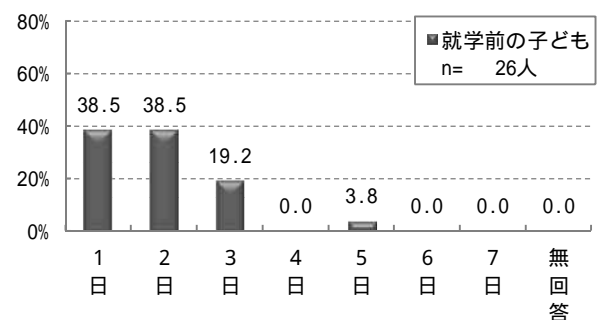
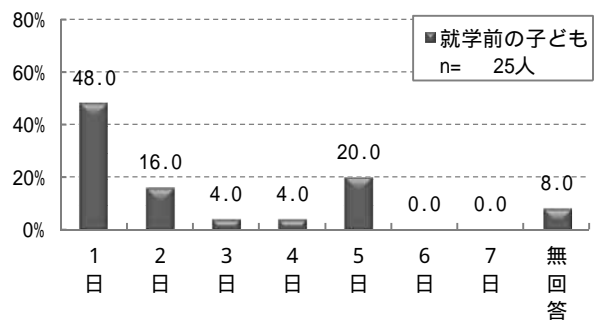
小学校低学年(になった場合)の過ごし方

小学校高学年(になった場合)の過ごし方

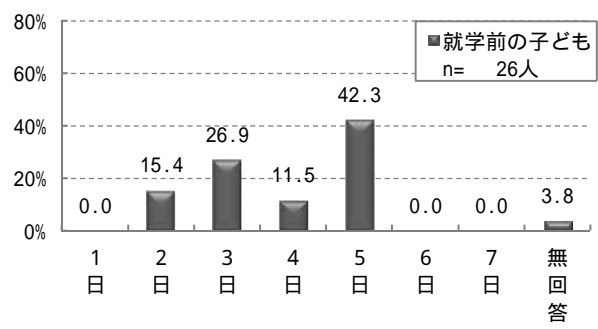
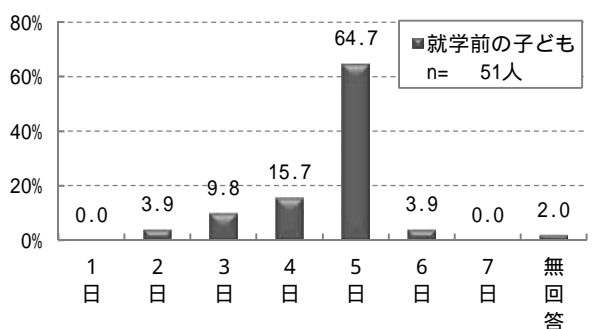
問28・問29.4 児童館



問28・問29.5 放課後子ども教室



問28・問29.6 学童クラブ

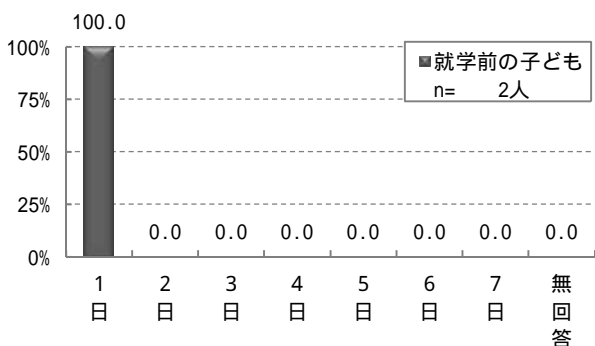
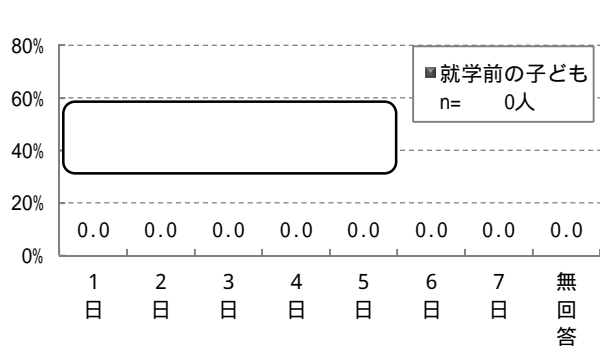


「ファミリー・サポート・センター」では、高学年時期において「1日」(100.0%)
 となっています。
 「その他」(公民館・公園など)では、低学年時期は「1日」(35.8%)、「2日」
 (28.3%)、「3日」(20.8%)の順に、高学年時期では「2日」(39.2%)、「1
 日」(29.4%)、「3日」(11.8%)の順に多くなっています。

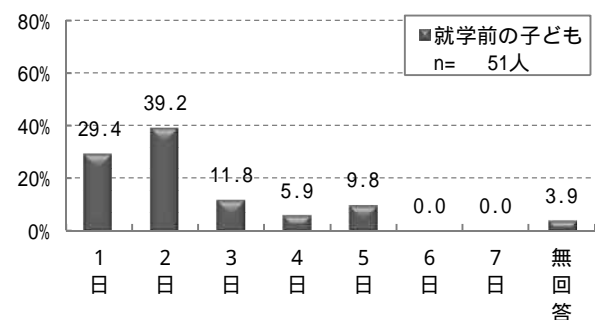
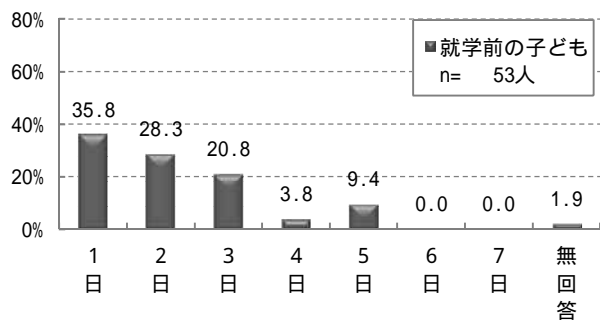
小学校低学年(になった場合)の過ごし方

小学校高学年(になった場合)の過ごし方

問 28・問 29.7 ファミリー・サポート・センター



問 28・問 29.8 その他(公民館、公園など)



下校時から学童クラブを何時まで利用したいかをみると、就学前の子どもでは低学年の時期で「18時台」(37.3%)、「19時台」(33.3%)、「17時台」(17.6%)の順、高学年の時期で「18時台」(42.3%)、「19時台」(23.1%)、「17時台」(15.4%)の順に希望し、高学年の時期で「18時台」(42.3%)、「20時台」(7.7%)の利用希望がやや増加しています。

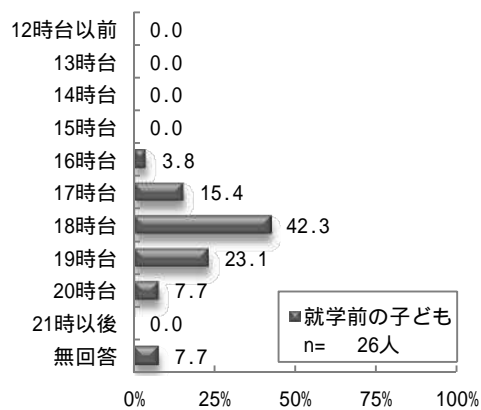
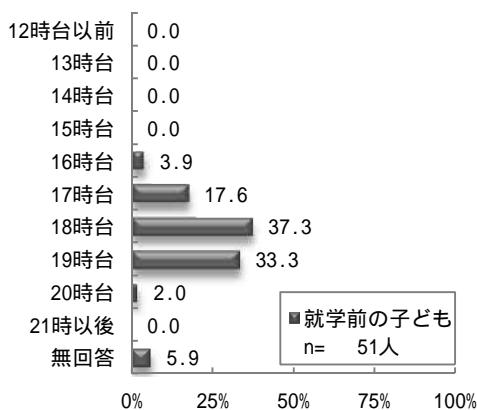
「学童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（就学前の子どもの希望）

【小学校低学年の時期】

【小学校高学年の時期】

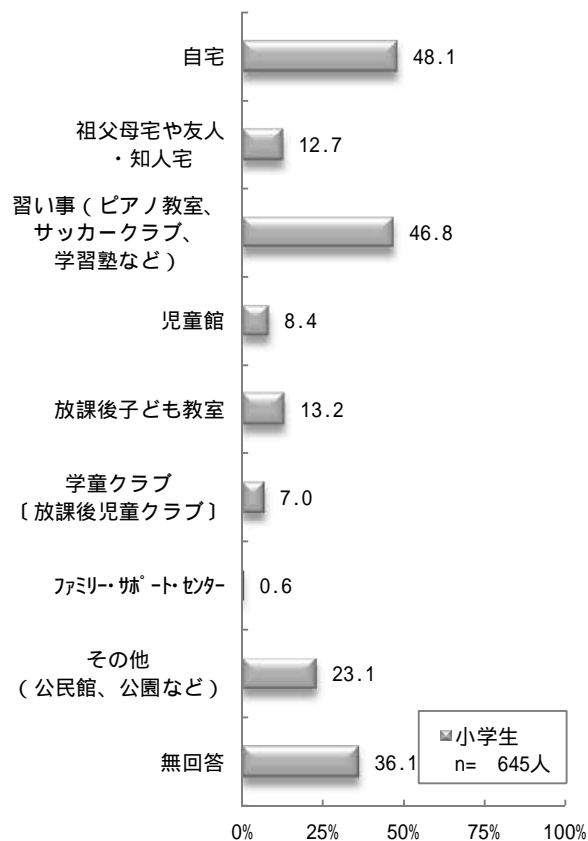
問 28.6 下校時からの利用希望時刻

問 29.6 下校時からの利用希望時刻



小学生の放課後の過ごし方の希望では、「自宅」(48.1%)と「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(46.8%)が多くなっています。

[問 15] 放課後の過ごし方の希望(MA)



放課後の過ごし方の希望日数は、「自宅」では「2日」(27.7%)、「5日」(19.4%)、「1日」(18.4%)の順、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」(46.3%)、「2日」(28.0%)の順に多くなっています。

「習い事」では「2日」(41.7%)、「3日」(26.2%)、「1日」(21.2%)の順、「児童館」では「1日」(51.9%)、「2日」(22.2%)、「3日」(13.0%)の順に多くなっています。

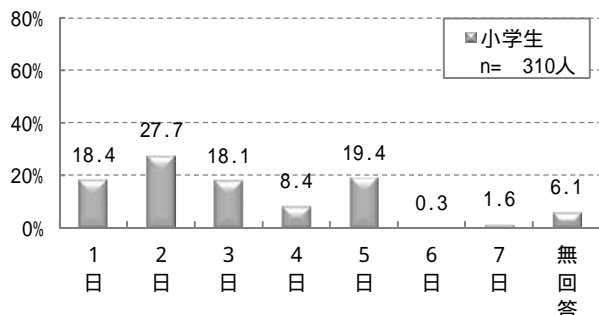
「放課後子ども教室」では「1日」(44.7%)、「2日」(23.5%)、「3日」(16.5%)の順、「学童クラブ」では「5日」(31.1%)、「3日」(22.2%)、「2日」(13.3%)の順に多くなっています。

「ファミリー・サポート・センター」では、「2日」(50.0%)、「1日」(25.0%)となっています。

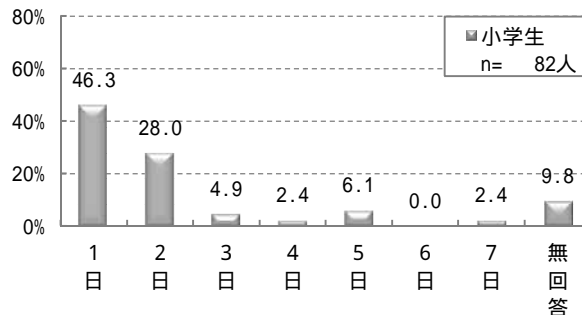
「その他(公民館、公園など)」では、「2日」(41.6%)、「1日」(30.9%)、「3日」(13.4%)の順に多くなっています。

[問 15] 放課後の過ごし方の希望日数

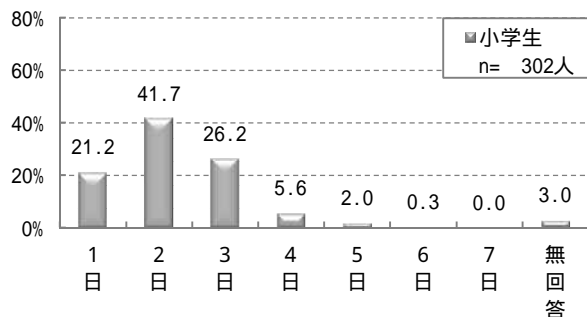
[問 15.1] 自宅



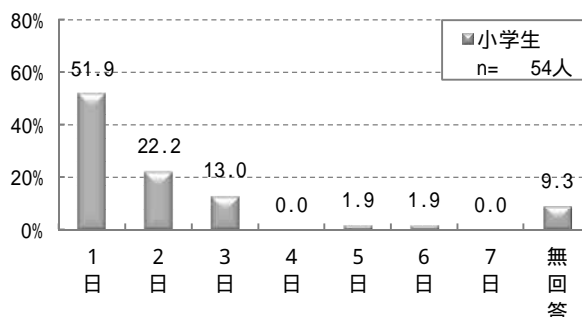
[問 15.2] 祖父母宅や友人・知人宅



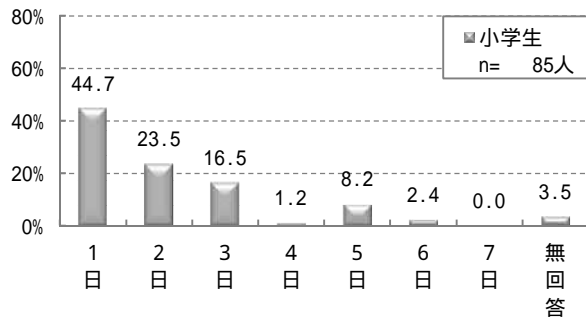
[問 15.3] 習い事



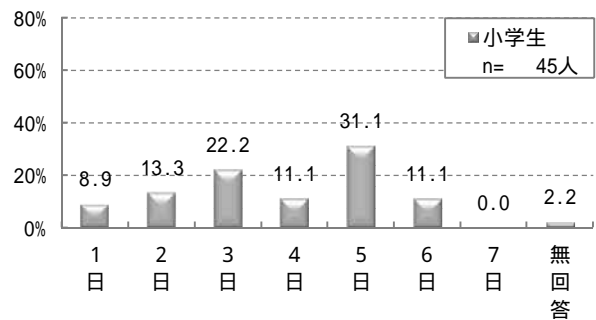
[問 15.4] 児童館



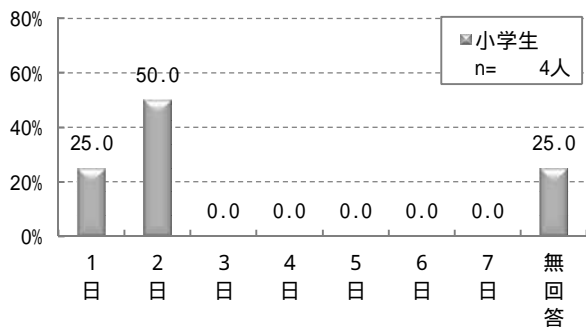
[問 15.5] 放課後子ども教室



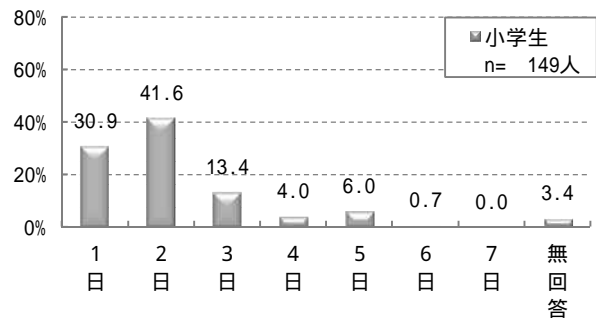
[問 15.6] 学童クラブ



[問 15.7] ファミリー・サポート・センター



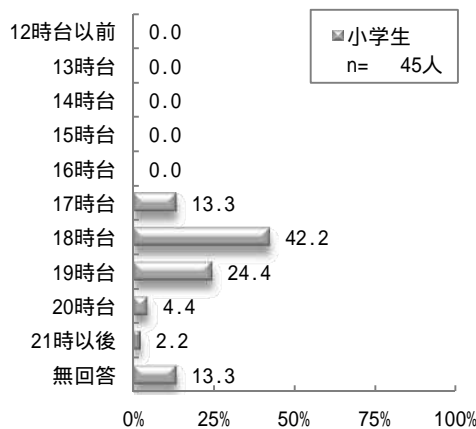
[問 15.8] その他（公民館、公園など）



下校時から学童クラブを何時まで利用したいかをみると、小学生では「18 時台」(42.2%)、「19 時台」(24.4%)、「17 時台」(13.3%)の順になっています。

「学童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（小学生の希望）

[問 15.6] 下校時からの利用希望時刻



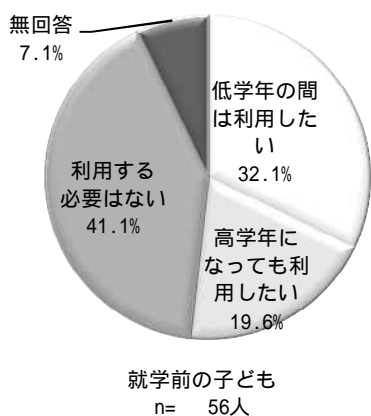
(2) 土曜・休日の学童クラブ利用について

学童クラブの土曜・休日の利用希望をみると、就学前の子どもでは「低学年の間は利用したい」(土曜 32.1%・休日 3.6%)、「高学年になっても利用したい」(土曜 19.6%・休日 7.1%)、「利用する必要はない」(土曜 41.1%・休日 80.4%)となっています。一方、小学生では「月に1~2回は利用したい」(土曜 7.1%・休日 6.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(土曜 2.6%・休日 0.8%)、「利用する必要はない」(土曜 83.1%・休日 82.2%)となっています。

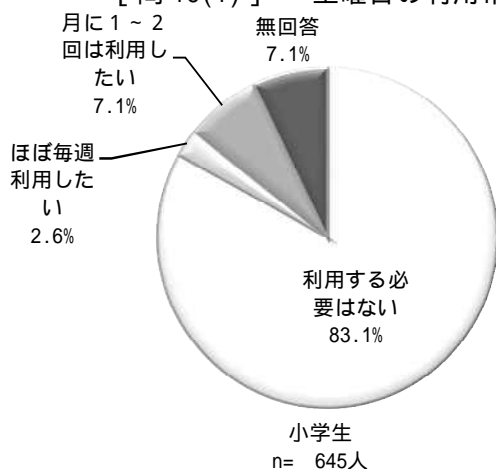
土曜日の希望利用開始時間では、就学前の子どもは「8時台」(55.2%)小学生は「9時台」(30.2%)が最も多く、希望利用終了時間では就学前の子どもは「19時台」(24.1%)小学生は「17時台」「18時台」(各22.2%)が最も多くなっています。

日曜・祝日の希望利用開始時間では、就学前の子どもは「8時台」(66.7%)小学生は「9時台」(41.7%)が最も多く、希望利用終了時間では就学前の子どもが「17時台」「18時台」(各33.3%)小学生は「18時台」(31.3%)が最も多くなっています。

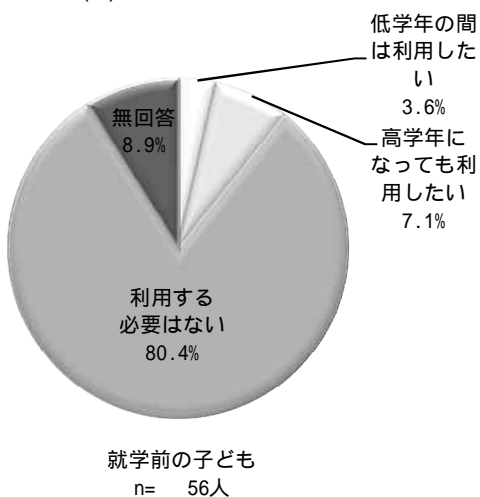
問 30(1) 土曜日の利用希望



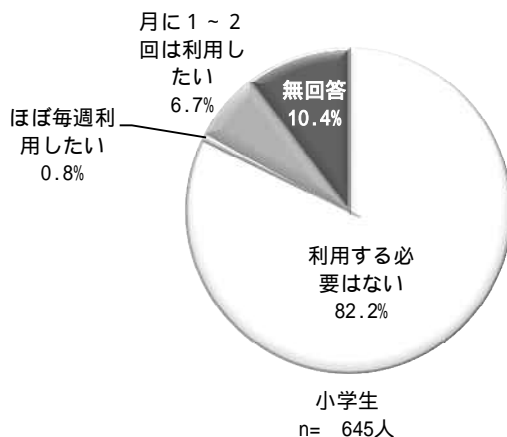
[問 16(1)] 土曜日の利用希望



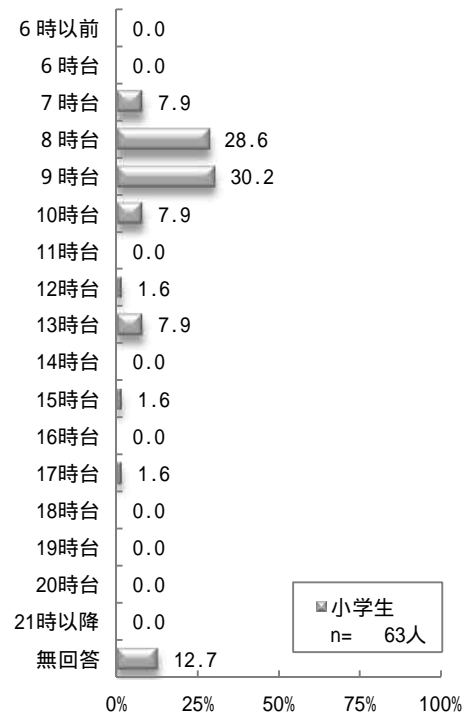
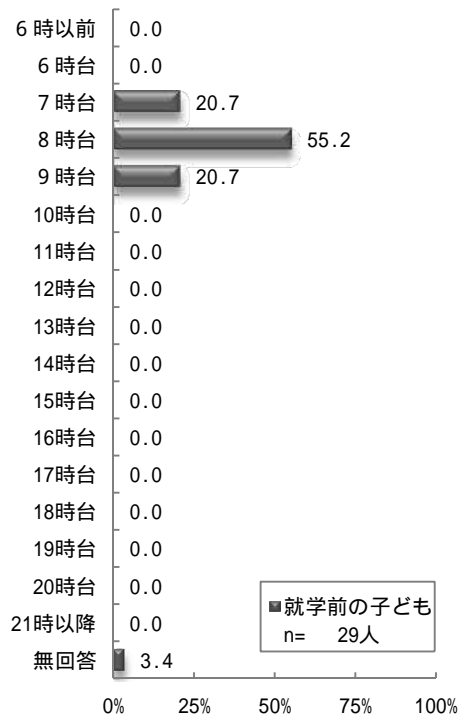
問 30(2) 日曜・祝日の利用希望



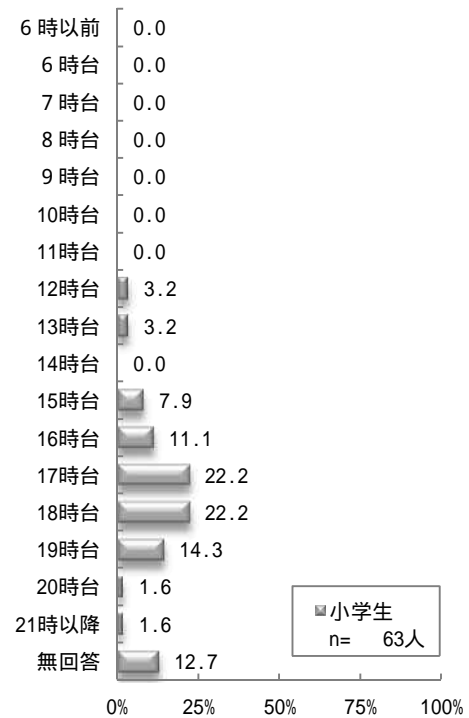
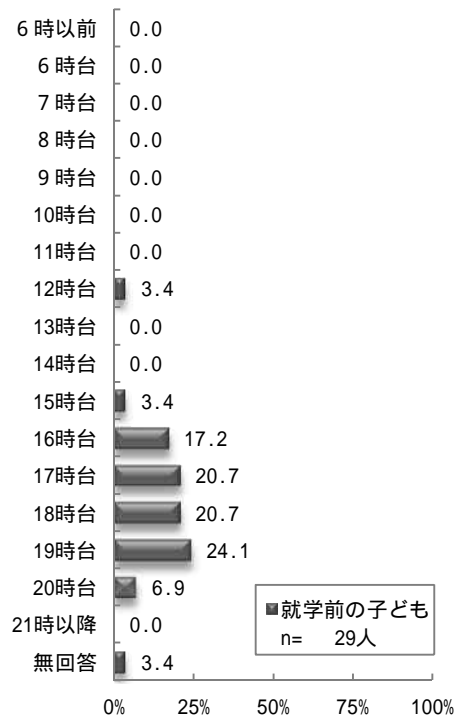
[問 16(2)] 日曜・祝日の利用希望



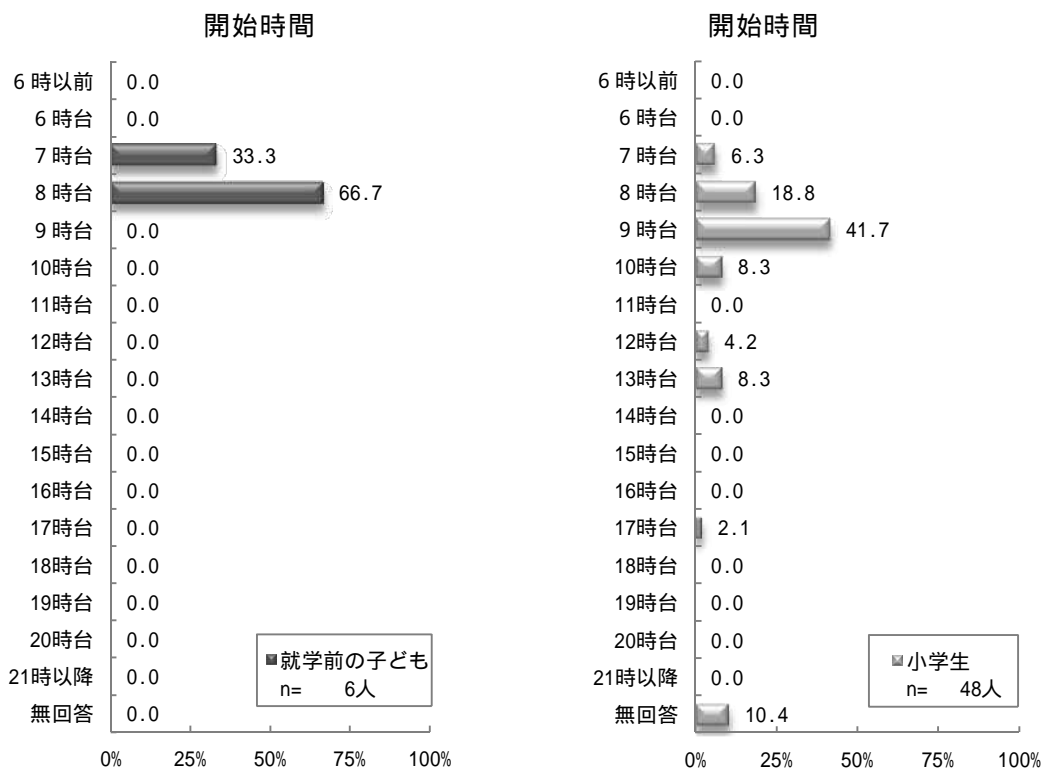
問 30(1).1・2 土曜日の希望利用開始時間 [問 16(1).2-3] 土曜日の希望利用開始時間



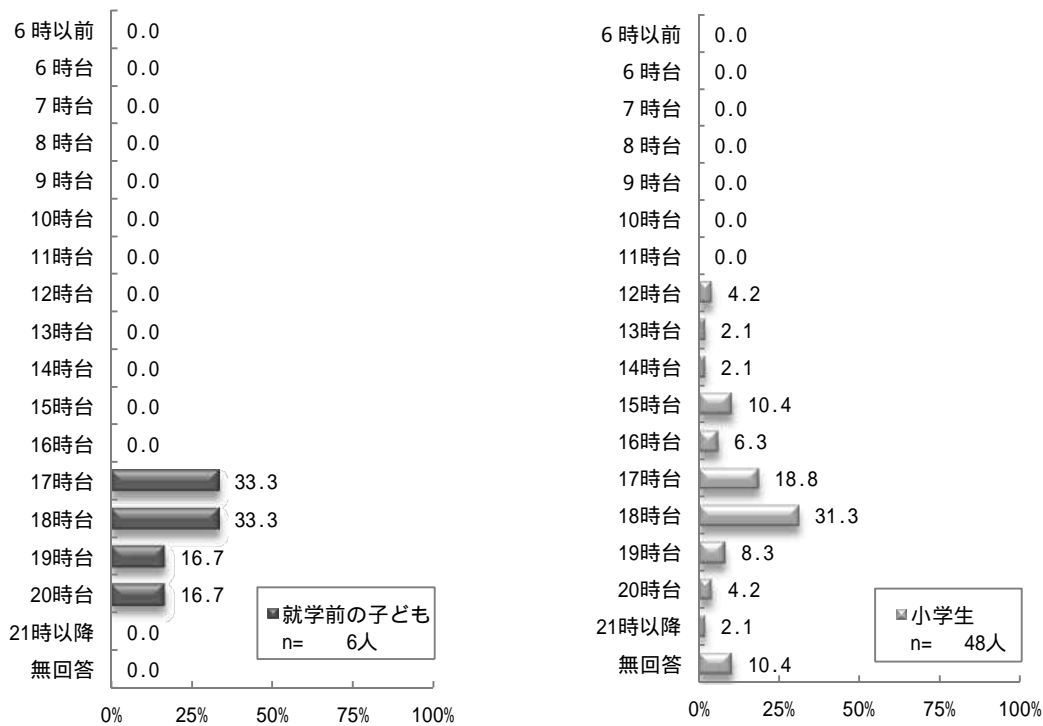
問 30(1).1・2 土曜日の希望利用終了時間 [問 16(1).2・3] 土曜日の希望利用終了時間



問 30(2).1・2 日曜・祝日の希望利用 [問 16(2).2・3] 日曜・祝日の希望利用

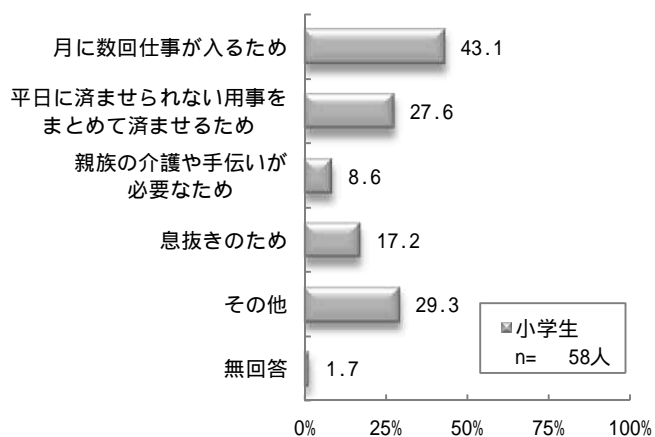


問 30(2).1・2 日曜・祝日の希望利用終了時間 [問 16(2).2・3] 日曜・祝日の希望利用終了時間



土曜・日曜・祝日に学童クラブを月 1～2 回利用した理由は、「月に数回仕事が入るため」(43.1%) が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(27.6%) も多くなっています。

[問 16-1] 土曜・日曜・祝日に「月に 1～2 回利用したい」理由 (MA)

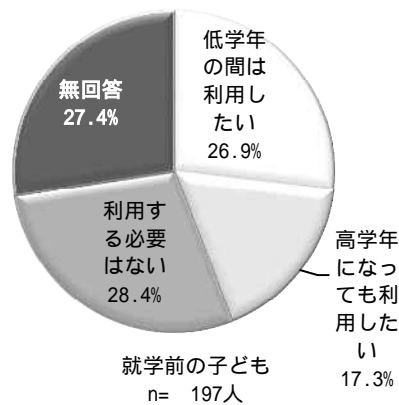


(3) 長期の休暇期間中の学童クラブの利用について

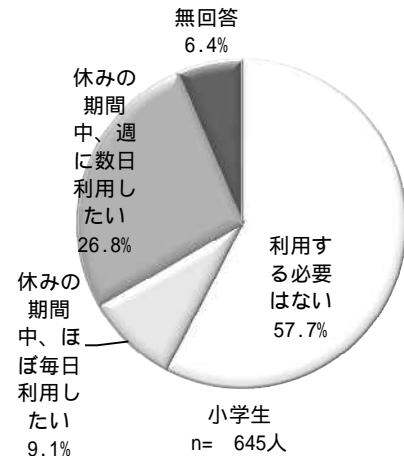
長期の休暇期間中の利用希望をみると、就学前の子どもでは「利用する必要はない」(28.4%)、「低学年の間は利用したい」(26.9%)、「高学年になっても利用したい」(17.3%)となっています。一方、小学生では「利用する必要はない」(57.7%)「休みの期間中、週に数日利用したい」(26.8%)「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(9.1%)となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」(就学前の子ども52.9%・小学生42.7%)が最も多く、希望利用終了時間は、就学前の子どもでは「18時台」(25.3%)、小学生では「17時台」「18時台」(各20.7%)が最も多くなっています。

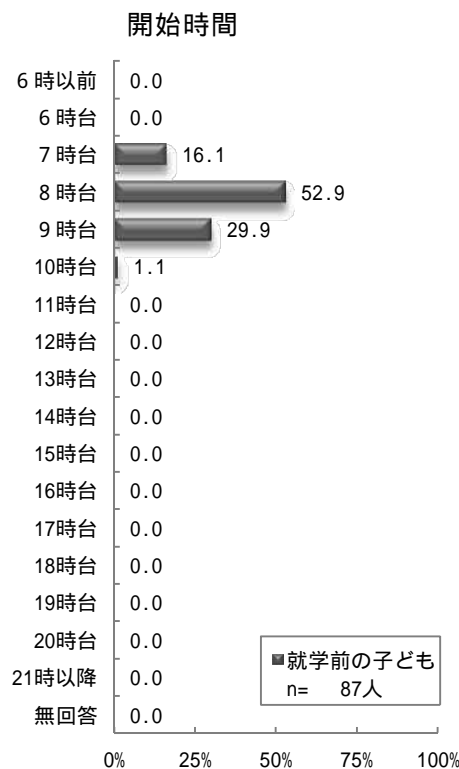
問 31 長期の休暇期間中の利用希望



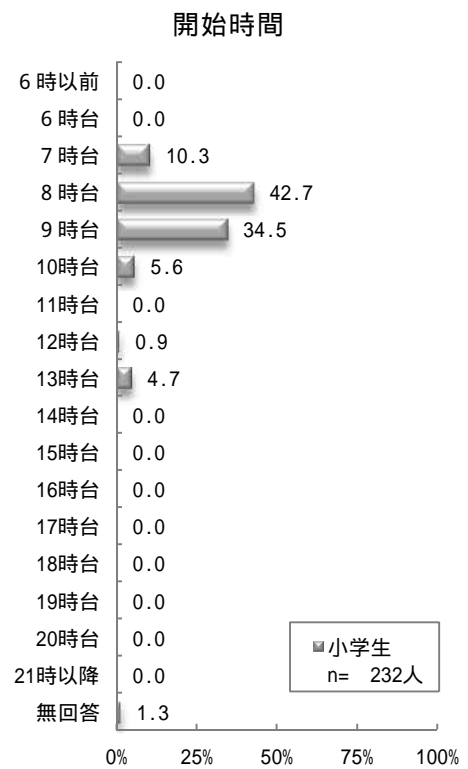
[問 17] 長期の休暇期間中の利用希望



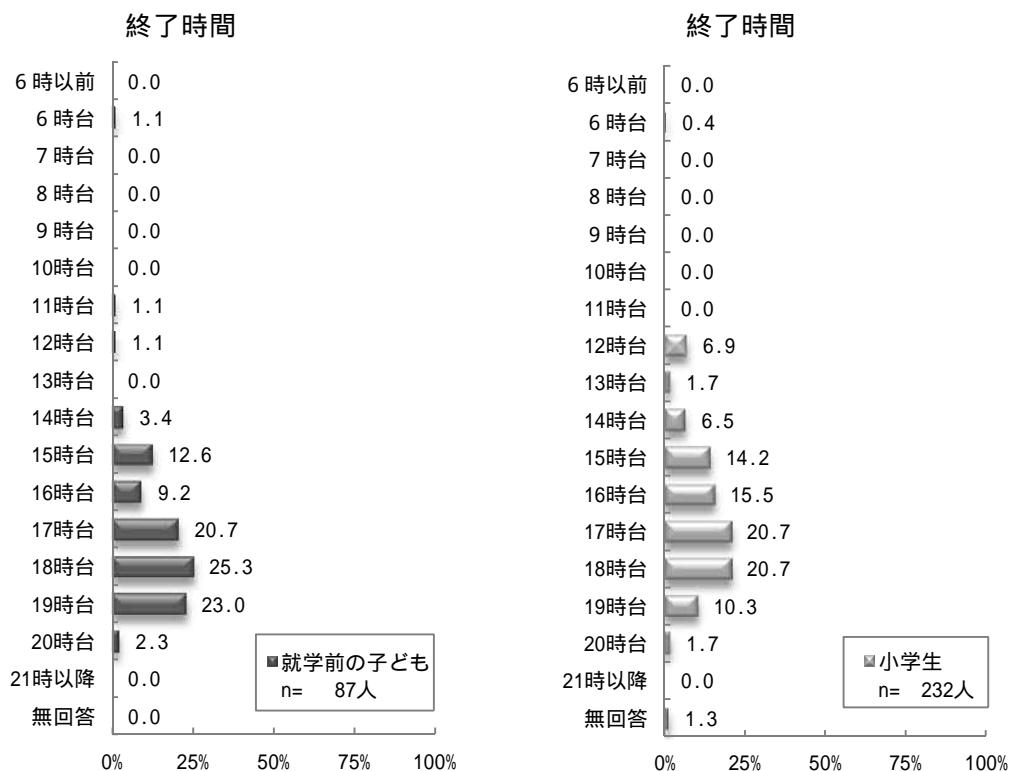
問 31.1・2 長期の休暇期間中の希望利用



[問 17.2・3] 長期の休暇期間中の希望利用

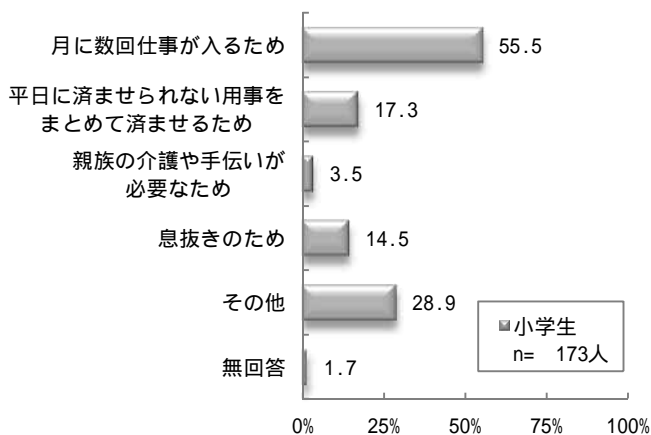


問 31.1・2 長期の休暇期間中の希望利用 [問 17.2・3] 長期の休暇期間中の希望利用



小学生で長期の休暇期間中に学童クラブを週に数日利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(55.5%)が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(17.3%)の順に多くなっています。

[問 17-1] 長期の休暇期間中「週に数日利用したい」理由(MA)

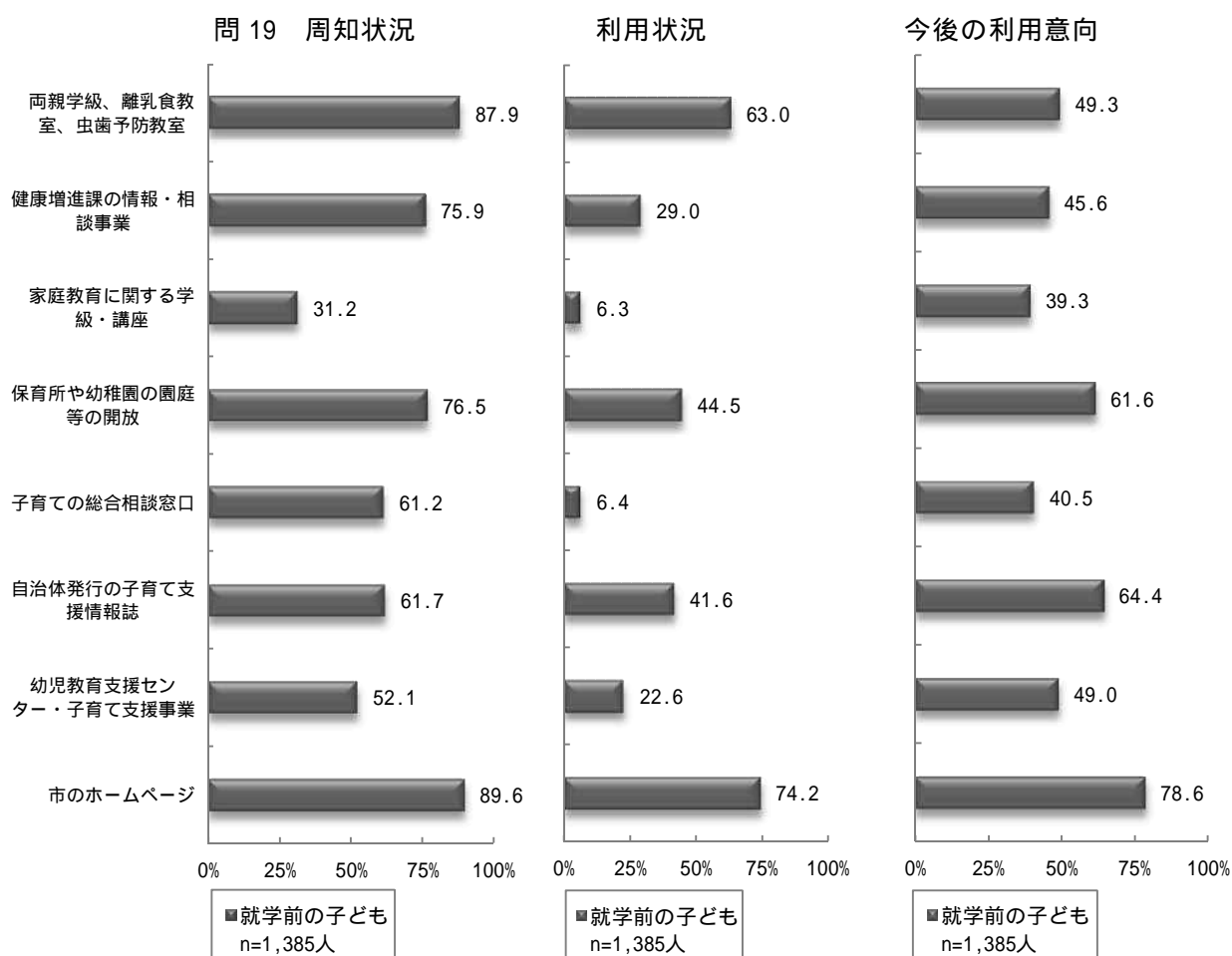


4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

子育て支援事業の周知度をみると、就学前の子どもでは「市のホームページ」(89.6%)、「両親学級・離乳食教室・虫歯予防教室」(87.9%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(76.5%)が上位を占めています。

周知度が高くても利用が少ない事業は、「子育ての総合相談窓口」(6.4%)、「家庭教育に関する学級・講座」(6.3%)があげられます。

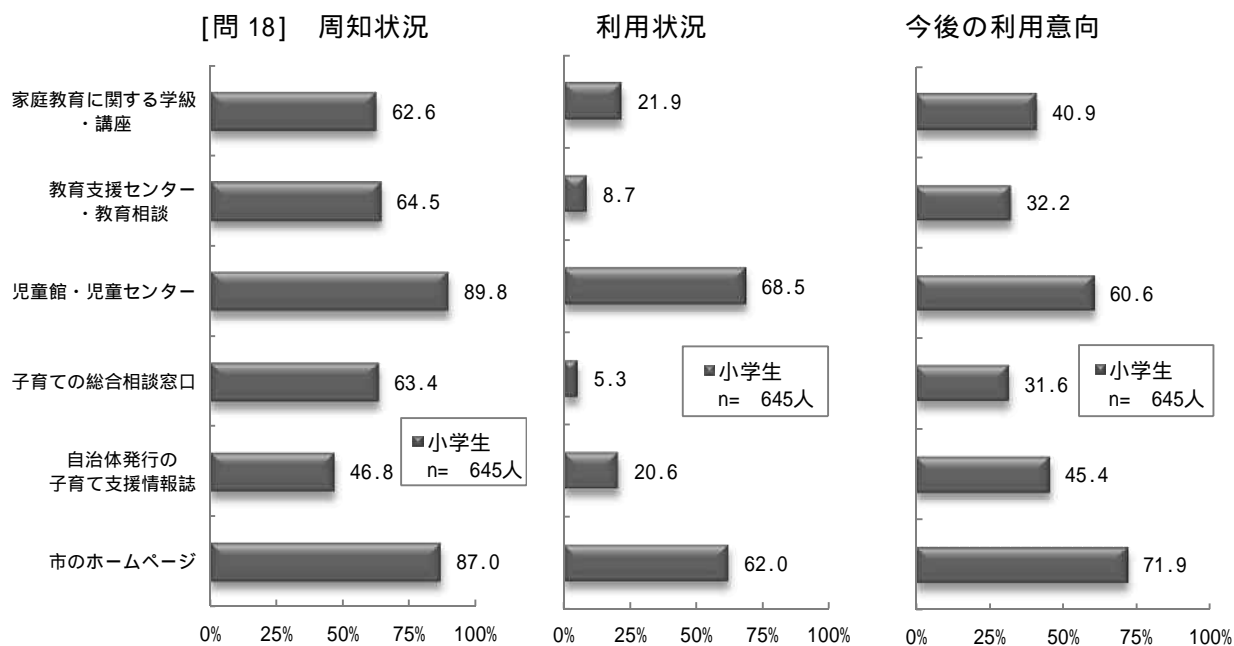
今後の利用希望が多い事業は、「市のホームページ」(78.6%)が最も多く、「自治体発行の子育て支援情報誌」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」も6割を超えています。



子育て支援事業の周知度をみると、小学生では、「児童館・児童センター」(89.8%)「市のホームページ」(87.0%)「教育支援センター・教育相談」(64.5%)「子育ての総合相談窓口」(63.4%)が上位を占めています。

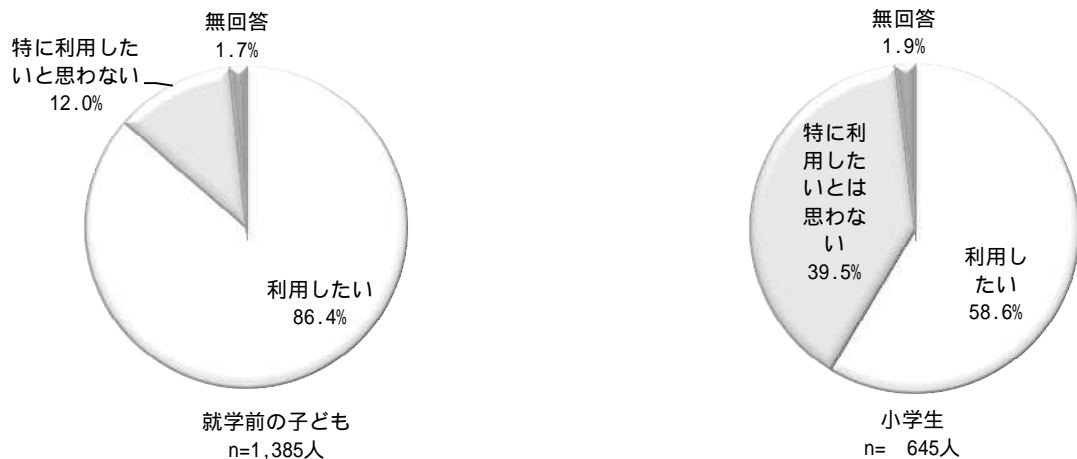
周知度が高くて利用が少ない事業は、「教育支援センター・教育相談」(8.7%)「子育ての総合相談窓口」(5.3%)があげられます。

今後の利用希望が多い事業は、「市のホームページ」(71.9%)「児童館・児童センター」(60.6%)が多くなっています。



身近な場所で案内・相談等の支援を受ける事業等(利用者支援事業等)があれば「利用したい」が就学前の子どもは(86.4%)で多く、一方、小学生は(58.6%)で大きな差が見られます。

問 20[問 19] 身近な場所で案内・相談等の支援事業があれば利用したいか



第 4 章

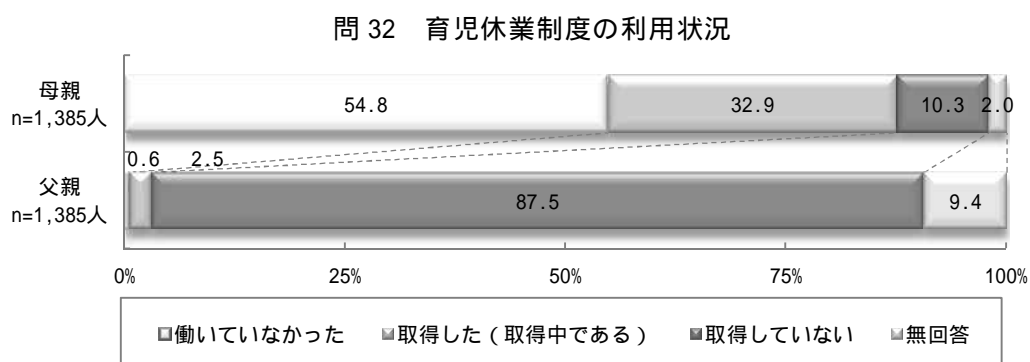
育児休業制度の利用状況

第4章 育児休業制度の利用状況

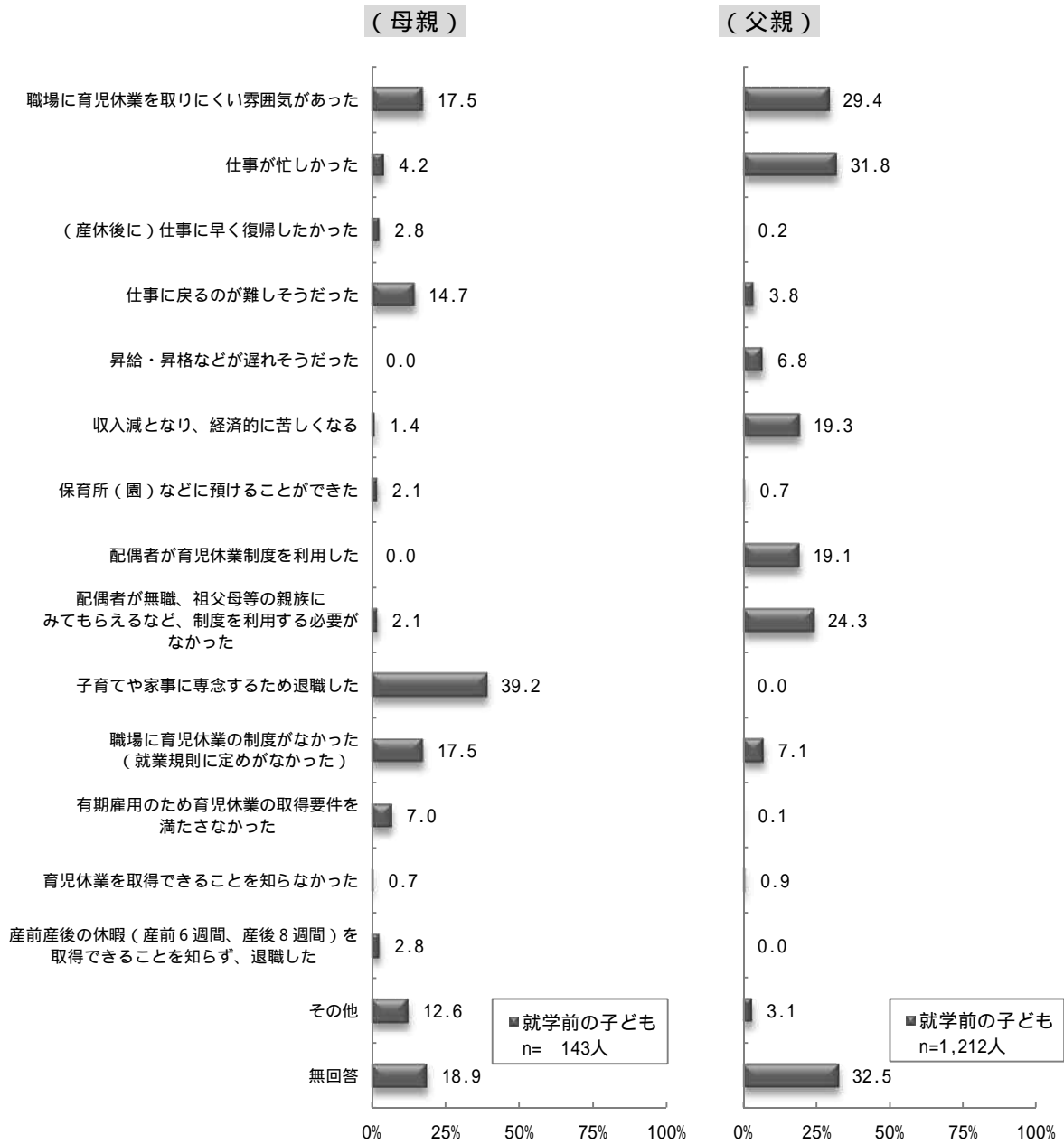
1 育児休業制度の利用状況

育児休業制度の利用状況をみると、母親は「取得した(取得中である)」(32.9%)に対して、父親は「取得した(取得中である)」(2.5%)となっています。

また、育児休業を利用しない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(39.2%)、「職場に育児休業の制度がなかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(各17.5%)の順に多く、一方父親は、「仕事が忙しかった」(31.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気だった」(29.4%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(24.3%)など、母親の理由との違いが見られます。

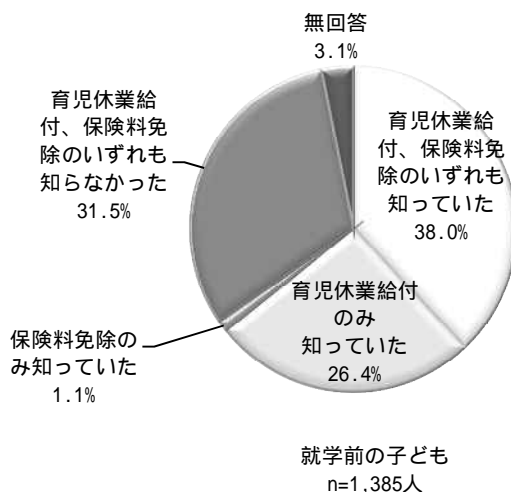


問 32.3 育児休業を利用しない理由 (MA)



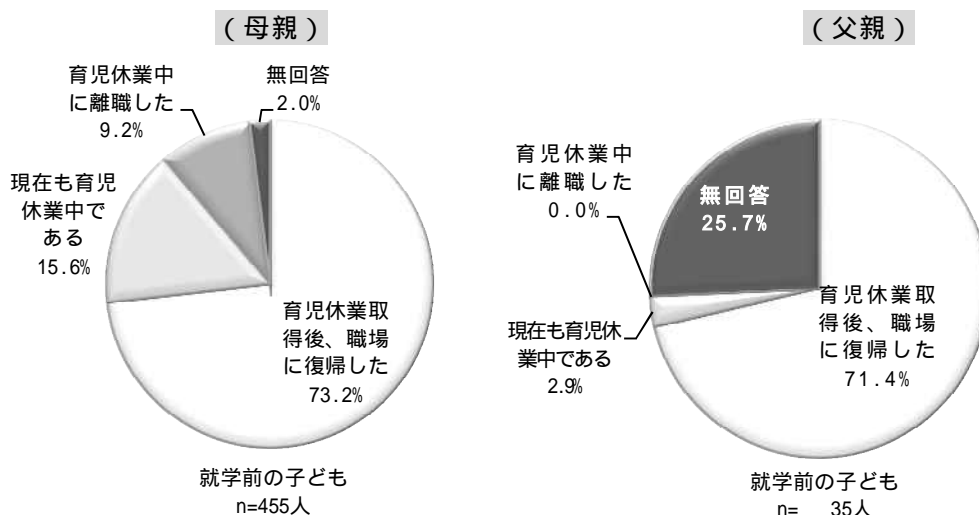
育児休業給付と社会保険料免除の仕組みの認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(38.0%)、「育児休業給付のみを知っていた」(26.4%)、「保険料免除のみを知っていた」(1.1%)となっている一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(31.5%)という回答も多い状況です。

問 32-1 育児休業給付の支給と社会保険料免除の仕組みを知っている



育児休業取得後の対処をみると、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」(73.2%)、「現在も育児休業中である」(15.6%)、「育児休業中に離職した」(9.2%)となっています。一方父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」(71.4%)、「現在も育児休業中である」(2.9%)となっており、「育児休業中に離職した」方はいませんでした。

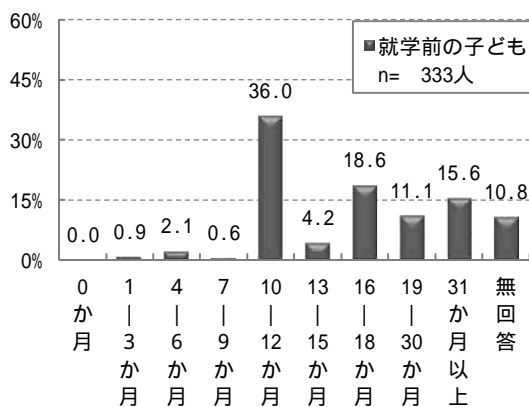
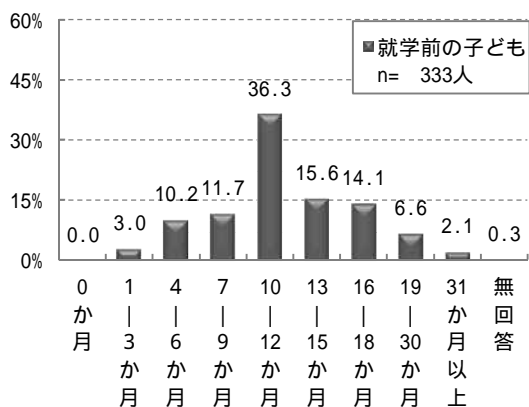
問 32-2 育児休業後の対処



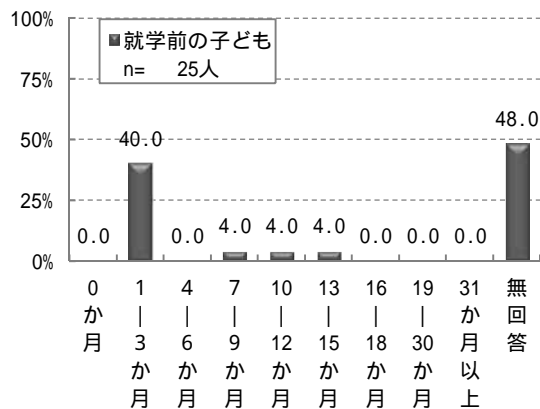
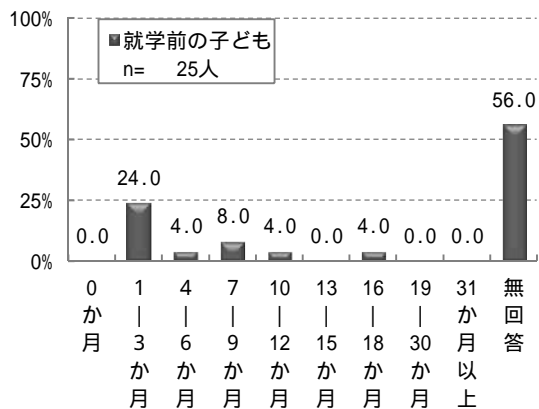
育児休業から復帰したときの子どもの実年齢をみると、母親は「10 12 か月」(36.3%)が最も多く、希望する月齢でも「10 12 か月」(36.0%)が最も多くなっています。また、「16-18 か月」(18.6%)、「19-30 か月」(11.1%)、「31 か月以上」(15.6%)が増加しています。

一方、父親は「1 3 か月」(24.0%)が最も多く、希望する月齢でも「1 3 か月」(40.0%)が最も多くなっています。

問 32-3 育児休業から復帰したときの子どもの実年齢と希望月齢（母親）



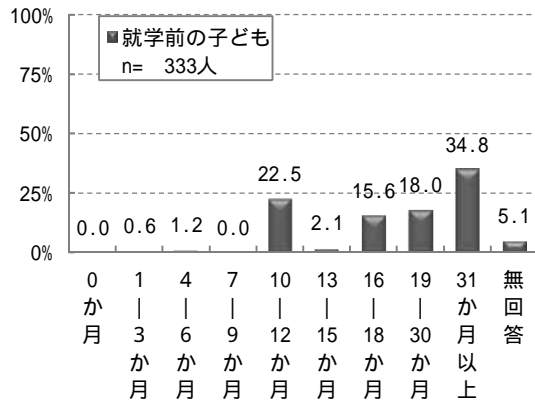
問 32-3 育児休業から復帰したときの子どもの実年齢と希望月齢（父親）



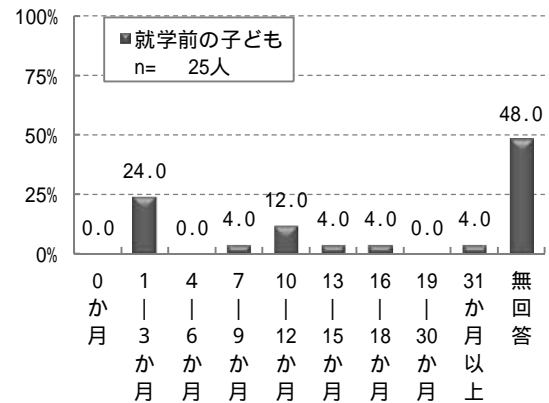
3歳までの育児休業制度があった場合の子どもの希望月齢について、母親は「31か月以上」(34.8%)が最も多く、父親は「1-3か月」(24.0%)が最も多くなっています。

問 32-4 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望月齢

(母親)



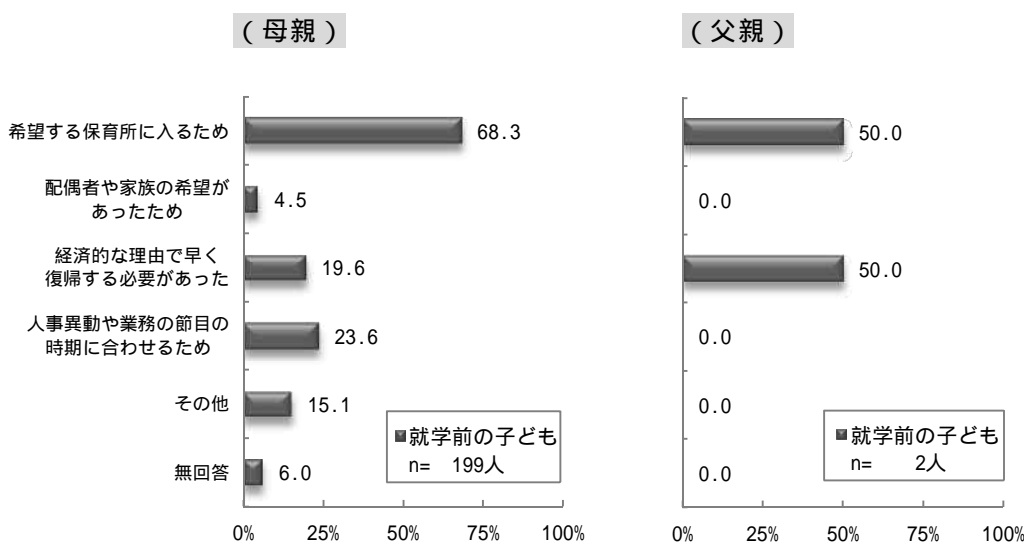
(父親)



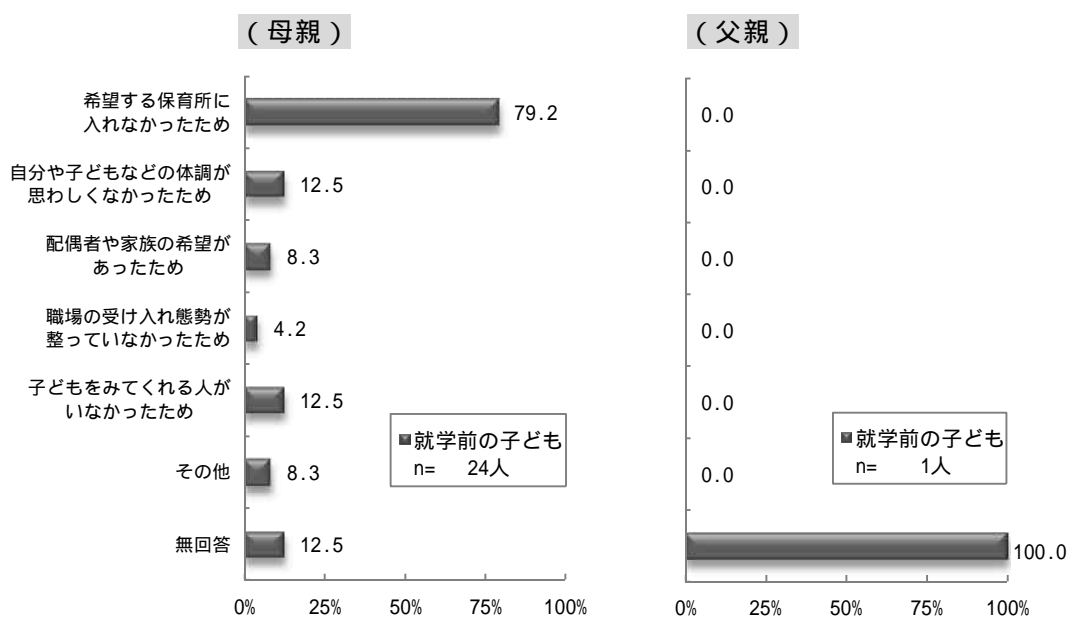
育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入るため」(68.3%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(23.6%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(19.6%)の順に多くなっています。父親は、「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(各50.0%)など、母親と同様の理由をあげています。

一方、育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入れなかったため」(79.2%)が最も多く、父親の回答はありませんでした。

問 32-5(1) 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由 (MA)



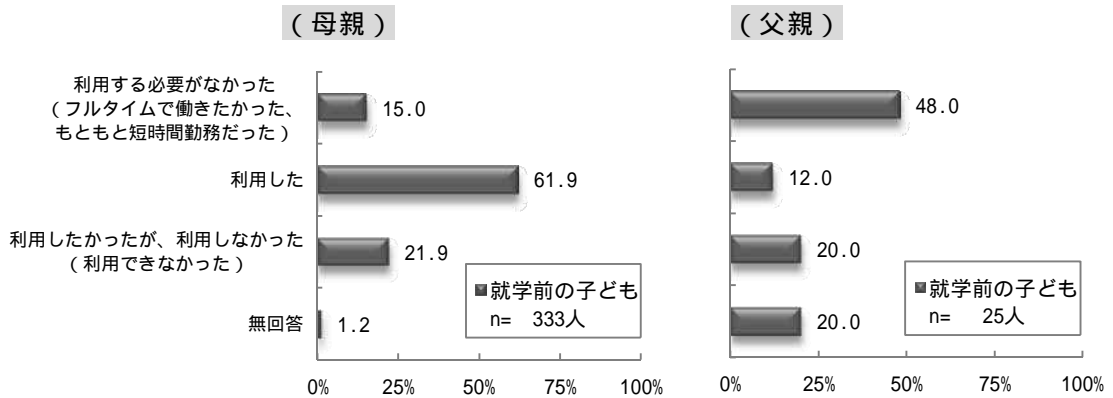
問 32-5(2) 育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由 (MA)



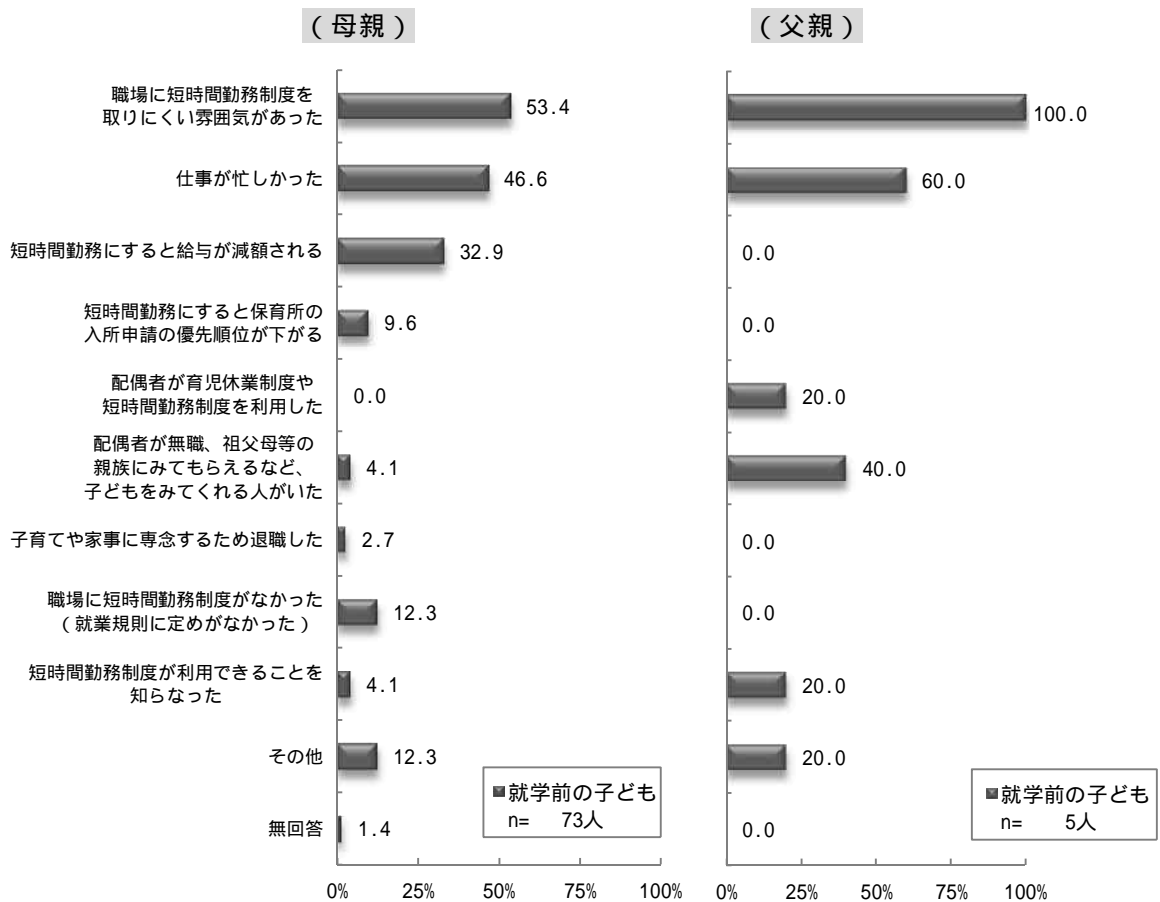
職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、母親は61.9%の利用に対して、父親は12.0%の利用と少数となっています。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由をみると、母親父親共に「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(母親53.4%、父親100.0%)、「仕事が忙しかった」(母親46.6%、父親60.0%)が多くなっています。

問 32-6 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況

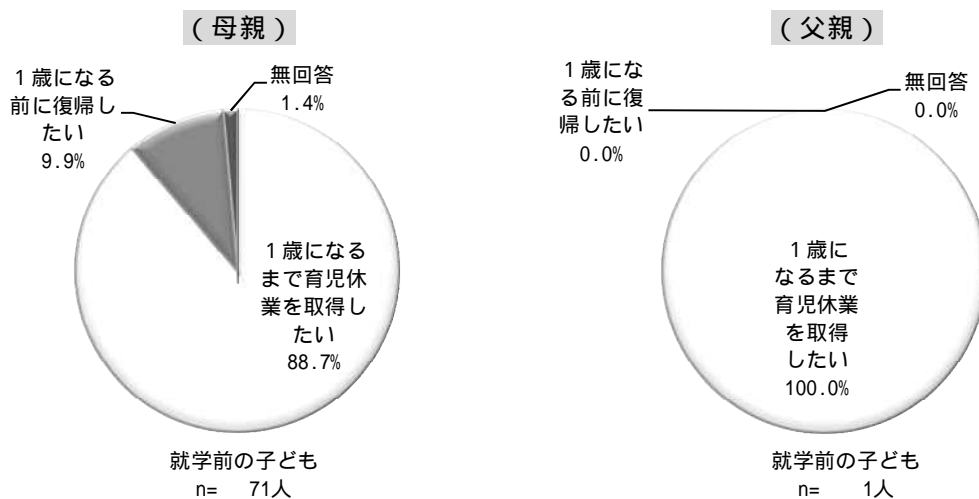


問 32-7 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由(MA)



1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が8割以上を占め、父親も少数ながら母親と同じ回答となっています。

問 32-8 1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望



第 5 章

地域の子育て支援の 環境や支援への満足度

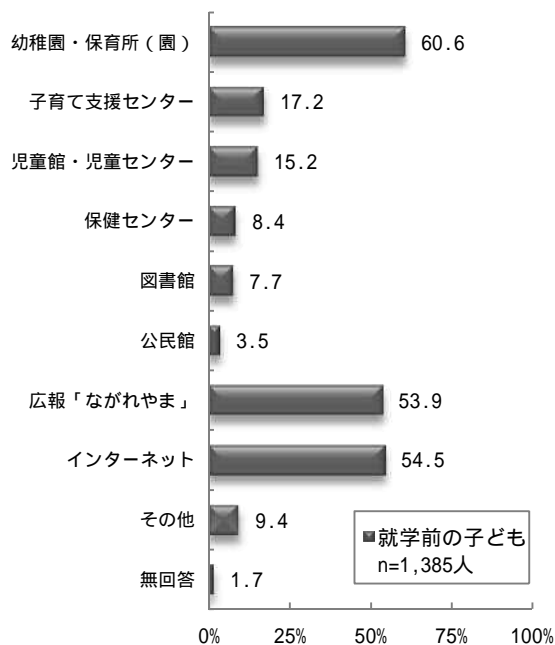
第5章 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

1 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

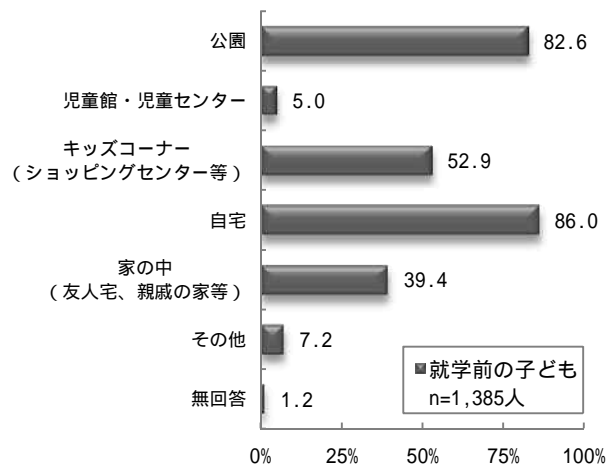
子育てに関する情報の入手先・方法は、「幼稚園・保育所（園）」（60.6%）が最も多く、次いで「インターネット」（54.5%）、「広報ながれやま」（53.9%）となっています。

休日などの親子での遊び場では、「自宅」「公園」がともに8割を超え、多くなっています。

問33 子育てに関する情報の入手先・方法(MA)



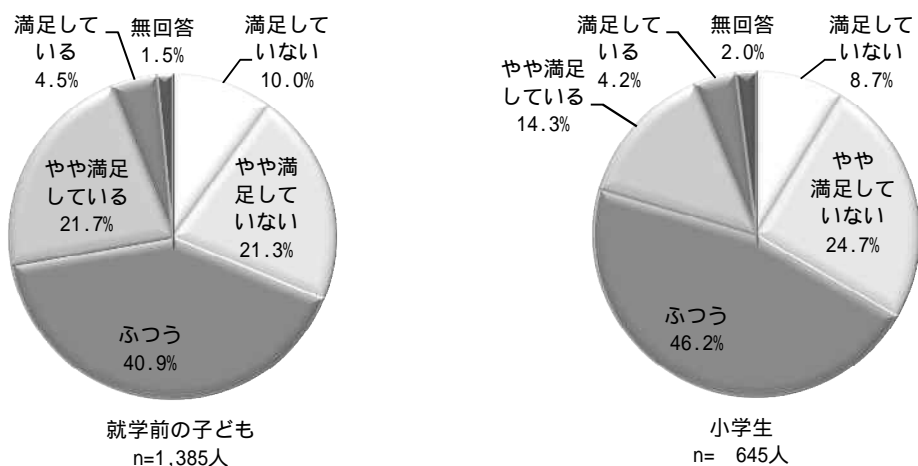
問34 休日など親子での遊び場(MA)



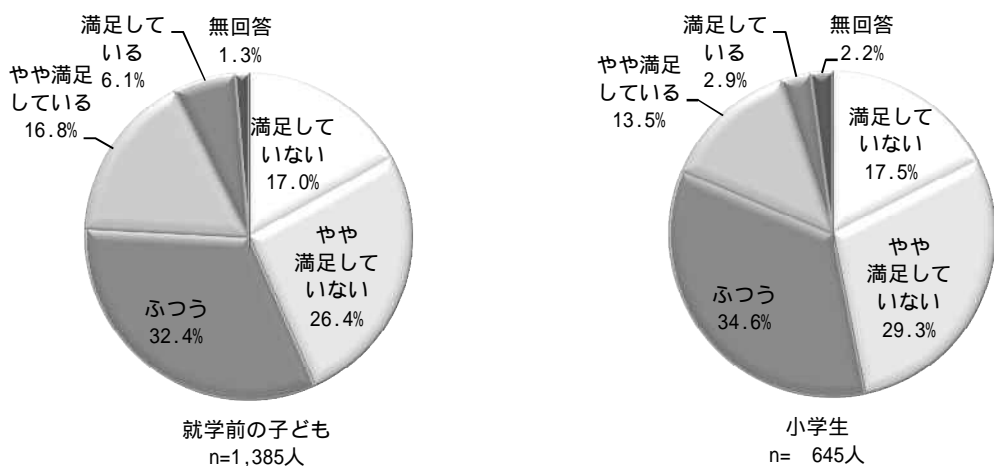
地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度について、就学前の子どもでは「満足」と「やや満足」の計が26.2%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が31.3%で後者が5.1%上回っています。また、小学生でも「満足」と「やや満足」の計が18.5%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が33.4%で後者が14.9%上回っています。

地域の医療機関等の設備・環境への満足度について、就学前の子どもでは「満足」と「やや満足」の計が22.9%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が43.4%で後者が20.5%上回っています。また、小学生でも「満足」と「やや満足」の計が16.4%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が46.8%で後者が30.4%上回っています。

問 35[問 25](1) 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況



問 35[問 25](2) 地域の医療機関等の設備・環境への満足度の状況

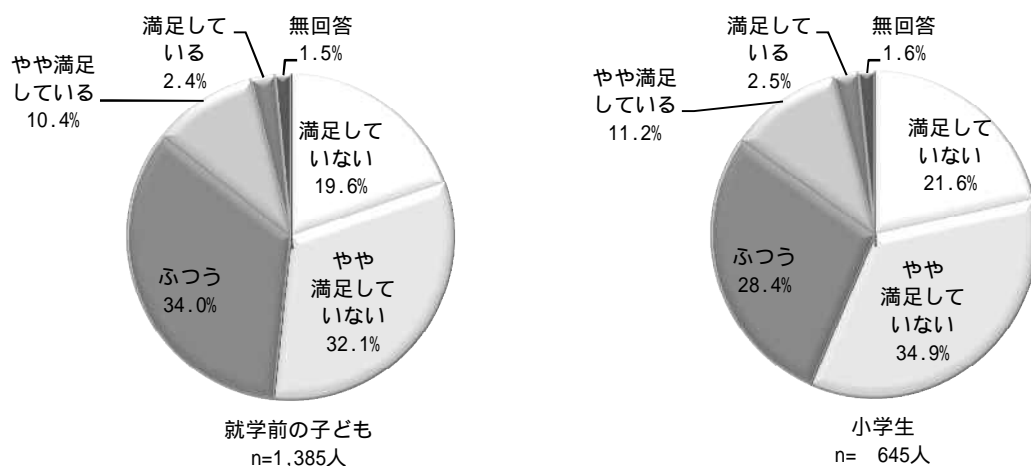


地域の子どもの遊べる施設等の設備・環境への満足度について、就学前の子どもでは「満足」と「やや満足」の計が12.8%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が51.7%で後者が38.9%上回っています。また、小学生でも「満足」と「やや満足」の計が13.7%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が56.5%で後者が42.8%上回っています。

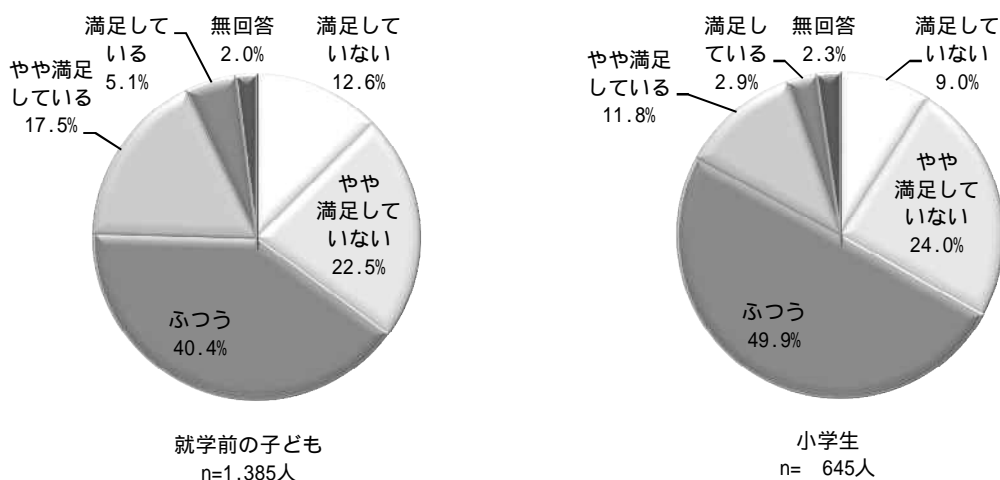
地域の教育・保育施設等の設備・環境への満足度について、就学前の子どもでは「満足」と「やや満足」の計が22.6%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が35.1%で後者が12.5%上回っています。

小学生でも「満足」と「やや満足」の計が14.7%、「やや満足していない」と「満足していない」の計が33.0%で後者が18.3%上回っています。

問 35[問 25](3) 地域の子どもの遊べる施設等の設備・環境への満足度の状況



問 35[問 25](4) 地域の教育・保育施設の設備・環境への満足度の状況

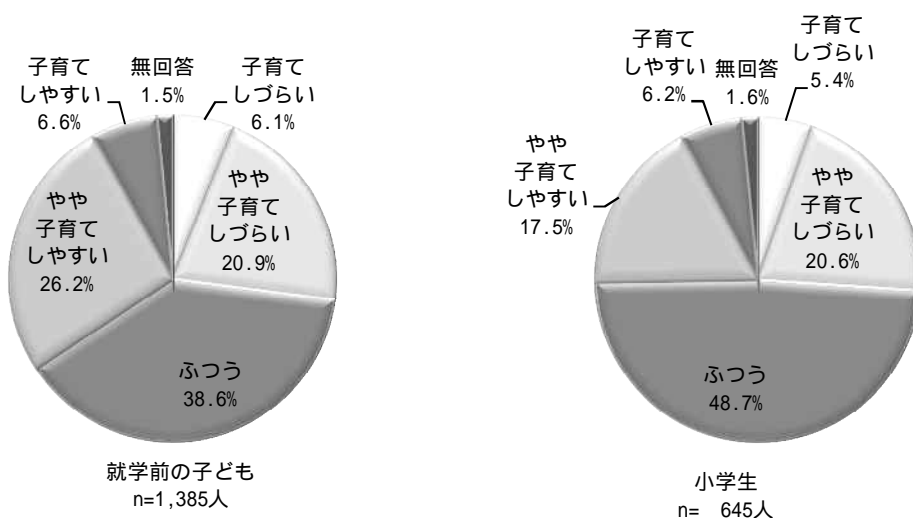


子育てしやすい街だと思いますかについては、「子育てしやすい」「やや子育てしやすい」を合わせると就学前の子ども（32.8%）、小学生（23.7%）、「子育てしづらい」「やや子育てしづらい」を合わせると就学前の子ども（27.0%）、小学生（26.0%）となっています。

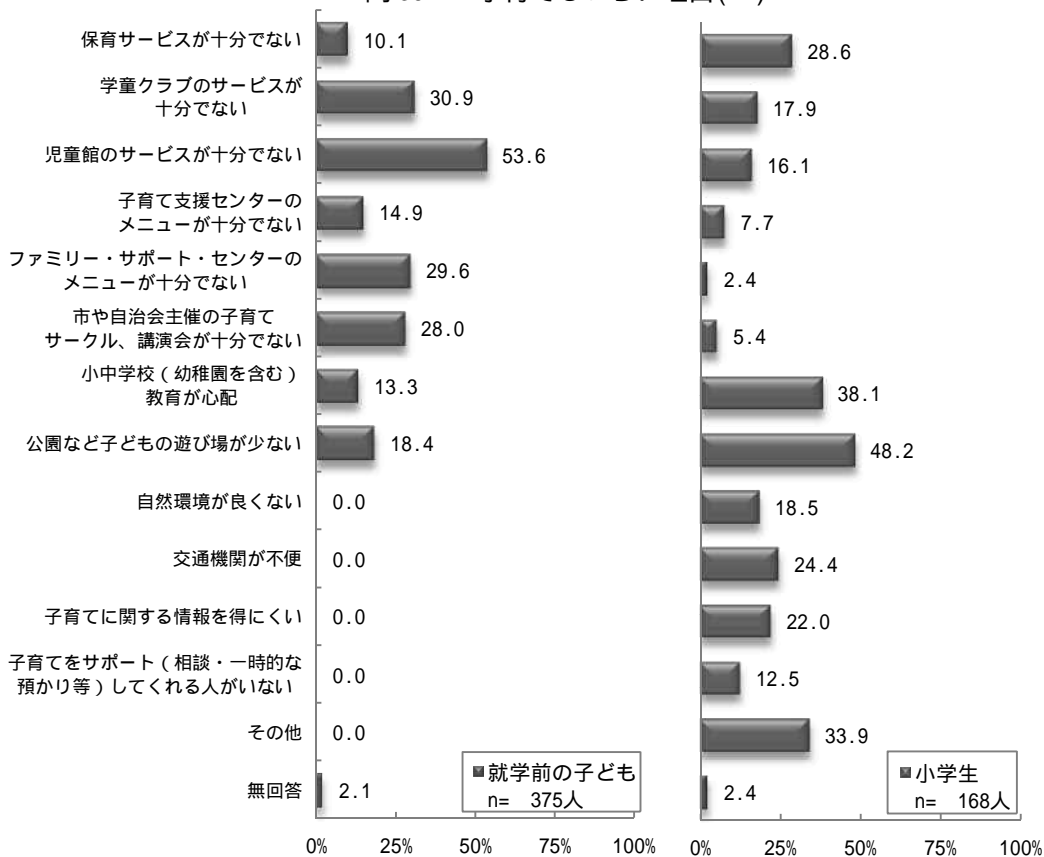
子育てしづらい理由は、就学前の子どもは「児童館のサービスが十分でない」（53.6%）、小学生は「公園など子どもの遊び場が少ない」（48.2%）が最も多くなっています。

子育てしやすい理由は、「自然環境が良い」（就学前の子ども 59.9%、小学生 52.3%）が最も多くなっており、次いで、就学前の子どもでは「公園など子どもの遊び場が多い」（40.7%）、小学生では「小中学校（幼稚園を含む）の教育が安心」（45.1%）が多くなっています。

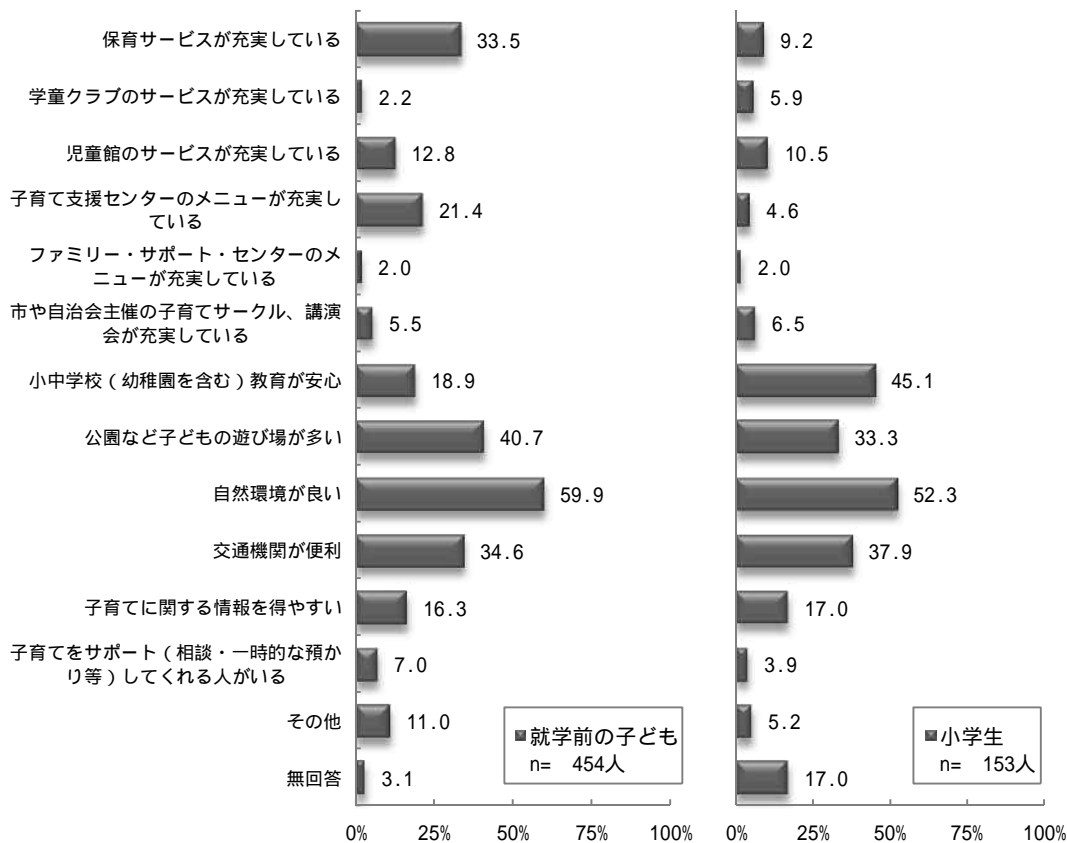
問 36[問 26] 子育てしやすい街だと思いますか



問 36-1 子育てしづらい理由(MA)



問 36-2 子育てしやすい理由(MA)



第 6 章

自由記述

第6章 自由記述

1 就学前の子ども

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、今までに困ったことはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

- ・ 急な病気（親のどちらか、兄弟）になった時に、一時的に預けられる施設（24時間、日祝も預けられる）があるとありがたい。
- ・ 流山市の行政はとても遠く感じ、母親の心に寄り添うことが薄いことに寂しさを感じました。相談した時、もっと親身になって対応してほしいです。近くに親族も友達もままならない私にとっては、少々辛い環境です。
- ・ 将来的に幼稚園に通うことになるのでWebだけでなく、広報で毎回どのような所なのか知れるとありがたい。
- ・ 休日（日曜、祝日）も預かってもらえる場所の増加。病児・病後児保育ができる場所の増加。
- ・ 最初は何が不安なのか分からない位不安。その不安を言葉にするのも難しい。同じ月齢・年齢の保育者同士、雑談のような形でも良いので集まれば、と思います。又、祖父母の年齢位の方等、違う世代の方とも交流できたらと思います。
- ・ 周辺で交通事故が多く、子供の通園、通学のことを考えると心配。信号や歩道の整備をしっかりと欲したい。
- ・ 下の子達の出産時の、上の子の幼稚園、習い事の送迎サービス。
- ・ パートタイムでも一時保育ではなく、保育所に入所・入園できるようにしてほしい。料金が高く、毎回予約がとれるか否か不安だし、毎日行き帰りの荷物が多く、ロッカーもないので大変（特に雨の日）。
- ・ 近所の病院をリサーチできるサイトがあれば良いと思う。具体的にこのような病院で、こういう人が利用すると良いなどコメントが欲しい。
- ・ 父親向けの育児と家事の両立に役立つ情報提供があると良いと思う。また、育児と家事を分担して、地域社会でも活躍している男性の事例をロールモデルとして教えてもらえるようなイベントがあれば、ぜひ参加してみたい。
- ・ 最初の子の時は、何もわからないので、ガイドブックみたいなものがあるといい。
- ・ 子育ての知恵を気軽に教えてもらえる人がいると助かる。南部の方では催し等が多く開催されているが、北部地域にはほとんどなく、児童館の幼児サークルぐらいいしかなかったので1人目2人目の時は非常に孤立感があり、子育てしづらかった。今は南部に足を伸ばせるので遠征できるが、本当は身近にそういう仲間がほしい。
- ・ 病児保育、保育ママ、ファミリーサポート等、どうしたらそのサービスを受けら

れるのか、HP掲載等で情報展開してほしい。

- ・ 子供の悩み（成長など）は保育園に相談できるが、親の悩み（子育てについて、例えばイライラするとか、辛い気持ち）は相談する人がいない。
- ・ 予防接種をうけるのに、スケジュールを立てる相談相手がない。
- ・ 子育て支援センターの予約がいっぱいで取りにくい。
- ・ 土日祝日に親子で遊べる教室の開催。
- ・ 駅などにエレベーターがない所では（階段）ベビーカーと子供を持たないといけないので、荷物が多い時には行くのをあきらめてしまう。

問 18-1 「子育て支援センター」等の地域子育て支援拠点事業について新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由はなんですか。ご自由にご記入ください

- ・ 場所が遠い場合が多いので、1人で子供を連れて、そこへ行くのが難しい為。
- ・ 現在の保育園で十分な幼児教育がなされており、また親同士のつながりがあるため、何かあれば相談できるため。又、平日は利用できないし、休日(土、日、祝)は子供と遊ぶ事や習い事をするのに時間を使っている。必要性を感じない。
- ・ 利用する回数を増やすことで、精神的負担が大きくなりそうなので、今のペースで十分かと思っています。
- ・ 自営業のため、ほぼ毎日父、祖父母がいっしょにいるため、子育て支援センター等は祖母に行ってもらっているためです。
- ・ 子育て支援センターなのに部屋の中でオムツ替えや授乳できないのはナンセンス(十太夫福祉会館)。下の子が産まれてから行きづらくなりました。
- ・ 集まって過ごすことにあまり意義を感じない。近所の公園で遊ばせれば充分。相談したい時は電話相談が話しやすく、気軽にできる。
- ・ 現在就労中のため、土・日(もしくは日)のみの休日となり、できるだけ家族で過ごしたい。
- ・ 利便性も悪く、車が乗れないのにわざわざ行く理由も時間もない。
- ・ トイレなど子供が使用するのに和式なので不便。おもちゃなどが古いものが多く、新しいものが増えてない。
- ・ 利用時間が平日09:00~17:00などなら利用できない。土・日や夕方~夜間などに、保育・医療などを相談可能な施設ならば利用したい。
- ・ 平日は仕事の為利用できない。土日にそういう場があれば利用を考える。産休中に子育て支援センターにTELした事があるが、忙しいのかぶっきらぼうな対応と、違うセンターのTELを教えられたらい回しにされ、利用したくないと思った。
- ・ 習い事で幼稚園後の自由時間が少ないし、子供だけで行くには若干遠いです。各小学校に自由に使えるような場所があれば、利用させたい。また、そういう所で習い事や塾のような講座ができれば、通わせたい。
- ・ 市内のバスの利便性が良ならない限り、利用したくても利用できません。虫歯予防教室などはもっと年齢を上げて一人一人しっかり指導して行ってほしいです。
- ・

問 28-1 流山市内で放課後子ども教室を開設するとしたら、どのような内容を望みますか。ご自由にご記入ください

- ・ 学校の宿題をみてくれる。友達と楽しく遊べる。子供の相談にのってもらえる。
- ・ ルールのある集団遊びをおこなう日や工作、絵画等、1人でじっくり取り組む(技術も教えていただきながら)日など、好きなことを楽しみながら学べる時間になると嬉しいです。
- ・ 家庭では体験させてあげられないような自然体験や体をしっかりと動かすスポーツや遊び、地域の高齢者の方々から教わる昔の遊びなど子供が楽しく健康でいられるような内容であれば嬉しいです。時間としては18~19時までであると助かります。
- ・ 英語、学研、くもん、サッカー、体操等、放課後、そのまま小学校で民間の会社が入り、教室を行って欲しい。
- ・ 一度自宅に戻らなくても、そのまま放課後利用できると良いです。家から小学校まで遠いので。
- ・ トランプ・カルタ・オセロ等の相手、ボランティア活動、外遊びの相手、特技を教えてもらう(裁縫、編物、サッカー、ダンス等)、手紙の書き方、テーブルマナー等一般常識。
- ・ 校庭を開放してほしい。自由遊びやスポーツ等、体を動かすことができると良いなと思います。
- ・ 送迎あり、料金が安い(1h ¥500くらい)学年ごとにまとめ、日によって公園やスイミング、室内遊びなどをみてもらえる所。
- ・ 宿題などの勉強を見てくれるのはもちろん必要ですが、お友達や年の違う子達をみんなで力を合わせて取り組めるような事(一緒におやつのような簡単なお料理をするとか、工作で共同作業をするなど)。
- ・

問 33-1 流山市の子育てに関する情報について、ご意見・ご要望があれば
ご記入ください

- ・ 子育てに関するイベントなどをメールマガジン等で知らせてくれると参加しやすい。
- ・ 流山市開催の子育てに関する講演やイベントなど、情報をいまいちキャッチできず、参加できていない。もっと目に入る様、発信して欲しい。
- ・ 市のHPから、月ごとの全子育て支援センターの予定表がダウンロードできるようになり、助かっています。が、もう少し早めに翌月の予定表がダウンロードできるようになったら、有り難いです。
- ・ 保育を充実させているのは分かるが、その後の文化的な教養、習い事を受ける塾が不足している。学習塾などももっと増やして学力的にボトムアップする制度が欲しい。
- ・ 教員退職者によるボランティアの勉強指導場。各幼稚園、保育園、小中校の特色等を父母による生の声を集めて、比較検討できるといい。
- ・ 現在保育園に通っており、最大19時まで預ってもらえるが、小学校にあがったときの学童ではどうなのかよくわかりません。実際に学童を利用している方の声など、もっと詳しい情報が欲しいです。
- ・ 広報「ながれやま」は新聞折り込みではなく、全家庭に配布希望。
- ・ 双子なので双子の子育ての仕方について、もっと詳しく知りたいので、そういう情報があれば、うれしいです。
- ・ 保育園や幼稚園の申込み方法など、総体的な流れがわかりやすいものがほしい。
- ・ 利用料金、時間、空き情報等、各担当部署へ連絡して下さいではなく、具体的にのせてほしい。
- ・ 母子手帳交付の際や、出産後の訪問の際に、子育てサービス(親子サロンやもぐもぐ教室)の日程のプリントなどを配ってほしい。
- ・ 広報で子育て情報のページをわかりやすくしてほしい。
- ・ フェイスブックの活用。広報「ながれやま」の充実。
- ・ 地区の掲示板等にも貼っていただき、色々情報も見やすく得られやすくしてほしい。
- ・ 障害のある子に必要な支援・情報を市のほうから積極的に提供してほしい。すべて家庭から行動しないと得られないのは、どんな内容があるか把握しづらいため。
- ・ 市のホームページで保育所(園)などの空き情報を公開して欲しい。
- ・ 私立のものは独自でHPがあり、雰囲気や特長が分かるが、公立の施設については、住所と電話番号しか分からない。それが非常に不便です(流山市のHPについてです)。
- ・ 引越してきた際、情報を集めるのが大変だった。子育てに関して、詳しく書かれた冊子のようなものがあったら良かった。

- ・ 例えば「子育てネット」みたいに市内の情報がまとまって載っているサイト等もっとわかり易くあると良いと思います（利用者の口コミ付きのものの希望）。

問 34-1 休日など、親子で遊ぶ場所について、ご意見・ご要望があればご自由にご記入ください。

- ・ 公園が近場がないのでふやしてほしい。
- ・ 市内の公園にトイレがない。ゴミバコもない不便ですね。
- ・ 児童公園が非常に少ない（現在） 早期に整備してほしい。
- ・ 遊具のある公園が少ないです！
- ・ 住宅ばかり（特にマンション）が増えて公園が少ない。広くて遊具や自由に走ったりボール遊びのできるグラウンドのある公園や、雨の日でも遊べる屋内の広い遊び場が欲しいです（児童センターなど以外の施設で）。
- ・ 今、動物園や水族園は他の市へ行っているのですが、流山市内にもそういった場所があると、うれしいです。
- ・ アメイジングワールドのような室内の遊び場が、有料でもよいので欲しいです。
- ・ 日曜日にもたまに児童センターがやっていたらうれしい。
- ・ 公園にボール遊びが出来る場所が少なすぎる。フェンスでおおうなどして改善してほしい。
- ・ 無料で開放している休日の施設がなさすぎる。また午前中のみ10:00～12:00などだと、連れていってもすぐ昼のため帰らなくてはならないので、昼を施設内でたべられるとかになっていると助かる。スタッフが常駐していると助かる。
- ・ 公園の除染の徹底をお願いします。
- ・ 木、森をテーマにした場所を作ってほしい（プレーパーク）。
- ・ 公園の水道で犬に水を飲ませる飼主を見かけた。注意することを願いたい。また、犬と人間用の2つに分ける等、検討も必要かと思う。
- ・ 雨の時に遊ぶ場所が無い。博物館しかない（美術館、遊園地、動物園などない）水遊びができる公園がない。キャンプやBBQがOKの公園や河川敷にスペースがほしい。
- ・ 柏市にはグラウンドに芝生が有るグラウンドがあり、ラグビーやサッカーなど思いきりできるが、流山市も作ってほしい。
- ・ 学校の校庭を開放してほしい。放課後も遊ぶ場所が少なすぎる。
- ・ 公園の放射線が気になるので、今後も必要時対応してほしい。
- ・

問 35 (2) 流山市の医療機関等の設備・環境についてご意見・ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

- ・ 健診・予防接種を受けられる医療機関が少ない。予約がいっぱい。
- ・ 松戸市にある夜間小児科センターの様な専門病院が欲しいと思っています(当番制で診てくれる病院があるのはいいのですが、今日はどこだと調べるのがめんどう)。
- ・ 土・日祝日が休日対応となるので不便です。
- ・ 行ってすぐに見てくれる病院が少ないです。歯医者 1 週間まち、注射 3 週間まち。風邪で行っても 2 時間まち。
- ・ 産婦人科が少なく、えらべない。まず、少ないので、他の市での出産を考えざるをえなかった。安心して出産できるようにして欲しい。
- ・ 個人病院(特に小児科・内科など)で新しいところがもう少し増えて欲しい。信頼できる病院(かかりつけ)が近くになく、電車で行っているの。
- ・ 小児科が水曜日ほぼ全て休みになっていて、大変不便です。また、予約もとりにくいです。土曜日午後が休みなのも不便です。
- ・ 朝早く、もしくは夜遅くまで診療している病院があると助かる。
- ・ 予防接種が高い(指定以外の)。
- ・ 小児科の充実、土日診療、夜間の病院を増やして。
- ・ 皮膚科、耳鼻科が少ない。
- ・ 小児科、特に夜間・休日みてもらえる所を増やしてほしい。
- ・ 夜間の病院が本当にダメ！小児科にかかりたいのに内科の人が診て、とてもきとうに答えられてしまい、咽頭炎をおこしてしまった。
- ・ これだけ人口をどんどん集めているのに、医療機関の数が少ないと思います。
- ・ 医療費などもっと実際に安いところがあるため。
- ・ 休日診療を利用した際の医者態度があまり良くなく、その後利用していない。
- ・ 3 か月健診など、受診できる病院に限られていて、すごく不便。
- ・ 小児科、耳鼻科、皮膚科どこも混んでいる。
- ・ 乳児・幼児連れだと病院によっては、我慢しないとトイレに行けない。ベビーカーは入れられなくても、オムツ替えシートと子供置きイスを設置して欲しい。

問 35 (3) 流山市の子どもの遊べる施設等 (公園・児童館・プール等) の設備・環境についてご意見・ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

- ・ 公園、児童館、どちらも少なく感じている。
- ・ 室内温水プールを一年を通じて利用できる場所がほしい。公園に複合遊具を導入してほしい。
- ・ 子育てする家族に優しい街というようなフレーズで流山市での生活を選んだはずが、遊べる施設はあまりない、増える気配もないという印象です。
- ・ 水辺のある公園を増やしてほしい。
- ・ 子どもだけで安心・安全に行ける公園が少ない (道路等危ない) 。
- ・ 費用の安いプールを増やして欲しい。
- ・ 流れるプールなどが市内にない。子どもの学区内に児童館がなく、行けない。
- ・ 駐車場が少ない施設が多い。
- ・ 老朽化が目立つ。
- ・ おおたかの森は遊具のある公園が少なすぎ。ボールあそびはほぼ N G。子供たちはなげいています！
- ・ 駅前などに、平日いつでも行って子供を自由に遊ばせる広い室内の施設があればよいと思います (東松戸にあるような施設) 。
- ・ 三郷市にある中央公園のような、清潔で新しい、気持ちのよい公園があったらいいと思います。
- ・ 値上げして良いので使いやすいプールが必要。設備、規模、利用期間、温水など大人は更に高くアкваビクスなどのサービスもあつたら維持できるのでは。
- ・ 屋内で遊べる施設が少ない。
- ・ お弁当を持って、1日遊べるような施設がない。
- ・ プールや、かえる公園のような公園がふえるといいと思います。

問 35(4) 流山市の教育・保育施設の設備・環境についてご意見・ご要望
 がありましたらご自由にご記入ください。

- ・ 他の市に比べて幼稚園が少ないと思います。
- ・ 園庭のある保育園がほしい。
- ・ 私立幼稚園が近くになく、柏市の私立幼稚園に通わせている。保育料が高い！
- ・ 19～20時頃まで開いている保育園、又はステーションを増やしてほしい。わざわざ自宅から離れた園へ預けることになり、時間が余分にとられている。
- ・ 送迎ステーションの利用料をもっと安くしてほしい。
- ・ 近くの保育所は定員で一杯一杯なので、来年在が不安です(年度の途中から預ける予定です)。
- ・ 待機児童が多すぎる、働きたくても働けない。
- ・ 進学校・進学塾等、競争性の高い学校が少ない。より充実させてほしいと思います。
- ・ 支援学校が高校しかない。小学校・中学校はなぜないんですか？
- ・ 「子育てするなら～」のキャッチコピーにより人口が急激に増えている為、保育園の数が足りない。
- ・ 土曜保育を利用していますが、11：30～料金がかかる、給食が出ない。
- ・ 病児保育の施設を作ってほしい。
- ・ 小学校や中学校が少ない。線路や交通量の多い道なのに、通学路にガードレールがなかったり、道幅が狭かったり。
- ・ 小学校のトイレを洋式にしてほしい。
- ・ 希望した園に入園できない。希望を取る意味が無い。
- ・ いい幼稚園を増やすべき。少人数の質の良い教育ができるトコロ。
- ・ 現在子供が通っている園には園庭がありません。市の支援等で園庭、もしくは近くに子供達が優先して使える公園などを整えて頂けると幸いです。
- ・ 休日保育のある園に入所したが実質休日保育を行っていない。平日以外の預かり時間も夜遅くまで行っていないのでフルタイムで今後働けなく、いずれ仕事をやめるか引越すしかない。
- ・ 市立幼稚園の保育料が高い。助成金が少ない。
- ・ 学童だけでは学校の授業についていけないか不安の為、民間のサービスを利用している。学童でもきちんと勉強をみてくれたらと思います。
- ・ 公立幼稚園が少ない。3年保育でない。私立に行く場合の補助の所得制限をなくすか上げてほしい。
- ・ 一時保育料が高い。図書館がおおたかの森にない。受け取りだけでもできるとうれしいです。

問 37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見
がございましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 生活環境の整備

- ・ 住民が増加しているので、子どもが自由に遊べる公園を増やし、定期的にメンテナンス、清掃をし、子どものけがのリスクを少ないように保ってほしい。
- ・ 公園・温水プール・図書館などの施設を現状より充実させてほしい。
- ・ 流山市は昔から住んでいる人と新しい人が混合して住んでいる街なので汚かったり古い建物も多い。若い人はなかなかそういう所へは寄り付かないので、建てなおしたり公園などは広くきれいにし、若い世代の人からお年寄りまで皆気持ちよく使えるように変えてほしい。
- ・ 雨の日や土日祝日も遊べるような室内の遊び場を増やしてほしいです。
- ・ 転入者への、子育て支援情報(病院、保育サービス、児童館、支援センターなど)の広報が足りていないと感じます。冊子を渡すだけではなく、住まいの近隣施設や親の状況(就労の有無)にあわせて10分でもいいのでお話ししてもらえたら助かると思います。

(2) 教育・保育の充実

- ・ 土日出勤やGW、年末年始に仕事をしなければならない親も多いと思うので、休日保育できる施設を増やしてほしい。
- ・ 一時預かりの料金をもう少し安くしてもらえると利用しやすくなります。
- ・ 現在、保育所をたくさん作っていますが、その子どもたちが小学校にあがる頃には、学童がいっぱいになってしまうので、学童の整備に力を入れてほしい。また幼稚園も足りていません。
- ・ 学童保育の時間の延長、また小学校6年生まで利用できるようにしてほしい。
- ・ 劇や音楽などの(子供向け)芸術鑑賞の機会を増やしてほしい。

(3) 地域における子育て支援

- ・ 月に1回程度、保健師さん参加の子育てサロンがあるといいなと思います。
- ・ パパの子育て参加を応援・支援する施策を行ってほしい。(土日開催)
- ・ 働いている方のサポートは充実してきているように思いますが、働いていない方へのサポートも充実させてほしい。
- ・ 子育て支援センターの内容(行事日程など)をネット・広報だけでなく、駅やショッピングセンターなどでもお知らせしてもらえると嬉しい。
- ・ 送迎ステーション事業は素晴らしいと思います。これからも是非続けてください。

- ・ 同世代が助け合うファミリーサポートに加え、退職者や年金受給者が子どもの面倒をみるサービスがあってもよいかと思います。

(4) 学校教育環境の整備

- ・ 幼稚園卒と保育園卒で教育に差が出るのではないかと考えてしまいます。保育園でもある程度教育に力を入れてほしい。
- ・ 小学校では学習しなければならないことが増えているにもかかわらず、自習時間が増えているように思う。副担任をおくなどして対応してほしい。
- ・ 小学校の設備の差が気になります。小山小や今後建設予定の小・中一貫校には最新の設備や冷房設備が完備であるのに対し、扇風機のない教室もある学校があります。住んでいる地域が違うというだけで受けられる恩恵があまりにも違うのではないのでしょうか。
- ・ 小学校に就学前の健診で行ったときにトイレのにおいが気になりました。改修工事など早急に行ってほしいと思いました。
- ・ 小学校や中学校の質のよい勉強・教育を考えてほしい。小学校・中学校で勉強が充実していれば塾などに通わず、遊ぶ時間をたくさん作ってあげられると考えています。ホームステイや外国人とのやりとりも市などが協力あっせんしてくれたらいいなと思います。

(5) 安全等の確保

- ・ 通学路の大通り(バス通り)沿いなどにガードレールを設置してほしい。縁石ではほぼ無意味です。
- ・ 公園近くの道路にガードレールや信号を設置してほしい。
- ・ 流山市は地域によって道の整備に差がありすぎです。最低限、車道と歩道の区別、歩行者の安全確保を整えてほしい。
- ・ 住宅街が多いので、子育てはしやすいのですが、比較的に市内の街灯が少ないと思います。日が落ちる時間が早い時期は、小学生の帰宅時等心配です。
- ・ 今度小学生になるのですが、子どもだけの登下校が心配です、突然、道路に飛び出しそうになることもしばしばで上級生の子との集団登下校や保護者の継続的なサポートの充実をお願いしたいです。

(6) 健康の確保及び増進

- ・ インフルエンザ、水ぼうそう、おたふくの予防接種も助成してもらいたい。
- ・ 医療費を中学生まで無料にして欲しい
- ・ 産婦人科を増やしてほしい。また、その後子どもを診てもらえる小児科も併設していると助かります。
- ・ 病児保育の拡充また施設を増やしてほしい。
- ・ 日曜日もやっている医療機関を増やしてほしい。

・

(7) 職場と家庭の両立

- ・ 育休中の保育期間が現状 1 年ですが、出産月によって差があるので改善してほしい。4～6 月中に出産すると翌 4 月には 1 歳に近いので保育園に預けやすいが、それ以降の出産になると低月齢の預けになるために育休を 1 年を超えて取得する人が多い。そうすると育休中の保育期間が切れてしまう。4 月以外の入園が可能な保育園を増やすか、育休中の保育期間を増やしてほしい。
- ・ 第 2 子以降の保育について、1 歳 6 か月までに復職しない場合、上の子が退園しなければならないという規則をなくしてほしい。3 歳まで育児休暇が取れるところが増えている中、この決まりはおかしいと思う。
- ・ 小学校以上になると共働き世帯には厳しい面が見受けられます。平日の当番等、父母会、PTA 活動は実質不可能となることが想像されるので、そのあたりの運用が改善されることを強く希望します。

・

(8) その他

- ・ 人口がどんどん増えていくのは良いですが、もっと行政が主体となって街づくりを計画主導してほしい。
- ・ 未来を担う子どもたちを国際的にみても立派に育てることを実現できなければ、この国にも明るい展望はないのではないかと考えています。子ども達がより良く成長できる場を増やして頂けたらと希望します。(遊べる「森」、遊べる「田んぼ」、「火の使える公園」など) 個人ではできない「遊び」を支援してください。週末に他県から遊びに来てくれるような、また転居してきてくるような、そんな子育ての街になれる材料が流山には揃っていると思います。

2 小学生

問 10 子育て（教育を含む）をする上で、今までに困ったことはありますか。また、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

- ・ 体調不良などで職場に学校や保育園から連絡があっても、すぐに仕事をぬけられるわけではないので、何度も困った事があります。一時的にでも、引き取って見てくれるサポートがあると助かります。
- ・ 現在住んでいる学区には児童館がありません。（流山北小学区）以前住んでいた地域（野々下）には児童館があり、小さいころからよく利用していたし、小学生も安心して遊べる場だと思うので、全ての学区にあると良いと思う。
- ・ 近所に、緊急時に子供を預かってくれる先がない。一時的に子供を預かってくれる場所（先）を提供してほしい。（東日本大震災等の震災時、子供が病気の時、学級閉鎖の時等）
- ・ 3歳児健診が平日2日間しかなくて連れていけない。シングルマザーなので、仕事を簡単には休めない。もっと行きやすく、健診日を増やしてほしい。
- ・ 学童クラブの定員が少なく入れない
- ・ 夏休みなど長期休暇の際に、学校などで、学童クラブ以外に、学んだり、遊んだりできる所があるといいです。
- ・ 子育てで困ったことがない人はいないと思います。しかし気軽に相談できる人は中々みつからず、母親ががんばるしかない状況なので1年に1度でも電話で困ったことがないかきいてくれると本当に助けが必要な人を救えると思います。
- ・ 小学校で、教員の差なのか、（多少は仕方ないと思うが）子供達がクラスによって教育のレベルに差がでることが多々あるのが気になる。教育の機会は均等であってほしい。
- ・ 流山市には夜間子供の病気に対応してくれる病院がない。夜間常にOPENしている病院があるととても助かる。
- ・ 子供の病気の際、どの病院にかかれば良いのかわからなかった。診察時間や休診日等が、市のHPでも良いので一欄ですぐわかるといいのと思った。
- ・ 子ども用品が高くて使用期間が短いので、行政でリース品があるとよい
- ・ 高学年になっても働く母を支援するサポートが欲しかった。高学年の児童も放課後安心して過ごすことのできる環境が必要。
- ・ 保育料金が高いので、フルタイム勤務しなければならず、子供にさびしい思いをさせてしまっている。民間学童に入れている場合の補助金があれば良いと思います。
- ・ 親である自分が風邪等で体調不良になった際、子ども達の食事作りが大変だった。お弁当屋さん（宅配）や家事代行の業者等、市内にあるそのような業者一覧があ

ると親は助かります。

- ・ 流山の広報紙が見られないから知らない事があったりする。安心メールのように毎月送ってくれたらいいなと思います。
- ・ 夫の協力のなさに大変苦労しました。夫の教育、知識向上の出来る機会が必要です。
- ・ 昔のように近所の友達どうしで子供会をしたいです。沢山お友達ができるといいなと思います。又、お母様達の交流になるとと思います。
- ・ 人生経験豊富な方々からのアドバイスを提供していただける場又同世代のパパママが情報交換を出来る場が身近にあると良いと思う。
- ・ 子供を安心して遊ばせる公園の中に、ボールを使える施設があると路上サッカーやキャッチボールが出来て良いと思う。
- ・ 車で行くような場所にある病院へ、急に行く必要が出来た際の交通手段としてのタクシーの割引きなどの支援。
- ・ 幼児ことばの教室～現在、小学校内のことばの教室に通わせてもらっています。ご指導頂く先生の指導方法やアドバイスは子はもちろん、親の私まで日々助けてもらっています。今は十分なサポートに感謝しています。
- ・ なかなか土日に預ける人、見てもらえる人がいないので、低料金で預けられる所があるとよい。
- ・ 他市の小学校では、放課後、学校で遊べるシステムがあるのに、流山にはない。
- ・ どの公園も、ボール遊び禁止(サッカー e t c)の注意書きがあり、単なる少人数でのボールけりやキャッチボールだけでも、近所の人に叱られて、遊び場所を失っている。子ども達が委縮してしまい、結局ゲーム(D S など)に走ってしまう。注意書き看板の書き方のニュアンスをもう少し変えることで、何とかならないでしょうか。

問 15-1 流山市内で放課後子ども教室を開設するとしたら、どのような内容を望みますか。ご自由にご記入ください

- ・ 多学年が一緒になって学習や、ゲームなどして幅広い年齢の中で体験をさせたい。
- ・ 曜日ごとに学習日、スポーツ日などを設け、希望する項目に自由に参加できる、など。
- ・ 放課後校庭を開放して、球技を許可してほしい。サッカーや野球ができる場所が地域に少なすぎます。昔は、子どもに制限なく遊ばせる空地がたくさんありましたが、今はありません。学校も休み時間にサッカーはダメなど規制がうるさすぎます。危ない遊びはダメというのではなく、安全に遊べるよう子ども達に考えさせるのも教育だと思います。
- ・ 英語教室（英会話） サッカー教室 体操教室、ダンス
- ・ 塾に通わなくてもよいように、学習塾と同様のことが、放課後、教室でやってもらえると助かる。月謝があってもいい。通塾の送迎がなくなると助かるし、塾の帰り夜おそく帰宅させる不安も、なくなるので。
- ・ 習い事に通わせてあげられないことがあるので（特に低学年）、スポーツ系、英会話などの時間があれば、良いかと思います。
- ・ 季節の行事を地域の方々の協力できると良いと思います。
- ・ 大人数でしかできない、体を動かすゲーム、ダンス教室、茶道など、マナーを身につけさせることができる講座
- ・ 施設まで行くのに親がつき添うのは大変です。夕方も不審者も多いのが現状。そこまで行くという過程も考慮して欲しい。（小型バスが家の近所まで来るとか）
- ・ 宿題や勉強（授業内容）の補助。わからない勉強内容等を自由に質疑できる。
- ・ 学校でなかなか学べない芸術面や心の教育、日常生活で身につけておきたい事のサポートがあると心強いです。

問 25(2) 流山市の医療機関等の設備・環境についてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 自宅に近い柏市の医療機関を利用している。理由は大きな病院へは車が必要で、運転できないため、行きづらい
- ・ 夜間や日曜日に病気になった時に見てもらう場所がすくない。あったとしてもこんでいて、時間がかかる。
- ・ 病院の数が少ないので、待ち時間が長くなっているように思います。具合の悪い子供を連れて長時間待つのは大変です。
- ・ できれば中学3年生までの医療費の受給券があると便利だと思います。
- ・ 障害児専門の病院がなく、遠くまで通院している
- ・ 優良な皮膚科や耳鼻科がない。少ない。医療費ゼロ希望。
- ・ 内科、歯科、耳鼻科にひんぱんに通院しますがなかなか一ヶ所という訳にはいかず大変です。
- ・ 自宅の近くに診療所等がない所、通院の為バスを利用しているが、バス停が遠い。
- ・ 急な病気がなど、休日、夜間対応の窓口を増やしてほしい。自転車や歩きでもすぐ行ける所にほしい。今、車で20～30分かかると子供もかわいそう。具合が悪化。
- ・ 医療費受給券が6年生まで拡大されたが、中3まで拡大してほしい。
- ・ 松戸や柏を利用することが多い。夜間などの対応が良い。
- ・ 病院が少ない。(小児科・皮膚科・産婦人科)。病院の終わる時間が早い。

問 25(3) 流山市の子どもの遊べる施設等(公園・児童館・プール等)の設備・環境についてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ おおたかの森駅周辺の公園に遊具がほとんどないし、公園が少なすぎます。南口公園という大きな敷地が有効活用されておらず、もったいない(遊具おいて下さい) 流山運動公園を柏の葉の公園のようにきれいに整備して、行きたくなるようにして下さい。36号公園にもっと遊具を！小学生にはもの足りないです。遊ばせてあげたいです。
- ・ サッカーや野球・子ども達が思いっきり遊べる場所がないです。野原でかまいません。公園をお花畑にして下さるお年寄りの方にしょっちゅうしかられます。ゲームを公園でやるのが、遊びなんではしょうか？
- ・ 先生の質に問題があるとの事で子供が行きたがらない。
- ・ 公園・児童館が遠いので、結局家の前の道路で遊んでいるため、危険だと思ふことがあります。
- ・ 公園にトイレがない。
- ・ 近くの図書館は、出来たばかりできれいですが、置いてある本が少ないです。小学上級生～中学生が読みたいものがあまりないです。
- ・ きれいで一年中つかえるプールがあるといい。
- ・ 公園なのにサッカー、野球が禁止、小さい子の親からクレーム、子供が体を動かす場所がない。
- ・ バスケットのゴールがあるとよい。各公園に時計をつけてほしい。
- ・ 小さい公園は、たくさんあるけれど、子供が大きくなると、そういう公園へ行くと、小さい子を持つ方に、迷惑がられたり、おこられたりし、広い公園があまりないため、遊ぶ場所がない。大人数の男の子が、サッカーなどができるような公園を作ってほしい。
- ・ 公園では、ブランコなどの撤去が多くて、遊ぶ物が少ない。プールは、小さすぎるし、人数が入れない。市川市や三郷市のプールとくらべれば、一目瞭然です。
- ・ 子供のケガを気にして撤去されてしまった遊具が多すぎる。ジャングルジムや鉄棒すらない公園ばかりで、子供達が外で遊ぶ気にならない。

問 25(4) 流山市の教育・保育施設の設備・環境についてご意見・ご要望
がございましたら、ご自由にご記入ください

- ・ 図書館が古く、本も少ないので、もう少し行きたくなるようにきれいにして下さい。とくに子供が行くには遠く、おおたかの森駅から行ける距離に図書館が欲しい。
- ・ 小・中学校にエアコンがないのは、勉強に集中できない。2014年に中学、2015年に小学校につくようだが、遅い!
- ・ 先生によって良い時と悪い時もあった
- ・ 英語の授業の早期導入、土曜授業の導入を希望します。
- ・ 夏期の冷房については、検討してもらえないのでしょうか?
- ・ 新設校が建っていないのにマンションが増え、小学校の生徒数も増えすぎ一人一人に対し先生が上手く接しきれていないと思う。
- ・ 不審者用の防犯などがほとんどされていない。すぐつかまえられる様にしてほしい
- ・ 算数の少人数制度は続けて欲しいです。
- ・ 給食室をガラスばりにしてほしい。遠い。給食の献立が片寄りすぎ。アレルギー児童に寄りそってほしい。

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 生活環境の整備

- ・ 児童館をよく使っていますが、人口が増えたので児童館が狭いです。子ども達がおのびのび遊べる施設がほしいです。
- ・ 南流山地区には、児童館・児童センターがないので、作ってほしいです。
- ・ おおかたの森周辺はかなり整備されてきましたが、木がたくさん伐採され、自然が減ったなと感じます。人口を増やすことも大切かもしれませんが、自然を残してほしいです。
- ・ サッカーができる公園、グラウンドがほしい。

(2) 教育・保育の充実

- ・ 放課後に、習い事がない児童で集まって、学校で遊べる時間があると良いと思います。
- ・ 子どもたちの遊ぶ場所が少なくなっている中で、市で、放課後や、夏休み、冬休みなどに、低料金でのスポーツ教室を開催して頂けると大変ありがたいです。
- ・ 公民館などで、小学生対象の習字教室や英語教室を開講させ、学童からの希望者のみ教室で学び、ずっと学童ではなく学童と教室を行き来できるようになってくれると嬉しい。特に夏休みは長いのでカルチャースクールを低価格でどんどん開講していただけると子どもも退屈することなく楽しいと思う。

(3) 地域における子育て支援

- ・ 安心メールで地域の情報がわかるので、放課後の遊び方などに気を配ることができて助かっています。
- ・ せっかく安心メールがあるので、子育て中の人向けのイベントやお知らせ、今子どもに流行している感染症の情報等を配信してほしいです。
- ・ 地域の方々がパトロールを行ってくださっているのには頭が下がります。

(4) 学校教育環境の整備

- ・ 学校施設を利用した「放課後子ども教室」を設置してほしいです。
- ・ 小学校の1クラスの人数をもっと少人数にしてもよいと思う。特に教室の余っている学校に関しては検討してもらいたい。
- ・ 近年夏の暑さが厳しくなっている。学校の各教室にクーラーの設置をしてほしい。
- ・ 学校が古すぎる。新しい学校の予算だけではなく、既存校の改善もお願いします。

(5) 安全等の確保

- ・ 通学時に見守りをしてくれる方がもっとたくさんいればよいと思います。不審者が多発しているので、市全体でまじめに取り組んで防犯してほしい。
- ・ 通学路の車乗り入れ禁止時間を作ると子どもが安全に登校できると思います。

(6) 健康の確保及び増進

- ・ 専門病院（小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科など）が少なく混雑し待ち時間が長いので困ります。

(7) 職場の家庭の両立

- ・ 保育サービスは年々充実してきているように思います。ただ、小学校に関する行事・作業はまだ親のことを考えずに設定されていることが多く感じます。子育て（乳・幼・小・中）に応じて柔軟に親の働き方を変化させても、もれなく保育・教育サービスを受けられる環境を整えば教育レベルがあがり、より子育てしやすい街になると思います。
- ・ 小学校に入り、共働きの難しさを改めて感じている、年に何度もある平日の行事や登校班の付き添い、PTAの活動すべてに参加していたら、仕事を続けるのは難しいと思います。PTAなどはあまりにも一昔前のやり方をやられているように感じます。共働きを積極的に誘致している市であれば、保育園の充実だけではなく、その先にもっと目を向けてほしい。
- ・ 正社員やフルで勤務している人は学童を利用できると思うが、パートアルバイトの場合、学童の利用料は割に合わないし、単発や子どもの長期休暇のみ預かることができないのはとても不便なので、改善して頂けると助かります。

(8) その他

- ・ 「いじめ」について、子ども達にかんがえさせる授業を取り入れてほしいです（特に小学校4年生以上）。中学生のいじめ自殺問題がニュースになりましたが、小学生のうちから「いじめとは？」「相手を思いやることの大切さ」「いじめは絶対にいけない」等ということを授業の中で話し合わせることで、少しでもいじめ問題が少なくなるのではないかと思います。

第 7 章
ヒアリング調査

第7章 ヒアリング調査

調査の設計

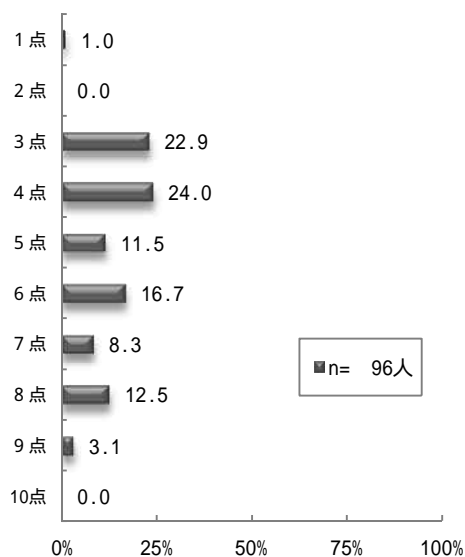
調査対象者	流山市内の子育て関連施設等
調査件数	20カ所
調査内容	流山市における子育ての環境や支援等に対する意見や要望

調査時期と調査方法

ヒアリング調査は、平成26年1月～3月にかけて調査員が直接利用者から聞き取る方式で実施しました。

問1 流山市は子育てしやすい街だと思いますか。10点満点で採点してください。また、「子育てしやすい理由」「子育てしづらい理由」をお聞かせください。

点数	人数	%
1点	1人	1.0
2点	0人	0.0
3点	22人	22.9
4点	23人	24.0
5点	11人	11.5
6点	16人	16.7
7点	8人	8.3
8点	12人	12.5
9点	3人	3.1
10点	0人	0.0
計	96人	100.0
平均	5.1点	



子育てしやすい理由

（生活環境の整備）

- ・ 小さな公園もたくさんある。
- ・ 地域との関わりもある。
- ・ 自然がある。
- ・ 福祉会館とか施設を借りられるのは、嬉しい。
- ・ 児童館が近いところにあり、広くて施設が充実している。施設としては、近隣市の中でいちばん大きいのではないか。
- ・ 同じくらいの年代の母や子が多い。
- ・ 子どもは多い。
- ・ 「子育ての街」と謳っていることがあり、身近に小さい子が多い。また、周囲の見る目も子どもにやさしい。
- ・ 新しくできた地域は街並みがきれいで、子どもを遊ばせやすい。
- ・ おおたかの森エリアは最近開発されているため、道路が広くて整っている。
- ・ 都内と違ってショッピングモールなどが近くにあるのでそういった点ではよい。
- ・ 買い物がしやすくなった。

（教育・保育の充実）

- ・ 保育園がどんどん増えてきている。

（地域における子育て支援）

- ・ 小さい子どもを連れて遊びに行ける所があったり、イベント等で出かける機会があるのがいい。
- ・ 子育て支援センターが充実している。
- ・ 子どもができてからは子育て支援センターでママ友ができた。
- ・ 子育て支援センターだけではなく、保育園にもプログラムがあり、車で行けばいろいろなところが利用できてよい。
- ・ メルマガで情報が来るのがよい。
- ・ 保健師の乳幼児の対応がよい。

（健康の確保及び増進）

- ・ 医療費とか入院費が上がらないのがよい。

（その他）

- ・ 市がキャッチコピーとして子育てしやすい街というので今後期待が持てる。

子育てしづらい理由

（生活環境の整備）

- ・ 保健所がない。
- ・ 公園で遊ぶのに、ボール遊びとかも出来ず不便。
- ・ 公園の設備がよくない。
- ・ 公園の遊具が少ない。
- ・ 住んでいる地域では公園が少ない。歩いて行ける範囲に遊ばせられる公園がない。
- ・ 児童館の時間を長くしてほしい。
- ・ 保育園や子育て支援センターは充実しているが、南流山駅やおおたかの森駅周辺に集中しており、セントラルパーク駅周辺に少ない。バスの発着も南流山駅やおおたかの森駅周辺に集中している。
- ・ ファミリーサポートなどの施設をもっと市民に浸透させてほしい。
- ・ 児童館が南流山地域にないので、一人で遊びに行けるところがない。

（教育・保育の充実）

- ・ 駅前の保育園は混んで、通いやすい所に保育園がない。送迎バスもいっぱいのおうた。
- ・ 兄弟で同じ保育園に入りにくいし、転園もしにくい。
- ・ 保育園が近くに1か所しかなく、あとは遠い。
- ・ PRしているにもかかわらず、預ける保育施設が少ない。
- ・ 認可保育園が少ないので増やしてほしい。
- ・ 認可外保育が少ない。
- ・ 学童の規定時間が短い。
- ・ 学童の延長料金が高い。
- ・ 学童の延長を緩和してほしい。

（地域における子育て支援）

- ・ どのような支援があるか、自分で調べないと情報がわからない。HPを見ても期日が過ぎていたりする。
- ・ 最初の頃、他県出身なので相談できる人がなかなかいなくて困った。
- ・ 友達が出来る環境がない。
- ・ ママ友との交流が少ない。
- ・ ファミリーサポートセンターの、1時間の利用料が高く、4～5時間必要ということが多いので、利用を考えるとしまう。
- ・ 平日に行われるセミナーだと、働いている人は参加できない。
- ・ 育児相談などあるが、市の中心部に偏っている。

(学校教育環境の整備)

- ・ 教育者の指導、言葉使いや上に立つ人間の指導を徹底してほしい。仮にも子どもを育てる立場の人ですから、言葉使いは気になる。

(安全等の確保)

- ・ 駅の乗り換えの際のバリアフリー化などが気になる。
- ・ バスやタクシーなどがなかなか利用できず不便である。
- ・ 交通の安全としては、改善すべき点がある。
- ・ 車が無いと不便。

(健康の確保及び増進)

- ・ 病後児保育が少ない。
- ・ 夜間救急が不安。
- ・ 産婦人科が少ない。
- ・ 病院が少ない。特に小児科が少ない。
- ・ 地域によって病院が近くにない所がある。千葉愛友会記念病院に車で 30 分ほどかかる。
- ・ 病院が予約制なので、緊急時に困る。
- ・ 子ども発達センターがない。
- ・ ホットスポット気になる。
- ・ 近隣の松戸市や柏市に比べて障害児へのケアが少ない。千葉県自体が医療費の関係は遅れている。

(職場と家庭の両立)

- ・ 4 月から仕事を始める予定だが、保育園は夜 7 時までなので、それ以降をどうするか。柏市にある保育園に入ると補助がないので 10 万円くらいかかってしまう。近隣の保育園に入っても補助があるといい。

(その他)

- ・ ひとり親の補助金が減ったのは、生活的に厳しい。
- ・ 「子育てするなら流山」と打ち出しているが、実感が湧くのはこれからではないか。

問 2 利用している施設やご自身の子育ての実情を踏まえてのご意見・ご要望をお聞かせください。

（生活環境の整備）

- ・ 子どもの遊び場をもっと充実させてほしい。天気の良い日は公園で充分だが、雨の日など、商業施設ではないと遊ぶことが出来ないなど、公共の場で遊べる施設を充実させてほしい。
- ・ 公園に行っても、ボール遊びとかが出来ないの公園に来て何もできない。
- ・ 公園に行っても、遊具が使えない。つまらない。
- ・ 自然を生かしきれていない。
- ・ 車がないと不便。
- ・ 公園にいても目が離せない。
- ・ 公園にトイレとゴミ箱が欲しい。

（教育・保育の充実）

- ・ 歩いていける距離に保育施設がない。
- ・ 保育園の料金が高い。
- ・ 働いていて、学童の預かり時間の幅を広くして欲しい。
- ・ 保育園で19時過ぎてしまったら軽食をだして欲しい。
- ・ 経済的に厳しく、学童の費用が少し高いと感じる。

（地域における子育て支援）

- ・ 育児をしていて、相談する場をもっと広めてほしい。精神的に弱い人達の相談する場を、広めてほしい。また、市の職員の対応をもう少し優しく対応していただきたい。
- ・ 育児相談が2か月に1回で、その日しかやっていない。
- ・ 母親がリフレッシュできるヨガなどの情報がほしい。
- ・ 子育てしやすい街ということで、他県から引っ越してきたが、交流する場などが無い。
- ・ 家事代行など使いたいサービスが流山市にはないので、気軽に使えるサービスを作ってほしい。又は教えてほしい。
- ・ 多胎児を育てる親のグループはあまりないのでありがたい。近隣市から登録して利用している。
- ・ 多胎児を育てる親のグループが月2回あったらよい。子どもの体調などで月1回のグループに参加できないと、次の参加まで間が空いてしまう。
- ・ 母子家庭の方の交流会や婚活などを広めて、助け合っていきたい。
- ・ 肢体不自由の場合、行けるところが少ない。利用できるまで数年待機した。

(健康の確保及び増進)

- ・ 予防接種とか、保健センターに行かなくてはいけないし、けっこう待つことになる。保健センター以外の場所や出張してできないか。日時も複数あると助かる。
- ・ 歯磨き教室とかも保健センターのみで、車がない人とかは行けないので、改善して欲しい。
- ・ 救急に行っても、小児科の先生がいなくて、適切な処置じゃない。
- ・ 流山では、夜間に病院が無くて、子どもが命の危機にさらされた。
- ・ 夜間といいつつも 22 時で終わるのが理解できない。
- ・ 小児科の情報をもっと知りたい。
- ・ 夜間救急に行った際に、非常勤の先生だから、常に先生が違うので常勤の先生がいて欲しい。
- ・ 休日診療では夜間がないから、不便だった。
- ・ 産婦人科が少ないので予約しても 2 時間待ちが多い。
- ・ PR してる割には、病院や施設の少なさを感じて不安になる。

(職場と家庭の両立)

- ・ 働きたい気持ちはあるけれど、子どもをどうしたらいいかわからない。
- ・ 子育てで一度退職した場合の仕事復帰の方法がどうしたらいいかわからない。

(情報の内容・周知方法)

- ・ 広報は新聞をとっていないと配付されないし、HP もいつも見るわけにいかないの
で、隔月でもいいので子どもの年齢に合ったお知らせを郵送してほしい。チラシな
どを目にしたときには既に予約が終わっていることがある。
- ・ 広報に書いてあったことと実際が違っていった。
- ・ ホームページも奥のページまで検索しないとわからない。
- ・ メルマガで情報が来るのはありがたいが、リアルタイムではないのがちょっと・・・
- ・ 安心・安全メールは来るのはありがたいけれど、緊急性とか必要な情報を絞り込んで配信してほしい。

(その他)

- ・ 母子家庭ということで、負い目を気にして両親ともいる子との教育の差をなるべく広がらないように頑張りたいのに、補助金が減額されたのはきつい。
- ・ 転勤してきて、友達を作るのに、市の役所でサークルなどを聞きに行った時の職員の対応の冷たさにいい印象がもてない。
- ・ 子育てしやすいと PR してはいるが、どこが子育てしやすいのかわからない。
- ・ 子育てよりかは、高齢者の方が住みやすい街な気がする。
- ・

問 3 最後に、流山の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関するご意見をお聞かせください。

(生活環境の整備)

- ・ 土日に遊びに行ける所があるといい。子育て支援施設は休みだし、児童館は小学生中心で、ドッチボールとかやっているんで危なくて行けない。流山運動公園も遊具がだいぶ減って広場ばかりになった。
- ・ 循環バス(ぐりんバス)をもうちょっと充実して欲しい。
- ・ 駅前をもっとスーパーとか買い物ができるようなお店を増やしてほしい。
- ・ 遊具で遊べる前の小さい年齢の子が外遊びできるような場所が欲しい。
- ・ 公園に駐車場が少ない。
- ・ 双子を遊ばせるときには、2人があちこちに行ってしまうため、遊ぶスペースに囲いがないと安心できない。歩ける子が自由に遊べるスペースが欲しい。
- ・ 公園の遊具が乏しい。
- ・ 古い道路を整備して、安全なまちづくりをしてほしい。
- ・ ガードレールが少なく、道が危ない。
- ・ 公園の数が少ない(あるところとないところで地域差がある)。
- ・ 柏の葉公園のような種類の公園が近くに欲しい。
- ・ 公園の遊具が古い。また、砂場にカバーがあると、安心して子どもを遊ばせることができるので検討してほしい。
- ・ 児童センターなどをもっと増やしてほしい。
- ・ 安心して遊ばせるところを増やしてほしい。
- ・ 公園などの設備や整備をしてほしい。砂場も整備してほしい。
- ・ 学校のプールとかを定期的に開放してほしい。
- ・ 駅の乗り換えの際に、ベビーカー等の乗り降りや移動を楽にしてほしい(バリアフリー化)。
- ・ おおたか方面に図書館がほしい。
- ・ マンションなど、集合住宅は増えているが病院や子育て支援の施設が追い付いていないので、もう少し増やしてほしい。
- ・ 小学校で放課後の校庭を遊べるようにして欲しい。
- ・ 自然を生かした公園を作っていただき子どもの成長を育みたい。

(教育・保育の充実)

- ・ 3歳時健診の書類が3~4カ月後に来る。12月や1月生まれの子どもは幼稚園入ってから行くことになるので、休まないといけない。1歳半健診も遅い。
- ・ 市の学童は融通がきかない。松戸は母親が働いていなくても1回500円で預かってくれるが、流山の場合は、親が働いていて毎日申請しないとけない。
- ・ 小2くらいまで学童で一時預かりがあるといい。

- ・ 保育園に入りやすくして欲しい。
- ・ 保育園の料金を少し安くしてほしい。
- ・ 幼稚園の数が足りていない。
- ・ 幼稚園の預かり時間が短い。
- ・ 勤務先が育児休暇を最長3年認めるところが増えているにもかかわらず、市の保育園利用が最長1年というところが残念である。
- ・ 高齢者施策は力を入れているが、障害児施策は遅れている。
- ・ 預かり保育の公平な基準がしっかりしていないので、しっかり決めてほしい。
- ・ 園庭がないので作ってほしい。
- ・ 保育園等の時間の幅をもう少し広くしてほしい。

(地域における子育て支援)

- ・ 新生児訪問は生後1か月しかダメなので、里帰り出産とかがしていると訪問を受けられない。ハガキを出して1か月後ではなく、2か月後とかまでしてくれると、里帰りから帰ってきて一人で大変な時に来てくれるととても助かる(特に第一子出産のとき)。
- ・ 講座とかを受けるときに、一時保育(託児)がもっと増えると、講座も受けやすくなる。
- ・ 送迎ステーションは2か所しかなく、既にいっぱいである。
- ・ 子育てをしている親たちが、利用できる施設がどこかわからないから、親切に教えてほしい。
- ・ カムカムキッズとかの講習をもっとたくさんやってくれたら嬉しい。
- ・ 子育て支援の施設を増やして欲しい。
- ・ 他県出身者や引っ越してきた人は最初は相談できる人や友達が少ないのでそういった交流できる場を気軽に提供してほしい。
- ・ 他市では、高齢者と子どもが保育園で交流を行う場を設けている。同じようなことが市内でも行われるとよいと思う。
- ・ 年齢で利用できるプログラムが決まっているものがある。年齢を問わず利用できるとうい。
- ・ 用事を済ませるときなどに、気軽に数時間子どもを預けられる場所が欲しい。
- ・ 地域での交流をもっと増やしてほしい(お年寄りとの交流など)。
- ・ 子どもを地域で育てるようなイベントや交流などをしていきたい。
- ・ 地区ごとに児童センターがあればいい。

(学校教育環境の整備)

- ・ 勉強できる子と出来ない子で、小学校高学年の段階で差が開いているため、早い段階で対応を行ってほしいと思う。
- ・ 先生によって、勉強が出来る子と出来ない子になるのは止めてほしい。

(健康の確保及び増進)

- ・ 子どもの通院医療費助成の上限年齢が、中学生までであるとよい(中学生は入院のみ)。
- ・ 夜間当番医が輪番制のため、電話で問い合わせをしないとどこに受診してよいかわからない。
- ・ 喘息など定期的な受診が必要な場合に、予約ができる病院があってほしい。総合病院ではなく近隣の小児科を受診しているが、電話で予約して受診できている、という意見もあった。
- ・ 病院で、双子の片方の受診時にもうひとりの面倒を見てくれる人が欲しい。
- ・ 夜間救急に小児科の先生を配置してほしい。
- ・ 24時間の病院の設置。
- ・ 出産とかにかかる費用を安くしてほしい。
- ・ 休日診療所の夜間が欲しい。

(情報の内容・周知方法)

- ・ 子育て関係の冊子や情報の提供が欲しい。
- ・ 情報が自然に入ってくるとありがたい。メルマガなど。
- ・ 今の子育てしている世代は、ネット世代なので情報発信の仕方を工夫してほしい。
- ・ 他の市との比較できるようなサイトやページがあると便利だから作ってほしい(流山と柏など)。
- ・ 子育て支援の専用の新聞があればいい。
- ・ 市民からの情報を「安心・安全メール」に記載するなど、情報の内容をもう少し改善してほしい。
- ・ 地域に合わせた情報を欲しい。
- ・ 情報の発信をもっとしてほしい。
- ・ 保育園や一時保育の空き人数とか、ネットでチェックできるといいし、スマートフォンのアプリで知れるといい。

(その他)

- ・ 「子育てしやすいまち」を期待して住んだが、期待外れ。
- ・ おむつ購入助成金や、ランドセル購入助成金(現物支給ではなく)があってほしい。
- ・ 東京都の自治体では、育児(産後)支援ヘルパーを利用する際に、双子の場合は割引補助券が2倍支給されていた。授乳や入浴の手伝いをはじめ、双子の面倒をみるため買い物に行けないときには買い物を代行してくれたりして、とても助かった。同じような助成制度が市にあってほしい。
- ・ 市役所職員のレベルが低い。異動してきた人は一時預かりと放課後デイの違いも分からない。
- ・ 市役所の対応がもう少し柔らかくしてほしい(子育ての相談しに行っているのに対応が悪くてトラウマになる)。



- ・ 人口が増えると障害児も増えることになるが、保育園の待機児童解消対策に目がいって、障害児の施策が追いついていない。
- ・ 児童手当はからないから、学校で使う費用を無料にしてほしい。
- ・ 街のキャッチコピーに今後期待している。
- ・ 地域によって育てやすい環境と育てにくい環境があるので、差が無いようにしてほしい。
- ・ 市の対応が悪いのですぐ対応してほしい。(道路で危ない箇所があるのにすぐ対応してくれない)

流 山 市

流山市子ども・子育て支援事業計画策定に関する
ニーズ調査報告書

発行 平成26年3月
編集 流山市子ども家庭部子ども家庭課子ども政策室